

## 2011 年度 授業評価アンケート分析

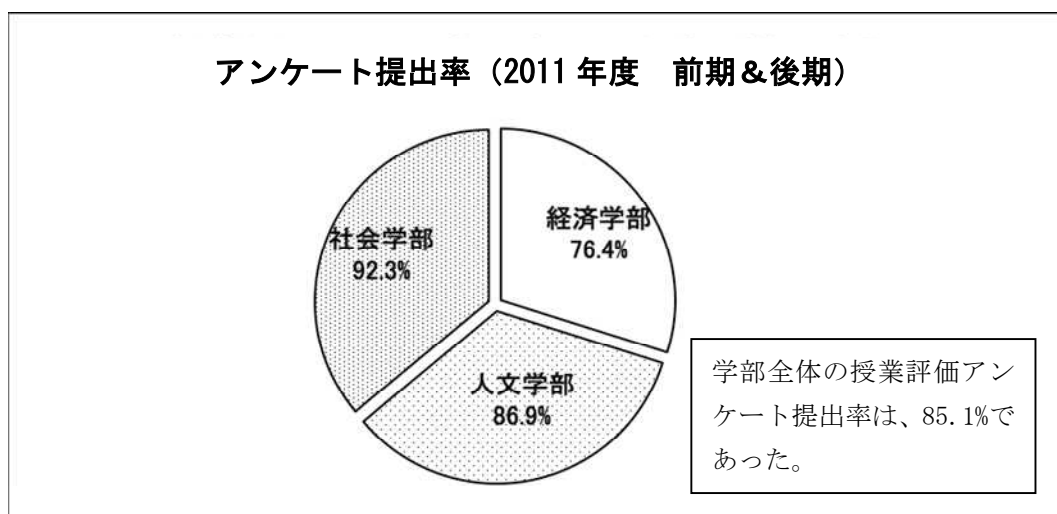
## 1. アンケート概要と回収状況

従来から、本学のファカルティ・ディベロップメント活動の一環として授業評価アンケートを実施してきた。本報告は、2011年度前期・後期に実施したアンケート調査にもとづき、授業評価の結果とその分析をまとめたものである。本報告書の分析によって、授業の満足度評価に影響を与える諸要因を明らかにしたい。

アンケートは2011年6月を前期分、12月を後期分として実施された。原則として通期授業科目は後期のみ実施した。はじめに学部・教員ごとの授業評価アンケートの提出率を表した。

所属学部 ※1	学期	提出 件数	依頼 件数	提出率/ 依頼件数	構成比 /全学	常勤/ 非常勤別	提出 件数	依頼 件数	提出率/ 依頼件数	構成比 /全学
経済学部	前	196	253	77.5%	24.8%	常勤	129	181	71.3%	17.7%
						非常勤	67	72	93.1%	7.0%
	後	183	243	75.3%	24.1%	常勤	124	176	70.5%	17.5%
						非常勤	59	67	88.1%	6.7%
人文学部	前	545	627	86.9%	61.4%	常勤	153	195	78.5%	19.1%
						非常勤	392	432	90.7%	42.3%
	後	540	622	86.8%	61.8%	常勤	155	201	77.1%	20.0%
						非常勤	385	421	91.4%	41.8%
社会学部	前	133	142	93.7%	13.9%	常勤	67	72	93.1%	7.0%
						非常勤	66	70	94.3%	6.8%
	後	129	142	90.8%	14.1%	常勤	64	71	90.1%	7.1%
						非常勤	65	71	91.5%	7.1%
合計 (全学)	前	874	1022	85.5%	100%	常勤	349	448	77.9%	43.8%
						非常勤	525	574	91.5%	56.2%
	後	852	1007	84.6%	100%	常勤	343	448	76.6%	44.5%
						非常勤	509	559	91.1%	55.5%

※1 所属学部は、担当教員の所属学科組織コードにより分類した。

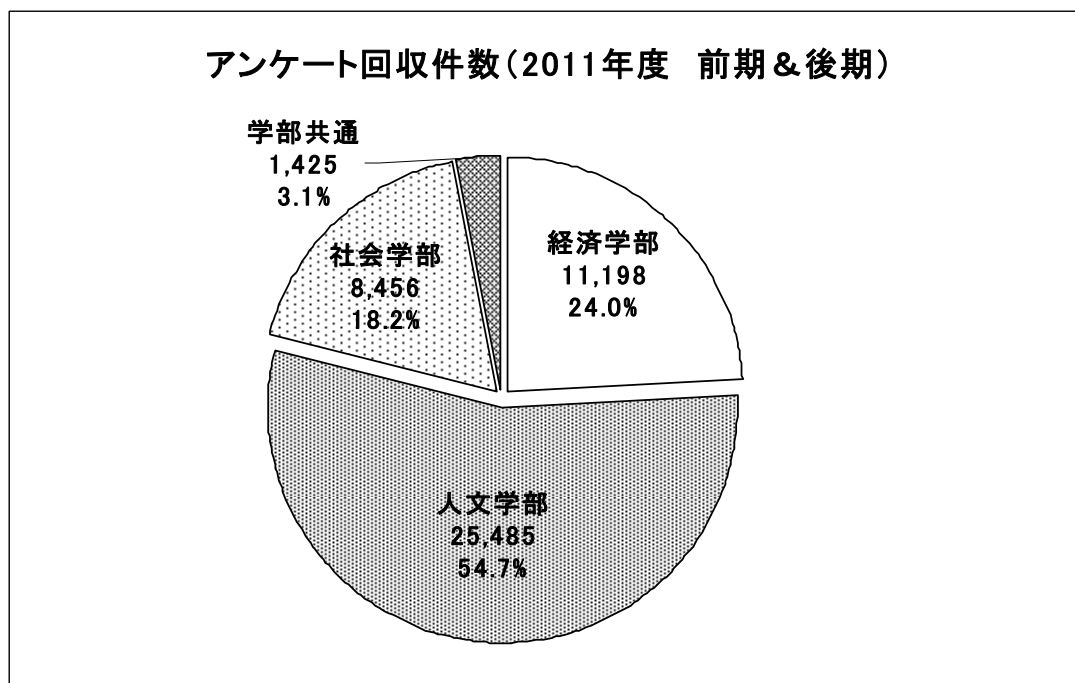


次に学生による授業評価アンケートのサンプル数は、講義科目が 1726 件、ゼミナールが 507 件である。ただし、無回答を除いて集計した。アンケート回収件数は以下の図表の通りである。

所属学部 ※1	年度	回答数 (回収件数)	回答数の増減 (2011-2010)	構成比	性別 ※2	回答数 (回収件数)	回答数の増減 (2011-2010)	構成比 /学部内	構成比 /全学
経済学部	2010	13,228	/	27.5%	男性	8,581	/	64.9%	17.8%
					女性	4,553		34.4%	9.5%
					不明	94		0.7%	0.2%
経済学部	2011	11,198	-2,030	24.0%	男性	7,419	-1,162	66.3%	15.9%
					女性	3,684	-869	32.9%	7.9%
					不明	95	1	0.8%	0.2%
人文学部	2010	26,445	/	55.0%	男性	9,773	/	37.0%	20.3%
					女性	16,395		62.0%	34.1%
					不明	277		1.0%	0.6%
人文学部	2011	25,485	-960	54.7%	男性	9,956	183	39.1%	21.4%
					女性	15,239	-1,156	59.8%	32.7%
					不明	290	13	1.1%	0.6%
社会学部	2010	8,225	/	17.1%	男性	3,162	/	38.4%	6.6%
					女性	4,971		60.4%	10.3%
					不明	92		1.1%	0.2%
社会学部	2011	8,456	231	18.2%	男性	3,398	236	40.2%	7.3%
					女性	4,969	-2	58.8%	10.7%
					不明	89	-3	1.1%	0.2%
学部共通	2010	199	/	0.4%	男性	74	/	37.2%	0.2%
					女性	119		59.8%	0.2%
					不明	6		3.0%	0.0%
学部共通	2011	1,425	1,226	3.1%	男性	682	608	47.9%	1.5%
					女性	731	612	51.3%	1.6%
					不明	12	6	0.8%	0.0%
合計(全学)	2010	48,097	/	100.0%	男性	21,590	/	44.9%	44.9%
					女性	26,038		54.1%	54.1%
					不明	469		1.0%	1.0%
合計(全学)	2011	46,564	-1,533	100.0%	男性	21,455	-135	46.1%	46.1%
					女性	24,623	-1,415	52.9%	52.9%
					不明	486	17	1.0%	1.0%

※1 所属学部は、科目担当者へのフィードバックを目的としているため、科目の所属学部で分類した。

学部には属さない科目については、学部共通とした。



- 2011年度前期・後期の回収件数は46,564件で、前年度比96.8% (1,533件減)。
- 学部別回収件数は、経済学部11,198件(24.0%)、人文学部25,485件(54.7%)、社会学部8,456件(18.2%)である。また、10年度と11年度の回収件数の増減は、経済学部は約15%の減少、人文学部は約4%の減少、社会学部は約3%の増加となった。

## 2. 集計結果

以下に、学部別を中心に授業評価アンケートの集計結果を設問ごとに示す。(参照資料:「2010年度授業評価クロス分析 FD 活動報告書:別冊」)

### 【設問 I-1】 この授業を履修した理由は何ですか？(複数回答可)

図表 I-1

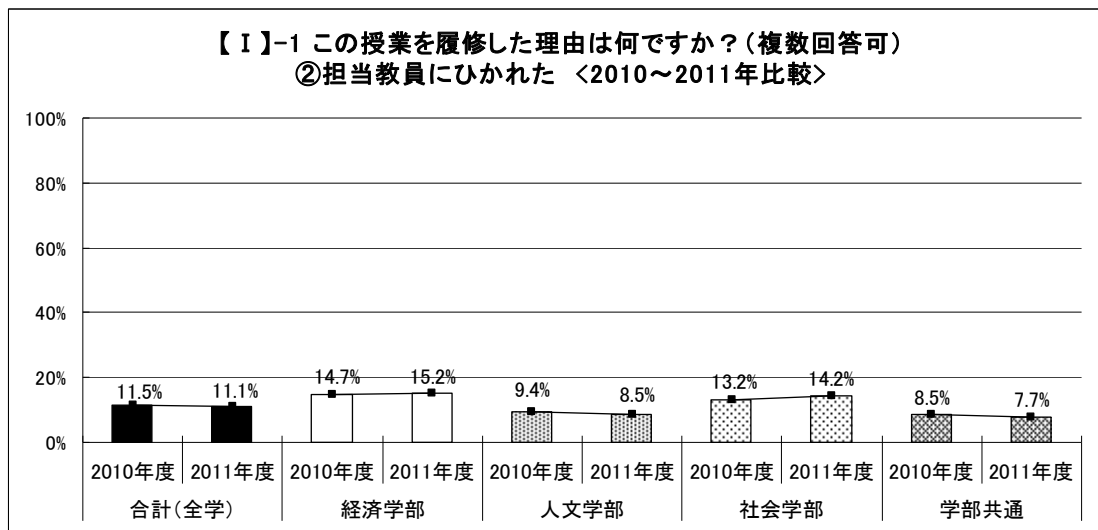
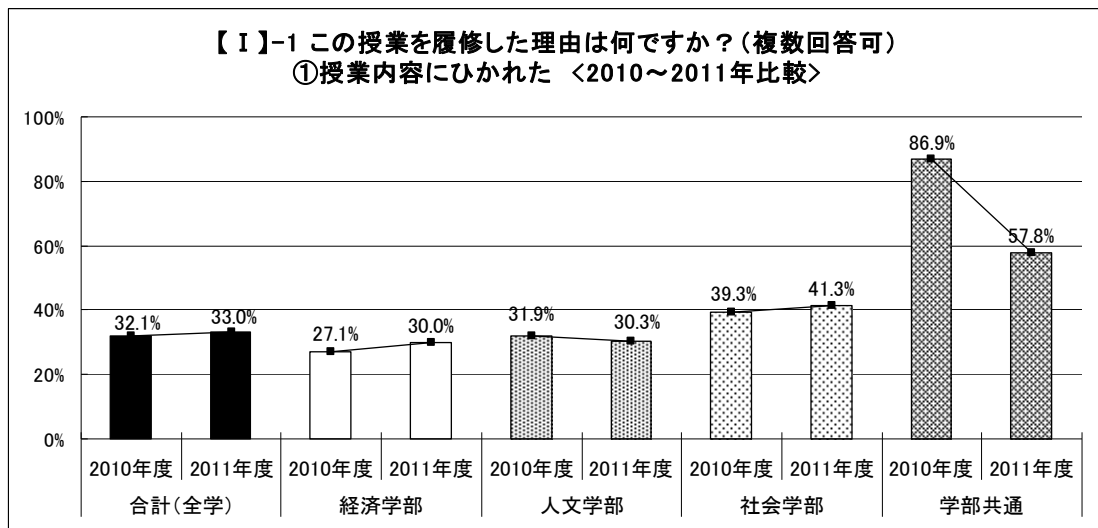
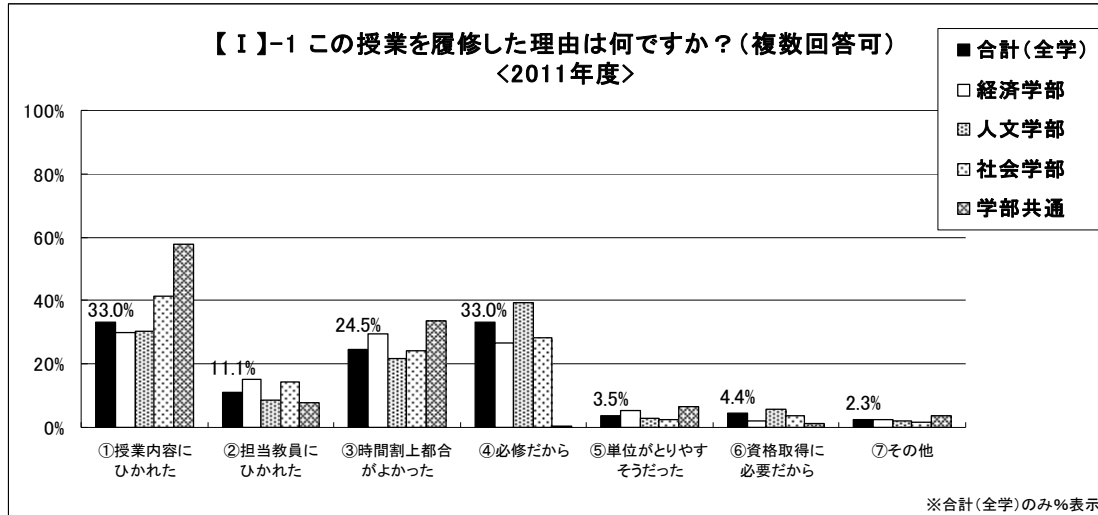
学部/年度	合計(全学)					経済学部				
	2010年度		2011年度		構成比の増減(2011-2010)	2010年度		2011年度		構成比の増減(2011-2010)
アンケート回収件数	48,097		46,564			13,228		11,198		
選択肢	回答件数	構成比	回答件数	構成比		回答件数	構成比	回答件数	構成比	
①授業内容にひかれた	15,422	32.1%	15,388	33.0%	0.9%	3,591	27.1%	3,356	30.0%	2.9%
②担当教員にひかれた	5,517	11.5%	5,173	11.1%	-0.4%	1,938	14.7%	1,706	15.2%	0.5%
③時間割上都合がよかった	12,490	26.0%	11,413	24.5%	-1.5%	3,966	30.0%	3,306	29.5%	-0.5%
④必修だから	15,837	32.9%	15,384	33.0%	0.1%	3,826	28.9%	2,983	26.6%	-2.3%
⑤単位がとりやすそうだった	2,633	5.5%	1,642	3.5%	-2.0%	1,091	8.2%	606	5.4%	-2.8%
⑥資格取得に必要なだから	2,298	4.8%	2,041	4.4%	-0.4%	229	1.7%	232	2.1%	0.4%
⑦その他	1,058	2.2%	1,049	2.3%	0.1%	283	2.1%	285	2.5%	0.4%
不明	98	0.2%	82	0.2%	0.0%	46	0.3%	26	0.2%	-0.1%

学部/年度	人文学部					社会学部				
	2010年度		2011年度		構成比の増減(2011-2010)	2010年度		2011年度		構成比の増減(2011-2010)
アンケート回収件数	26,445		25,485			8,225		8,456		
選択肢	回答件数	構成比	回答件数	構成比		回答件数	構成比	回答件数	構成比	
①授業内容にひかれた	8,424	31.9%	7,718	30.3%	-1.6%	3,234	39.3%	3,490	41.3%	2.0%
②担当教員にひかれた	2,474	9.4%	2,158	8.5%	-0.9%	1,088	13.2%	1,199	14.2%	1.0%
③時間割上都合がよかった	6,304	23.8%	5,573	21.9%	-1.9%	2,205	26.8%	2,054	24.3%	-2.5%
④必修だから	9,420	35.6%	9,993	39.2%	3.6%	2,591	31.5%	2,401	28.4%	-3.1%
⑤単位がとりやすそうだった	1,251	4.7%	747	2.9%	-1.8%	291	3.5%	193	2.3%	-1.2%
⑥資格取得に必要なだから	1,728	6.5%	1,471	5.8%	-0.7%	336	4.1%	323	3.8%	-0.3%
⑦その他	589	2.2%	561	2.2%	0.0%	169	2.1%	153	1.8%	-0.3%
不明	36	0.1%	30	0.1%	0.0%	14	0.2%	19	0.2%	0.0%

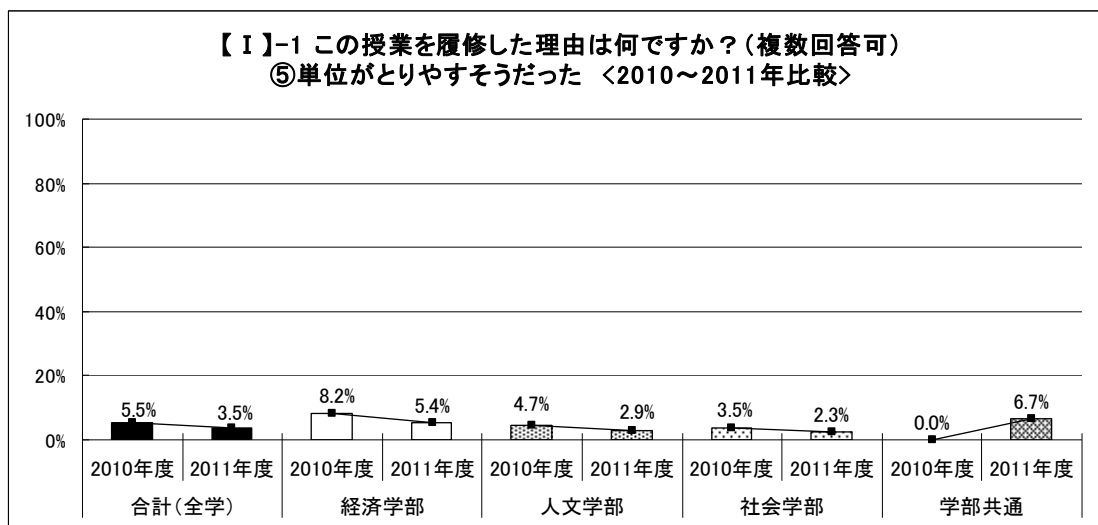
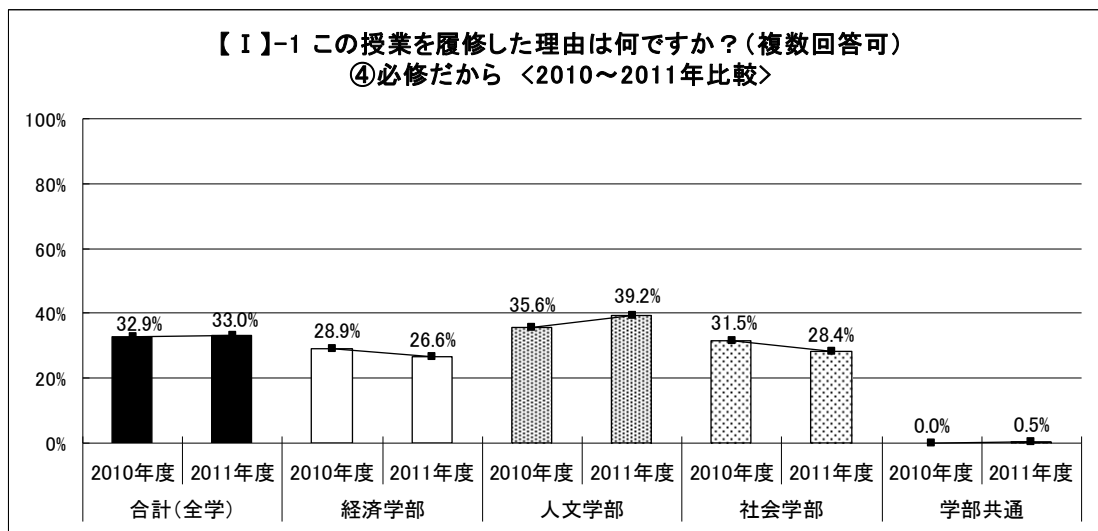
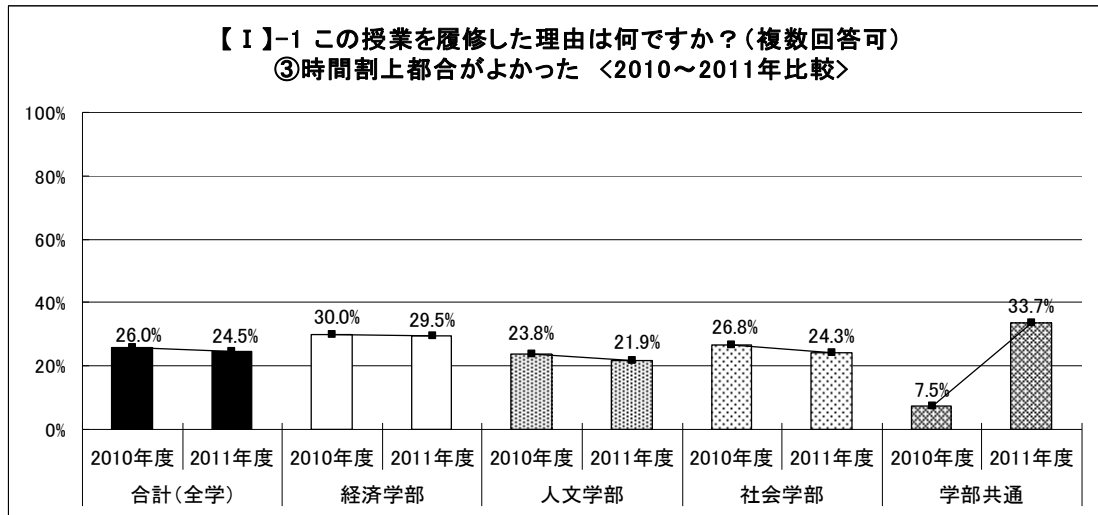
学部/年度	学部共通				
	2010年度		2011年度		構成比の増減(2011-2010)
アンケート回収件数	199		1,425		
選択肢	回答件数	構成比	回答件数	構成比	
①授業内容にひかれた	173	86.9%	824	57.8%	-29.1%
②担当教員にひかれた	17	8.5%	110	7.7%	-0.8%
③時間割上都合がよかった	15	7.5%	480	33.7%	26.2%
④必修だから	0	0.0%	7	0.5%	0.5%
⑤単位がとりやすそうだった	0	0.0%	96	6.7%	6.7%
⑥資格取得に必要なだから	5	2.5%	15	1.1%	-1.4%
⑦その他	17	8.5%	50	3.5%	-5.0%
不明	2	1.0%	7	0.5%	-0.5%

※「構成比」は、アンケート回収件数を全数として算出。「構成比の増減」が正の場合、セルを網掛けで表示。

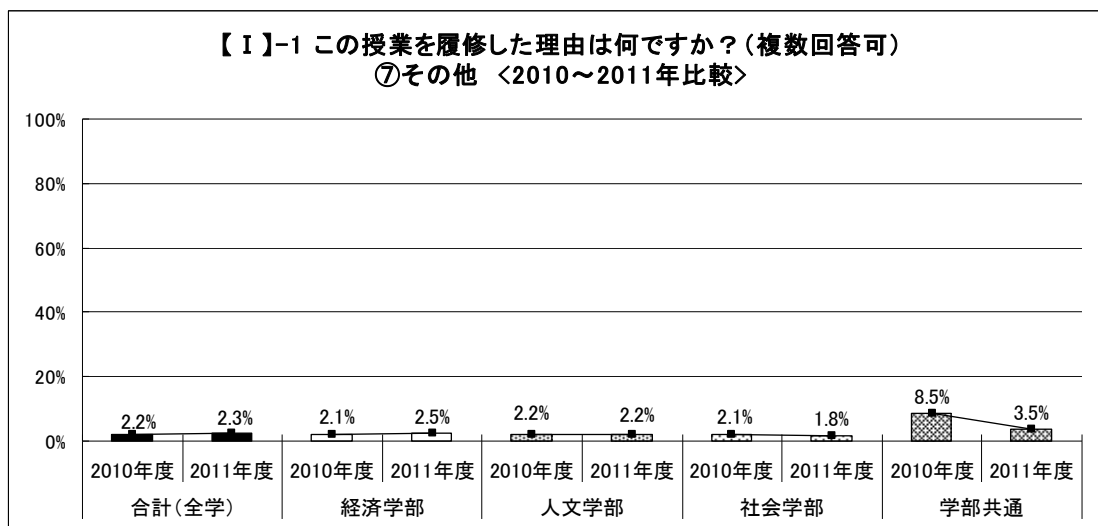
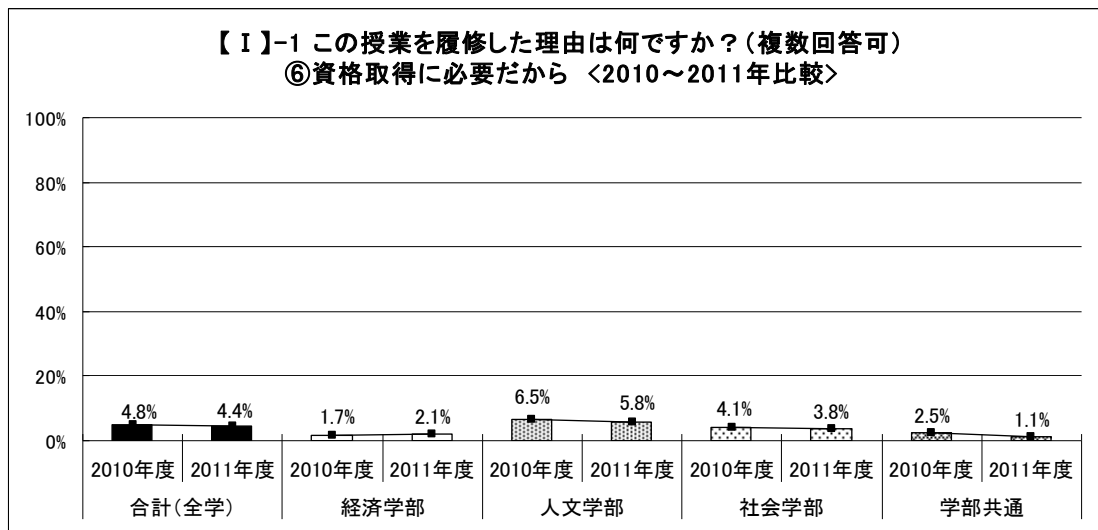
図表 I-1



図表 I - 1



図表 I - 1



- ・ 2011年度の全学部結果を見ると、「①授業内容にひかれた」(33.0%)、「④必修だから」(33.0%)の2項目が最も多く、次いで「③時間割上都合が良かった」(24.5%)、「②担当教員にひかれた」11.1%の順であり、前年度とほぼ同じ結果になっている。なお、「⑥資格取得に必要なだから」(4.4%)、「⑤単位が取りやすそうだった」(3.5%)は、前年度と同じく極めて少ない。
- ・ 2010年度に比べて2ポイント以上上がった項目は、「①授業内容にひかれた」経済学部(+2.9%)、社会学部(+2.0%)、「④必修だから」人文学部(+3.6%)。
- ・ 2010年度に比べて2ポイント以上下がった項目は、「③時間割上都合が良かった」社会学部(-2.5%)、人文学部(-2.0%)、「④必修だから」社会学部(-3.1%)、経済学部(-2.3%)、「⑤単位が取りやすそうだった」経済学部(-2.8%)、合計(全学)(-2.0%)

【 設問 I - 2 】

あなたはこの授業を履修する際、どの程度シラバス（授業案内）を参考にしましたか？

図表 I - 2

学部/年度	合計(全学)					経済学部				
	2010年度		2011年度		構成比の増減 (2011-2010)	2010年度		2011年度		構成比の増減 (2011-2010)
アンケート回収件数	48,097		46,564				13,228		11,198	
選択肢	回答件数	構成比	回答件数	構成比		回答件数	構成比	回答件数	構成比	
①非常に参考にした	5,959	12.4%	6,524	14.0%	1.6%	1,607	12.1%	1,649	14.7%	2.6%
②かなり参考にした	8,217	17.1%	8,643	18.6%	1.5%	2,169	16.4%	1,976	17.6%	1.2%
③ある程度は参考にした	19,332	40.2%	18,889	40.6%	0.4%	5,342	40.4%	4,606	41.1%	0.7%
④あまり参考にしなかった	6,587	13.7%	5,336	11.5%	-2.2%	1,803	13.6%	1,264	11.3%	-2.3%
⑤全く参考にしなかった	7,861	16.3%	7,039	15.1%	-1.2%	2,250	17.0%	1,662	14.8%	-2.2%
不明	141	0.3%	133	0.3%	0.0%	57	0.4%	41	0.4%	0.0%

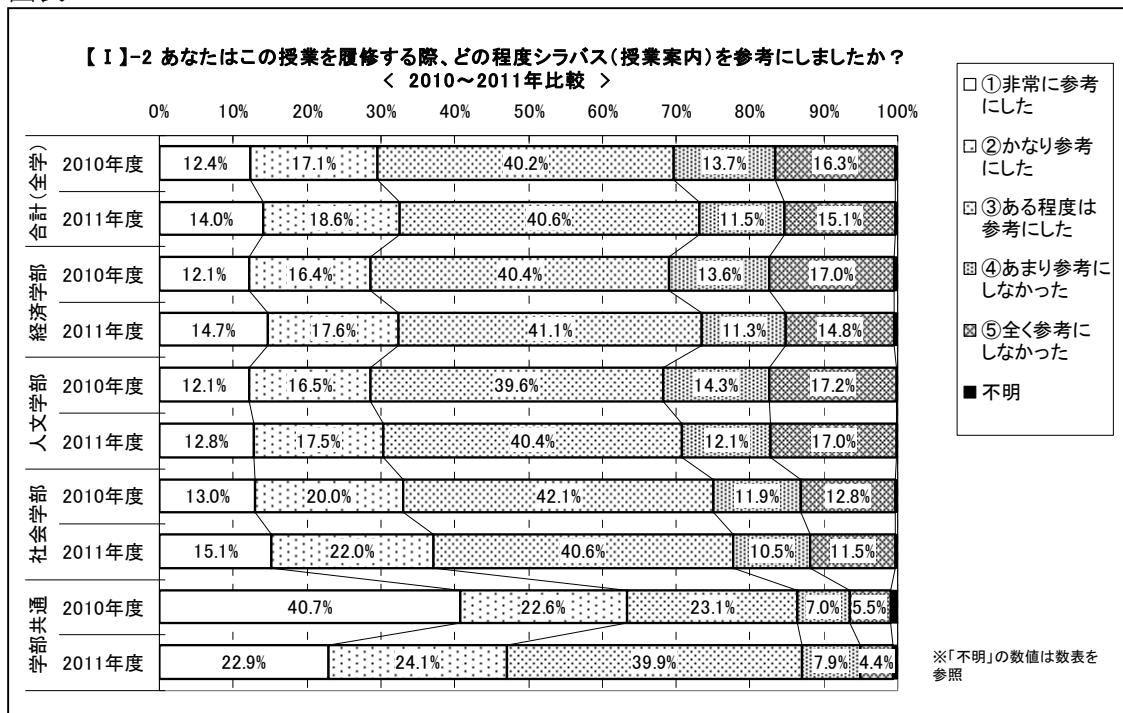
学部/年度	人文学部					社会学部				
	2010年度		2011年度		構成比の増減 (2011-2010)	2010年度		2011年度		構成比の増減 (2011-2010)
アンケート回収件数	26,445		25,485				8,225		8,456	
選択肢	回答件数	構成比	回答件数	構成比		回答件数	構成比	回答件数	構成比	
①非常に参考にした	3,205	12.1%	3,269	12.8%	0.7%	1,066	13.0%	1,279	15.1%	2.1%
②かなり参考にした	4,361	16.5%	4,460	17.5%	1.0%	1,642	20.0%	1,863	22.0%	2.0%
③ある程度は参考にした	10,478	39.6%	10,286	40.4%	0.8%	3,466	42.1%	3,429	40.6%	-1.5%
④あまり参考にしなかった	3,789	14.3%	3,073	12.1%	-2.2%	981	11.9%	886	10.5%	-1.4%
⑤全く参考にしなかった	4,551	17.2%	4,341	17.0%	-0.2%	1,049	12.8%	973	11.5%	-1.3%
不明	61	0.2%	56	0.2%	0.0%	21	0.3%	26	0.3%	0.0%

学部/年度	学部共通				
	2010年度		2011年度		構成比の増減 (2011-2010)
アンケート回収件数	199		1,425		
選択肢	回答件数	構成比	回答件数	構成比	
①非常に参考にした	81	40.7%	327	22.9%	-17.8%
②かなり参考にした	45	22.6%	344	24.1%	1.5%
③ある程度は参考にした	46	23.1%	568	39.9%	16.8%
④あまり参考にしなかった	14	7.0%	113	7.9%	0.9%
⑤全く参考にしなかった	11	5.5%	63	4.4%	-1.1%
不明	2	1.0%	10	0.7%	-0.3%

※「構成比」は、アンケート回収件数を全数として算出。「構成比の増減」が正の場合、セルを網掛けで表示



図表 I-2



- ・ 2011年度の全学部結果を見ると、「①非常に参考にした」14.0%、「②かなり参考にした」18.6%、「③ある程度は参考にした」40.6%、「④あまり参考にしなかった」11.5%、「⑤全く参考にしなかった」15.1%という結果であり、「①非常に参考にした+②かなり参考にした」で、前年度比3.1%の増加となっている。
- ・ 学部別でも同様の傾向が見られ、シラバスを積極的に参考にした、という意見が増加傾向にある。「①非常に参考にした」が経済学部で+2.6%、社会学部で+2.1%、「②かなり参考にした」が社会学部で+2.0%と、2ポイント以上の増加が見られる。

【 設問 I - 3 】

あなたはこの授業に関して、予習・復習など授業外での取り組みを行いましたか？

図表 I - 3

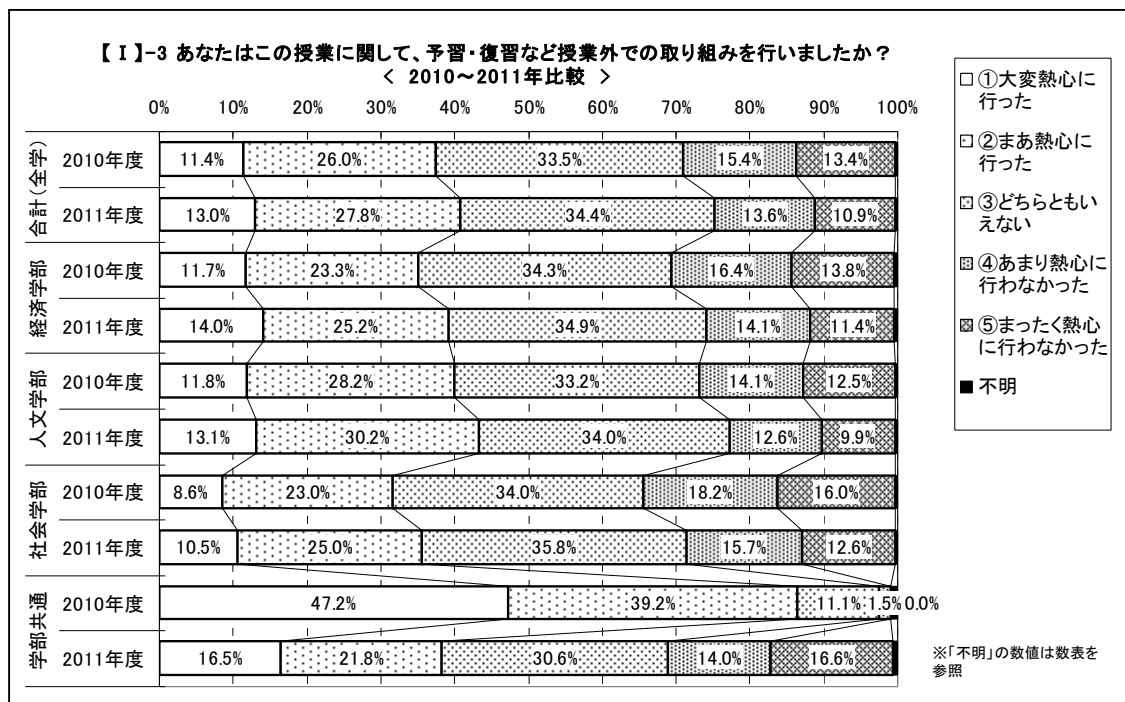
学部/年度	合計(全学)					経済学部				
	2010年度		2011年度		構成比の増減 (2011-2010)	2010年度		2011年度		構成比の増減 (2011-2010)
アンケート回収件数	48,097		46,564				13,228		11,198	
選択肢	回答件数	構成比	回答件数	構成比		回答件数	構成比	回答件数	構成比	
①大変熱心に行った	5,468	11.4%	6,033	13.0%	1.6%	1,552	11.7%	1,572	14.0%	2.3%
②まあ熱心に行った	12,492	26.0%	12,935	27.8%	1.8%	3,078	23.3%	2,817	25.2%	1.9%
③どちらともいえない	16,124	33.5%	16,023	34.4%	0.9%	4,531	34.3%	3,905	34.9%	0.6%
④あまり熱心に行わなかった	7,399	15.4%	6,323	13.6%	-1.8%	2,176	16.4%	1,577	14.1%	-2.3%
⑤まったく熱心に行わなかった	6,454	13.4%	5,097	10.9%	-2.5%	1,827	13.8%	1,281	11.4%	-2.4%
不明	160	0.3%	153	0.3%	0.0%	64	0.5%	46	0.4%	-0.1%

学部/年度	人文学部					社会学部				
	2010年度		2011年度		構成比の増減 (2011-2010)	2010年度		2011年度		構成比の増減 (2011-2010)
アンケート回収件数	26,445		25,485				8,225		8,456	
選択肢	回答件数	構成比	回答件数	構成比		回答件数	構成比	回答件数	構成比	
①大変熱心に行った	3,115	11.8%	3,335	13.1%	1.3%	707	8.6%	891	10.5%	1.9%
②まあ熱心に行った	7,448	28.2%	7,693	30.2%	2.0%	1,888	23.0%	2,115	25.0%	2.0%
③どちらともいえない	8,776	33.2%	8,656	34.0%	0.8%	2,795	34.0%	3,026	35.8%	1.8%
④あまり熱心に行わなかった	3,725	14.1%	3,218	12.6%	-1.5%	1,495	18.2%	1,328	15.7%	-2.5%
⑤まったく熱心に行わなかった	3,309	12.5%	2,513	9.9%	-2.6%	1,318	16.0%	1,067	12.6%	-3.4%
不明	72	0.3%	70	0.3%	0.0%	22	0.3%	29	0.3%	0.0%

学部/年度	学部共通				
	2010年度		2011年度		構成比の増減 (2011-2010)
アンケート回収件数	199		1,425		
選択肢	回答件数	構成比	回答件数	構成比	
①大変熱心に行った	94	47.2%	235	16.5%	-30.7%
②まあ熱心に行った	78	39.2%	310	21.8%	-17.4%
③どちらともいえない	22	11.1%	436	30.6%	19.5%
④あまり熱心に行わなかった	3	1.5%	200	14.0%	12.5%
⑤まったく熱心に行わなかった	0	0.0%	236	16.6%	16.6%
不明	2	1.0%	8	0.6%	-0.4%

※「構成比」は、アンケート回収件数を全数として算出。「構成比の増減」が正の場合、セルを網掛けで表示

図表 I-3



- 2011年度の全学部結果を見ると、「①大変熱心に行った」13.0%、「②まあ熱心に行った」27.8%、「③どちらともいえない」34.4%、「④あまり熱心に行わなかった」13.6%、「⑤まったく熱心に行わなかった」10.9%という結果であり、「①大変熱心に行った+②まあ熱心に行った」で、前年度比3.4%の増加となっている。
- 学部別でも同様の傾向が見られ、予習・復習など授業外での取り組みを行った、という意見が増加傾向にある。「①大変熱心に行った」が経済学部で+2.3%、「②まあ熱心に行った」が人文学部で+2.0%、社会学部で+2.0%と、2ポイント以上増加。

【設問 I-4】 あなたはこの授業にどの程度出席していましたか？

図表 I-4

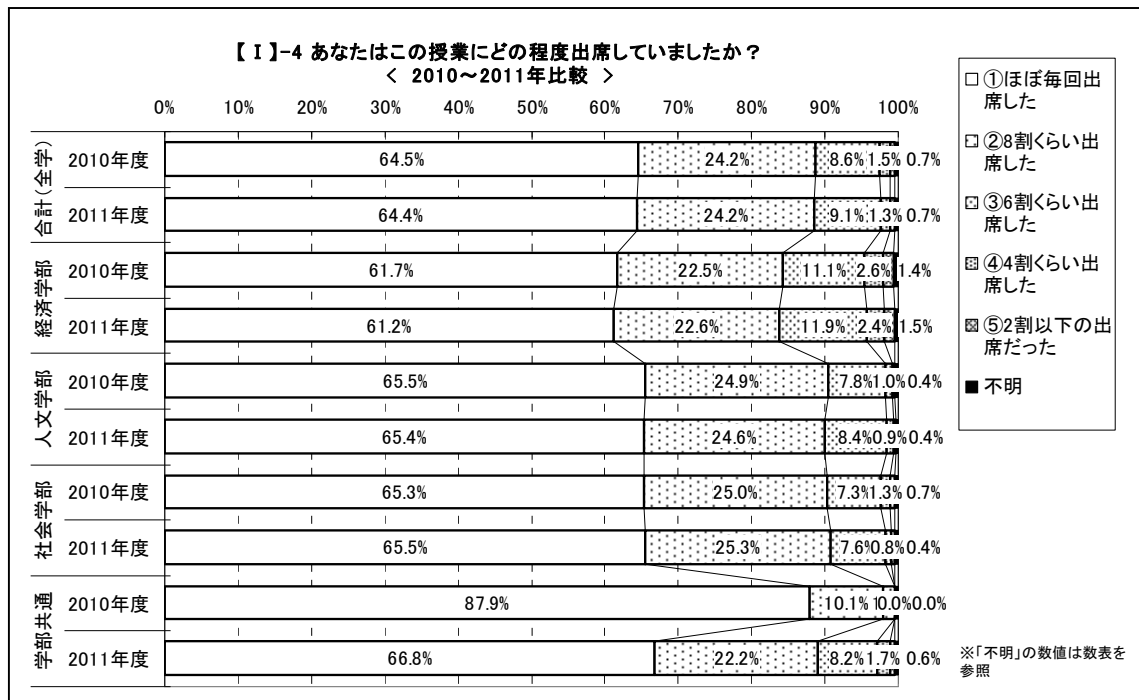
学部/年度	合計(全学)					経済学部				
	2010年度		2011年度		構成比の増減 (2011-2010)	2010年度		2011年度		構成比の増減 (2011-2010)
アンケート回収件数	48,097		46,564				13,228		11,198	
選択肢	回答件数	構成比	回答件数	構成比		回答件数	構成比	回答件数	構成比	
①ほぼ毎回出席した	31,028	64.5%	30,005	64.4%	-0.1%	8,168	61.7%	6,854	61.2%	-0.5%
②8割くらい出席した	11,647	24.2%	11,256	24.2%	0.0%	2,977	22.5%	2,527	22.6%	0.1%
③6割くらい出席した	4,140	8.6%	4,229	9.1%	0.5%	1,471	11.1%	1,333	11.9%	0.8%
④4割くらい出席した	716	1.5%	587	1.3%	-0.2%	347	2.6%	270	2.4%	-0.2%
⑤2割以下の出席だった	355	0.7%	314	0.7%	0.0%	189	1.4%	169	1.5%	0.1%
不明	211	0.4%	173	0.4%	0.0%	76	0.6%	45	0.4%	-0.2%

学部/年度	人文学部					社会学部				
	2010年度		2011年度		構成比の増減 (2011-2010)	2010年度		2011年度		構成比の増減 (2011-2010)
アンケート回収件数	26,445		25,485				8,225		8,456	
選択肢	回答件数	構成比	回答件数	構成比		回答件数	構成比	回答件数	構成比	
①ほぼ毎回出席した	17,312	65.5%	16,664	65.4%	-0.1%	5,373	65.3%	5,535	65.5%	0.2%
②8割くらい出席した	6,596	24.9%	6,276	24.6%	-0.3%	2,054	25.0%	2,137	25.3%	0.3%
③6割くらい出席した	2,065	7.8%	2,133	8.4%	0.6%	601	7.3%	646	7.6%	0.3%
④4割くらい出席した	261	1.0%	227	0.9%	-0.1%	108	1.3%	66	0.8%	-0.5%
⑤2割以下の出席だった	110	0.4%	104	0.4%	0.0%	56	0.7%	32	0.4%	-0.3%
不明	101	0.4%	81	0.3%	-0.1%	33	0.4%	40	0.5%	0.1%

学部/年度	学部共通				
	2010年度		2011年度		構成比の増減 (2011-2010)
アンケート回収件数	199		1,425		
選択肢	回答件数	構成比	回答件数	構成比	
①ほぼ毎回出席した	175	87.9%	952	66.8%	-21.1%
②8割くらい出席した	20	10.1%	316	22.2%	12.1%
③6割くらい出席した	3	1.5%	117	8.2%	6.7%
④4割くらい出席した	0	0.0%	24	1.7%	1.7%
⑤2割以下の出席だった	0	0.0%	9	0.6%	0.6%
不明	1	0.5%	7	0.5%	0.0%

※「構成比」は、アンケート回収件数を全数として算出。「構成比の増減」が正の場合、セルを網掛けで表示

図表 I - 4



- ・ 2011年度の全学部結果を見ると、「①ほぼ毎回出席した」64.4%、「②8割くらい出席した」24.2%、「③6割くらい出席した」9.1%、「④4割くらい出席した」1.3%、「⑤2割以下の出席だった」0.7%。前年度と同程度である。
- ・ 学部別でも同様の傾向が見られ、前年度と同程度の出席状況となっている。

【設問Ⅱ-1】 授業内容はよく理解でき、興味をもてた

図表Ⅱ-1

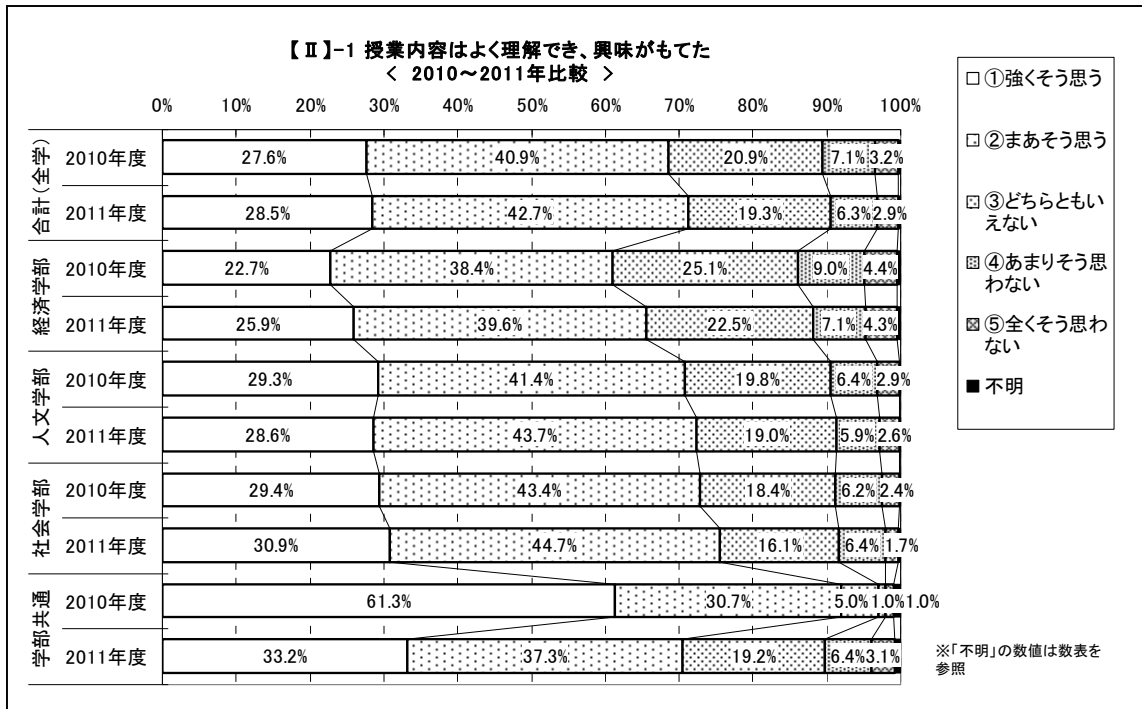
学部/年度	合計(全学)					経済学部				
	2010年度		2011年度		構成比の増減 (2011-2010)	2010年度		2011年度		構成比の増減 (2011-2010)
アンケート回収件数	48,097		46,564				13,228		11,198	
選択肢	回答件数	構成比	回答件数	構成比		回答件数	構成比	回答件数	構成比	
①強く思う	13,284	27.6%	13,266	28.5%	0.9%	2,998	22.7%	2,904	25.9%	3.2%
②まあ思う	19,648	40.9%	19,900	42.7%	1.8%	5,075	38.4%	4,440	39.6%	1.2%
③どちらともいえない	10,072	20.9%	8,985	19.3%	-1.6%	3,318	25.1%	2,516	22.5%	-2.6%
④あまりそう思わない	3,410	7.1%	2,945	6.3%	-0.8%	1,192	9.0%	799	7.1%	-1.9%
⑤全くそう思わない	1,546	3.2%	1,329	2.9%	-0.3%	582	4.4%	485	4.3%	-0.1%
不明	137	0.3%	139	0.3%	0.0%	63	0.5%	54	0.5%	0.0%

学部/年度	人文学部					社会学部				
	2010年度		2011年度		構成比の増減 (2011-2010)	2010年度		2011年度		構成比の増減 (2011-2010)
アンケート回収件数	26,445		25,485				8,225		8,456	
選択肢	回答件数	構成比	回答件数	構成比		回答件数	構成比	回答件数	構成比	
①強く思う	7,742	29.3%	7,278	28.6%	-0.7%	2,422	29.4%	2,611	30.9%	1.5%
②まあ思う	10,941	41.4%	11,146	43.7%	2.3%	3,571	43.4%	3,782	44.7%	1.3%
③どちらともいえない	5,231	19.8%	4,834	19.0%	-0.8%	1,513	18.4%	1,362	16.1%	-2.3%
④あまりそう思わない	1,705	6.4%	1,516	5.9%	-0.5%	511	6.2%	539	6.4%	0.2%
⑤全くそう思わない	768	2.9%	660	2.6%	-0.3%	194	2.4%	140	1.7%	-0.7%
不明	58	0.2%	51	0.2%	0.0%	14	0.2%	22	0.3%	0.1%

学部/年度	学部共通				
	2010年度		2011年度		構成比の増減 (2011-2010)
アンケート回収件数	199		1,425		
選択肢	回答件数	構成比	回答件数	構成比	
①強く思う	122	61.3%	473	33.2%	-28.1%
②まあ思う	61	30.7%	532	37.3%	6.6%
③どちらともいえない	10	5.0%	273	19.2%	14.2%
④あまりそう思わない	2	1.0%	91	6.4%	5.4%
⑤全くそう思わない	2	1.0%	44	3.1%	2.1%
不明	2	1.0%	12	0.8%	-0.2%

※「構成比」は、アンケート回収件数を全数として算出。「構成比の増減」が正の場合、セルを網掛けで表示

図表Ⅱ-1



- 2011年度の全学部結果を見ると、「①強くそう思う+②まあそう思う」の満足層が71.2%を占めており、前年度と比べて2.7ポイントの増加となっている。一方、「④あまりそう思わない+⑤全くそう思わない」の不満層の割合は9.2%と少なく、前年度と比べて1.1ポイント減少している。
- 学部別でも同様の傾向が見られ、授業内容への理解・興味が改善傾向にある。経済学部では「①強くそう思う」が+3.2%と、3ポイント以上の改善が見られる。

【設問Ⅱ-2】 授業の進行速度は適切だった

図表Ⅱ-2

学部/年度	合計(全学)					経済学部				
	2010年度		2011年度		構成比の増減 (2011-2010)	2010年度		2011年度		構成比の増減 (2011-2010)
アンケート回収件数	48,097		46,564				13,228		11,198	
選択肢	回答件数	構成比	回答件数	構成比		回答件数	構成比	回答件数	構成比	
①強く思う	14,322	29.8%	14,144	30.4%	0.6%	3,382	25.6%	3,257	29.1%	3.5%
②まあ思う	18,609	38.7%	18,370	39.5%	0.8%	4,774	36.1%	4,149	37.1%	1.0%
③どちらともいえない	10,326	21.5%	9,665	20.8%	-0.7%	3,395	25.7%	2,580	23.0%	-2.7%
④あまりそう思わない	3,319	6.9%	3,084	6.6%	-0.3%	1,108	8.4%	769	6.9%	-1.5%
⑤全くそう思わない	1,208	2.5%	1,004	2.2%	-0.3%	453	3.4%	334	3.0%	-0.4%
不明	313	0.7%	297	0.6%	-0.1%	116	0.9%	109	1.0%	0.1%

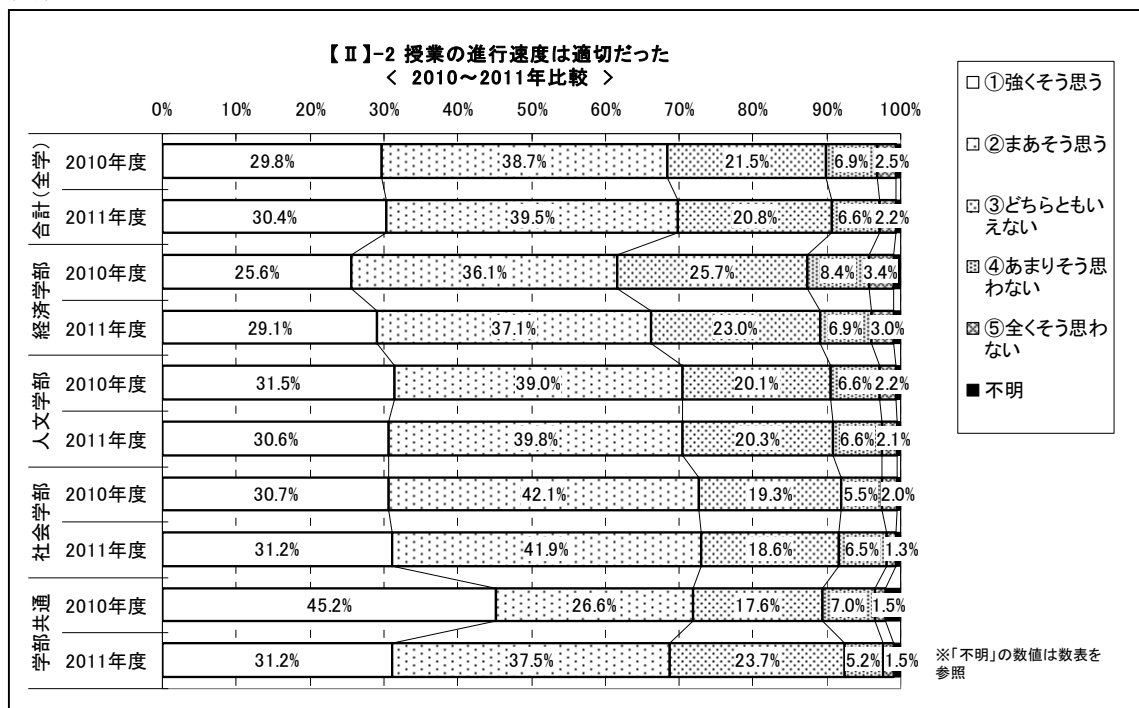
学部/年度	人文学部					社会学部				
	2010年度		2011年度		構成比の増減 (2011-2010)	2010年度		2011年度		構成比の増減 (2011-2010)
アンケート回収件数	26,445		25,485				8,225		8,456	
選択肢	回答件数	構成比	回答件数	構成比		回答件数	構成比	回答件数	構成比	
①強く思う	8,322	31.5%	7,804	30.6%	-0.9%	2,528	30.7%	2,638	31.2%	0.5%
②まあ思う	10,321	39.0%	10,145	39.8%	0.8%	3,461	42.1%	3,542	41.9%	-0.2%
③どちらともいえない	5,310	20.1%	5,178	20.3%	0.2%	1,586	19.3%	1,569	18.6%	-0.7%
④あまりそう思わない	1,746	6.6%	1,693	6.6%	0.0%	451	5.5%	548	6.5%	1.0%
⑤全くそう思わない	591	2.2%	541	2.1%	-0.1%	161	2.0%	108	1.3%	-0.7%
不明	155	0.6%	124	0.5%	-0.1%	38	0.5%	51	0.6%	0.1%

学部/年度	学部共通				
	2010年度		2011年度		構成比の増減 (2011-2010)
アンケート回収件数	199		1,425		
選択肢	回答件数	構成比	回答件数	構成比	
①強く思う	90	45.2%	445	31.2%	-14.0%
②まあ思う	53	26.6%	534	37.5%	10.9%
③どちらともいえない	35	17.6%	338	23.7%	6.1%
④あまりそう思わない	14	7.0%	74	5.2%	-1.8%
⑤全くそう思わない	3	1.5%	21	1.5%	0.0%
不明	4	2.0%	13	0.9%	-1.1%

※「構成比」は、アンケート回収件数を全数として算出。「構成比の増減」が正の場合、セルを網掛けで表示



図表Ⅱ-2



- ・ 2011年度の全学部結果を見ると、「①強くそう思う+②まあそう思う」の満足層が69.9%、を占めており、前年度と比べて1.4ポイントの増加となっている。一方、「④あまりそう思わない+⑤全くそう思わない」の不満足層の割合は8.8%と少なく、前年度と比べて0.6ポイント減少している。
- ・ 学部別では授業の進行速度について、経済学部が改善傾向にあり、人文学部、社会学部は前年度と同程度である。経済学部で「①強くそう思う」が+3.5%と、3ポイント以上の改善が見られる。

【設問Ⅱ-3】 教室の設備・大きさは、授業や演習の運営に適切だった（複数回答可）

図表Ⅱ-3

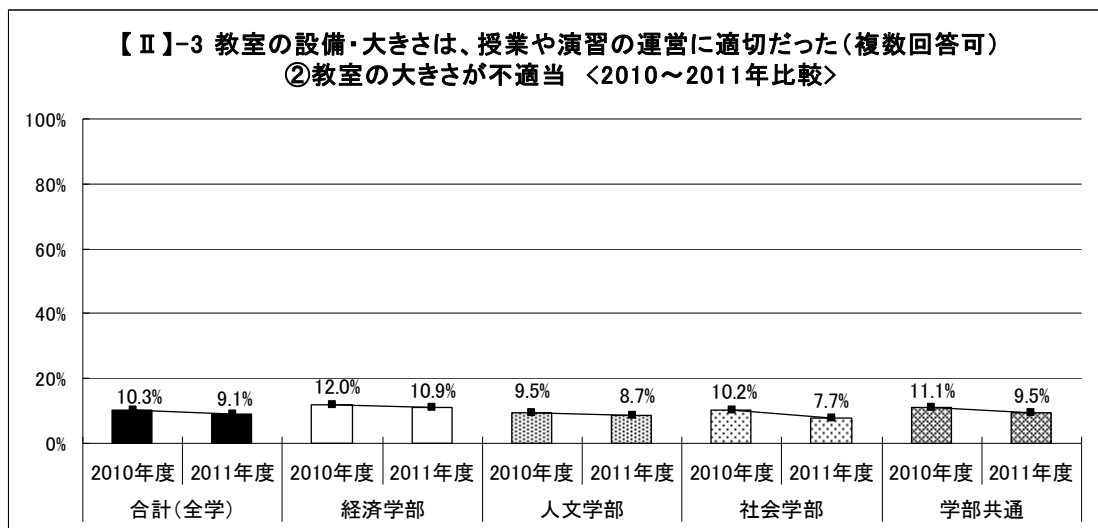
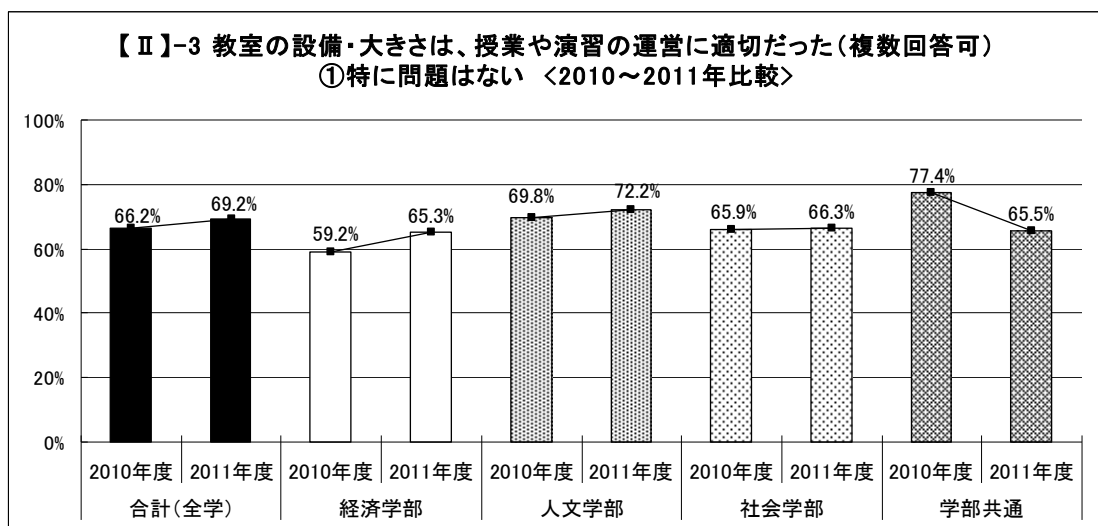
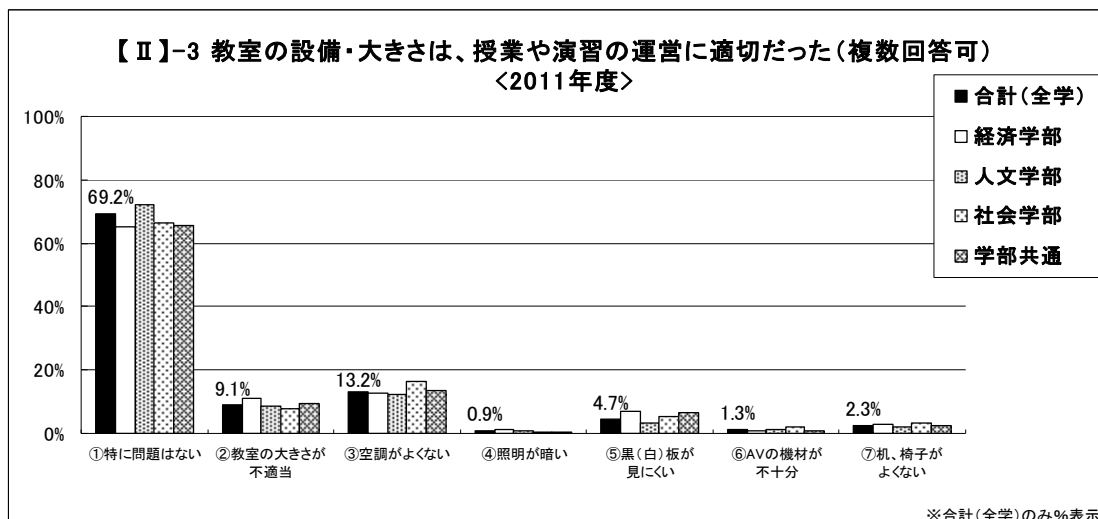
学部/年度	合計(全学)				構成比の増減 (2011-2010)	経済学部				
	2010年度		2011年度			2010年度		2011年度		構成比の増減 (2011-2010)
アンケート回収件数	48,097		46,564			13,228		11,198		
選択肢	回答件数	構成比	回答件数	構成比		回答件数	構成比	回答件数	構成比	
①特に問題はない	31,861	66.2%	32,240	69.2%	3.0%	7,827	59.2%	7,313	65.3%	6.1%
②教室の大きさが不適當	4,966	10.3%	4,226	9.1%	-1.2%	1,584	12.0%	1,225	10.9%	-1.1%
③空調がよくない	6,453	13.4%	6,155	13.2%	-0.2%	2,029	15.3%	1,446	12.9%	-2.4%
④照明が暗い	536	1.1%	407	0.9%	-0.2%	222	1.7%	131	1.2%	-0.5%
⑤黒(白)板が見にくい	2,529	5.3%	2,178	4.7%	-0.6%	1,139	8.6%	788	7.0%	-1.6%
⑥AVの機材が不十分	798	1.7%	591	1.3%	-0.4%	205	1.5%	90	0.8%	-0.7%
⑦机、椅子がよくない	1,902	4.0%	1,086	2.3%	-1.7%	536	4.1%	297	2.7%	-1.4%
不明	694	1.4%	610	1.3%	-0.1%	251	1.9%	175	1.6%	-0.3%

学部/年度	人文学部				構成比の増減 (2011-2010)	社会学部				
	2010年度		2011年度			2010年度		2011年度		構成比の増減 (2011-2010)
アンケート回収件数	26,445		25,485			8,225		8,456		
選択肢	回答件数	構成比	回答件数	構成比		回答件数	構成比	回答件数	構成比	
①特に問題はない	18,457	69.8%	18,390	72.2%	2.4%	5,423	65.9%	5,603	66.3%	0.4%
②教室の大きさが不適當	2,522	9.5%	2,212	8.7%	-0.8%	838	10.2%	653	7.7%	-2.5%
③空調がよくない	3,360	12.7%	3,128	12.3%	-0.4%	1,059	12.9%	1,390	16.4%	3.5%
④照明が暗い	228	0.9%	215	0.8%	-0.1%	86	1.0%	53	0.6%	-0.4%
⑤黒(白)板が見にくい	877	3.3%	849	3.3%	0.0%	510	6.2%	450	5.3%	-0.9%
⑥AVの機材が不十分	463	1.8%	315	1.2%	-0.6%	129	1.6%	174	2.1%	0.5%
⑦机、椅子がよくない	889	3.4%	486	1.9%	-1.5%	463	5.6%	266	3.1%	-2.5%
不明	348	1.3%	297	1.2%	-0.1%	90	1.1%	100	1.2%	0.1%

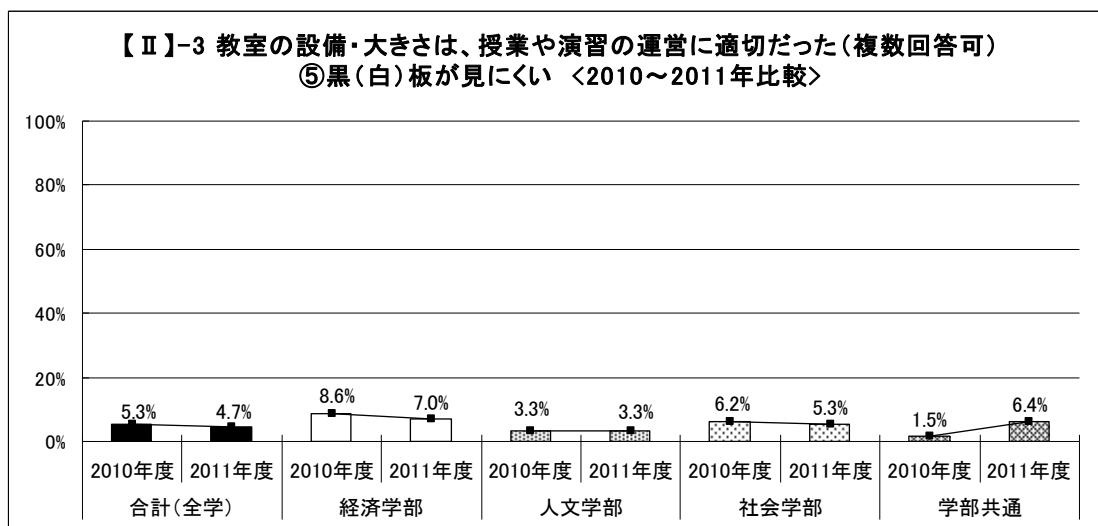
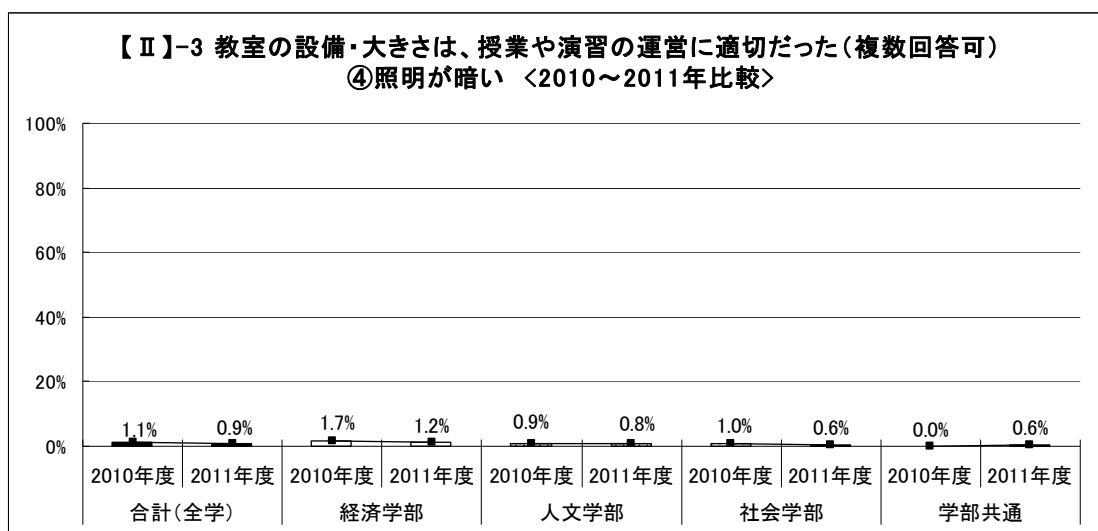
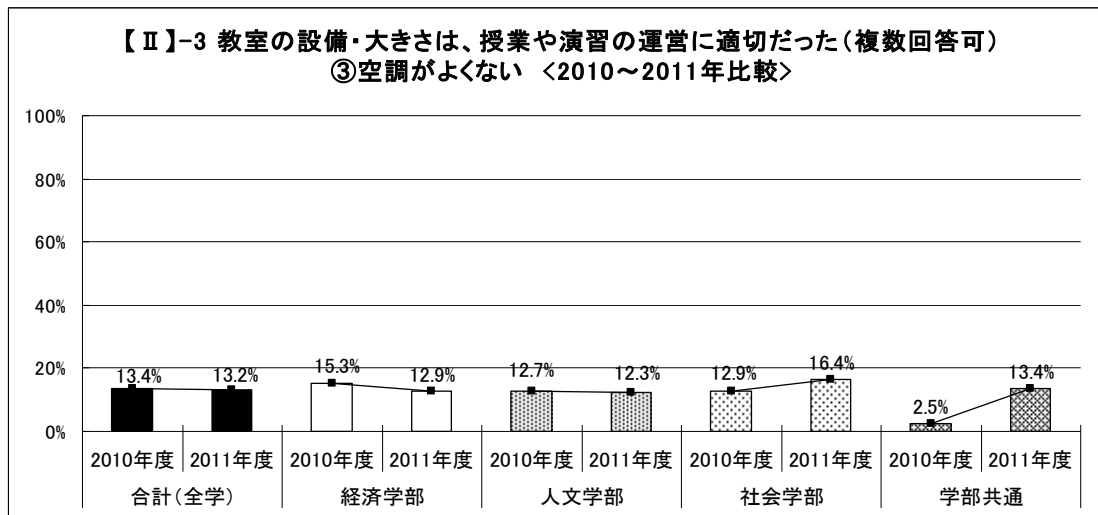
学部/年度	学部共通				構成比の増減 (2011-2010)
	2010年度		2011年度		
アンケート回収件数	199		1,425		
選択肢	回答件数	構成比	回答件数	構成比	
①特に問題はない	154	77.4%	934	65.5%	-11.9%
②教室の大きさが不適當	22	11.1%	136	9.5%	-1.6%
③空調がよくない	5	2.5%	191	13.4%	10.9%
④照明が暗い	0	0.0%	8	0.6%	0.6%
⑤黒(白)板が見にくい	3	1.5%	91	6.4%	4.9%
⑥AVの機材が不十分	1	0.5%	12	0.8%	0.3%
⑦机、椅子がよくない	14	7.0%	37	2.6%	-4.4%
不明	5	2.5%	38	2.7%	0.2%

※「構成比」は、アンケート回収件数を全数として算出。「構成比の増減」が正の場合、セルを網掛けで表示

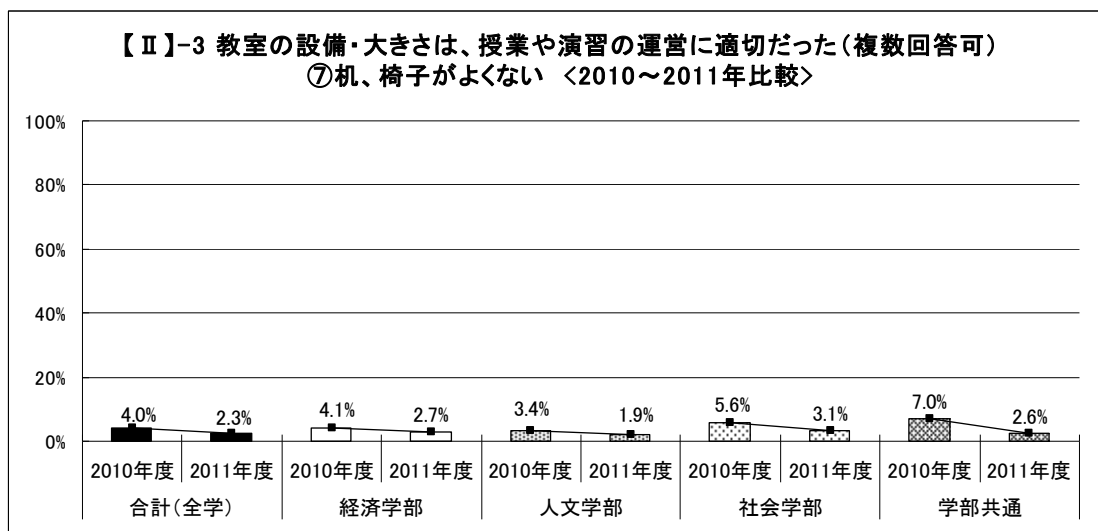
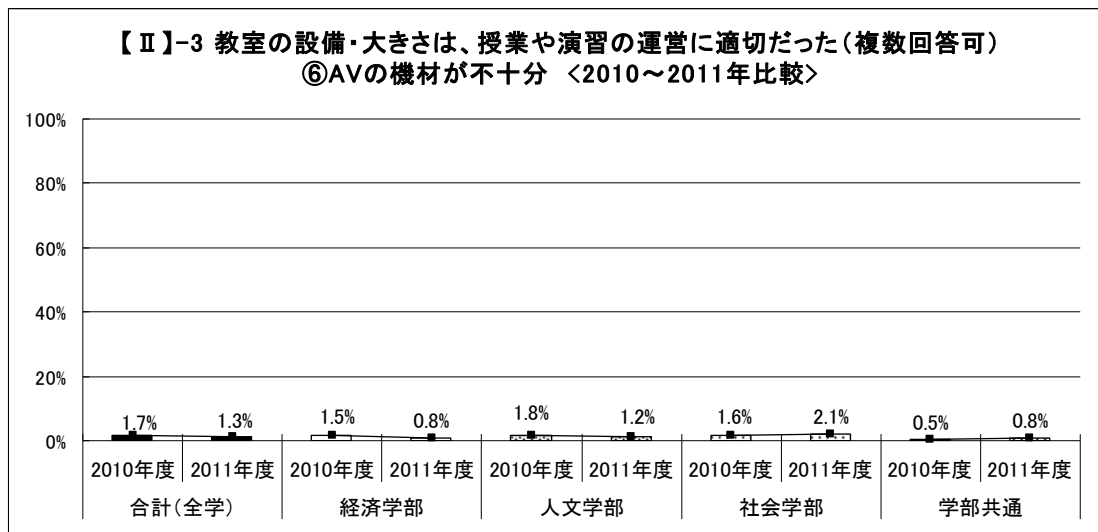
図表Ⅱ-3



図表Ⅱ-3



図表Ⅱ-3



- 2011年度の全学部結果を見ると、「①特に問題はない」69.2%が最も多く、次いで「③空調がよくない」13.2%、「②教室の大きさが不適當」9.1%、「⑤黒(白)板が見にくい」4.7%の順となっている。その他の項目は前年度と同じく極めて少ない。
- 2010年度に比べて2ポイント以上上がった項目は、「①特に問題はない」経済学部(+6.1%)、合計(全学)(+3.0%)、人文学部(+2.4%)、「②教室の大きさが不適當」社会学部(-2.5%)、「③空調がよくない」経済学部(-2.4%)、「⑦机、椅子がよくない」社会学部(-2.5%)。
- 2010年度に比べて2ポイント以上評価が下がった項目は、「③空調がよくない」社会学部(+3.5%)となっている。

## 【 設問Ⅱ－４ 】 教員の声はよく聞き取れた

図表Ⅱ－４

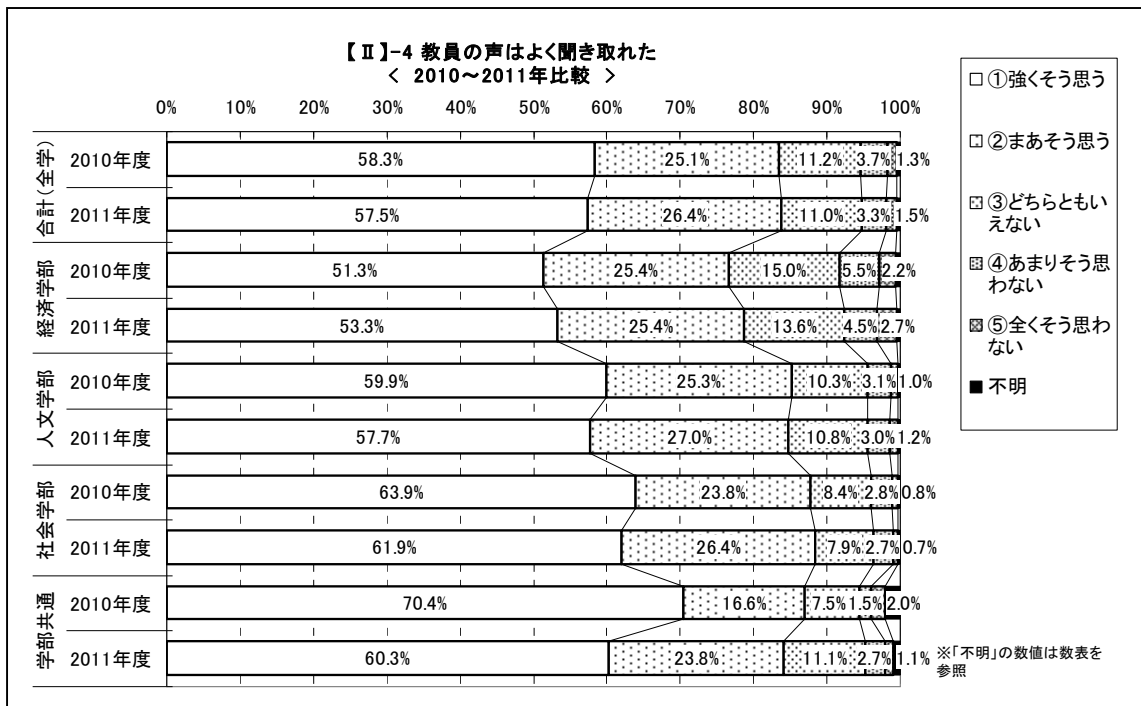
学部/年度	合計(全学)					経済学部				
	2010年度		2011年度		構成比の増減 (2011-2010)	2010年度		2011年度		構成比の増減 (2011-2010)
アンケート回収件数	48,097		46,564				13,228		11,198	
選択肢	回答件数	構成比	回答件数	構成比		回答件数	構成比	回答件数	構成比	
①強く思う	28,031	58.3%	26,756	57.5%	-0.8%	6,791	51.3%	5,969	53.3%	-2.0%
②まあ思う	12,054	25.1%	12,311	26.4%	1.3%	3,365	25.4%	2,849	25.4%	0.0%
③どちらともいえない	5,397	11.2%	5,114	11.0%	-0.2%	1,979	15.0%	1,524	13.6%	-1.4%
④あまりそう思わない	1,781	3.7%	1,533	3.3%	-0.4%	721	5.5%	499	4.5%	-1.0%
⑤全くそう思わない	633	1.3%	676	1.5%	0.2%	287	2.2%	299	2.7%	0.5%
不明	201	0.4%	174	0.4%	0.0%	85	0.6%	58	0.5%	-0.1%

学部/年度	人文学部					社会学部				
	2010年度		2011年度		構成比の増減 (2011-2010)	2010年度		2011年度		構成比の増減 (2011-2010)
アンケート回収件数	26,445		25,485				8,225		8,456	
選択肢	回答件数	構成比	回答件数	構成比		回答件数	構成比	回答件数	構成比	
①強く思う	15,842	59.9%	14,693	57.7%	-2.2%	5,258	63.9%	5,235	61.9%	-2.0%
②まあ思う	6,701	25.3%	6,888	27.0%	1.7%	1,955	23.8%	2,235	26.4%	2.6%
③どちらともいえない	2,713	10.3%	2,760	10.8%	0.5%	690	8.4%	672	7.9%	-0.5%
④あまりそう思わない	826	3.1%	770	3.0%	-0.1%	231	2.8%	225	2.7%	-0.1%
⑤全くそう思わない	273	1.0%	299	1.2%	0.2%	69	0.8%	62	0.7%	-0.1%
不明	90	0.3%	75	0.3%	0.0%	22	0.3%	27	0.3%	0.0%

学部/年度	学部共通				
	2010年度		2011年度		構成比の増減 (2011-2010)
アンケート回収件数	199		1,425		
選択肢	回答件数	構成比	回答件数	構成比	
①強く思う	140	70.4%	859	60.3%	-10.1%
②まあ思う	33	16.6%	339	23.8%	7.2%
③どちらともいえない	15	7.5%	158	11.1%	3.6%
④あまりそう思わない	3	1.5%	39	2.7%	1.2%
⑤全くそう思わない	4	2.0%	16	1.1%	-0.9%
不明	4	2.0%	14	1.0%	-1.0%

※「構成比」は、アンケート回収件数を全数として算出。「構成比の増減」が正の場合、セルを網掛けで表示

図表Ⅱ-4



- ・ 2011年度の全学部結果を見ると、「①強くそう思う+②まあそう思う」の満足層が83.9%、を占めており、前年度とほぼ同率。「④あまりそう思わない+⑤全くそう思わない」の不満足層の割合は4.8%と少なく、こちらも前年度とほぼ同率である。
- ・ 学部別では教員の声の聞き取りやすさについて、経済学部では改善傾向にあり、人文学部、社会学部は前年度と同程度である。経済学部で「①強くそう思う」が+2.0%の改善が見られる。人文学部と社会学部では「①強くそう思う+②まあそう思う」の満足層で見るとほぼ同率だが、「①強くそう思う」だけを見ると約2ポイント減少している。

【設問Ⅱ-5】 この授業は私語がなく静粛だった

図表Ⅱ-5

学部/年度	合計(全学)					経済学部				
	2010年度		2011年度		構成比の増減 (2011-2010)	2010年度		2011年度		構成比の増減 (2011-2010)
アンケート回収件数	48,097		46,564				13,228		11,198	
選択肢	回答件数	構成比	回答件数	構成比		回答件数	構成比	回答件数	構成比	
①強く思う	17,363	36.1%	17,254	37.1%	1.0%	3,947	29.8%	3,786	33.8%	4.0%
②まあ思う	13,586	28.2%	14,029	30.1%	1.9%	3,451	26.1%	3,009	26.9%	0.8%
③どちらともいえない	10,009	20.8%	9,424	20.2%	-0.6%	3,050	23.1%	2,394	21.4%	-1.7%
④あまりそう思わない	4,586	9.5%	3,852	8.3%	-1.2%	1,620	12.2%	1,117	10.0%	-2.2%
⑤全くそう思わない	2,318	4.8%	1,799	3.9%	-0.9%	1,054	8.0%	822	7.3%	-0.7%
不明	235	0.5%	206	0.4%	-0.1%	106	0.8%	70	0.6%	-0.2%

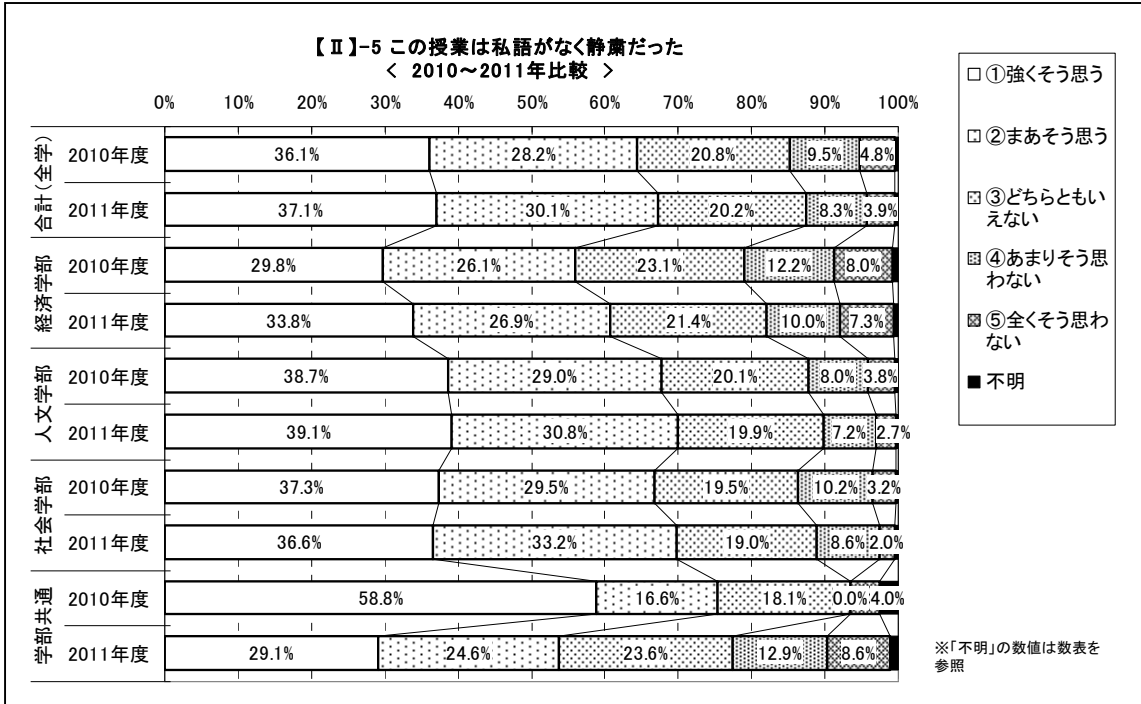
学部/年度	人文学部					社会学部				
	2010年度		2011年度		構成比の増減 (2011-2010)	2010年度		2011年度		構成比の増減 (2011-2010)
アンケート回収件数	26,445		25,485				8,225		8,456	
選択肢	回答件数	構成比	回答件数	構成比		回答件数	構成比	回答件数	構成比	
①強く思う	10,233	38.7%	9,954	39.1%	0.4%	3,066	37.3%	3,099	36.6%	-0.7%
②まあ思う	7,677	29.0%	7,859	30.8%	1.8%	2,425	29.5%	2,810	33.2%	3.7%
③どちらともいえない	5,316	20.1%	5,083	19.9%	-0.2%	1,607	19.5%	1,610	19.0%	-0.5%
④あまりそう思わない	2,125	8.0%	1,824	7.2%	-0.8%	841	10.2%	727	8.6%	-1.6%
⑤全くそう思わない	994	3.8%	686	2.7%	-1.1%	262	3.2%	169	2.0%	-1.2%
不明	100	0.4%	79	0.3%	-0.1%	24	0.3%	41	0.5%	0.2%

学部/年度	学部共通				
	2010年度		2011年度		構成比の増減 (2011-2010)
アンケート回収件数	199		1,425		
選択肢	回答件数	構成比	回答件数	構成比	
①強く思う	117	58.8%	415	29.1%	-29.7%
②まあ思う	33	16.6%	351	24.6%	8.0%
③どちらともいえない	36	18.1%	337	23.6%	5.5%
④あまりそう思わない	0	0.0%	184	12.9%	12.9%
⑤全くそう思わない	8	4.0%	122	8.6%	4.6%
不明	5	2.5%	16	1.1%	-1.4%

※「構成比」は、アンケート回収件数を全数として算出。「構成比の増減」が正の場合、セルを網掛けで表示



図表Ⅱ-5



- ・ 2011年度の全学部結果を見ると、「①強くそう思う+②まあそう思う」の満足層が67.2%、を占めており、前年度と比べて2.9ポイントの増加となっている。一方、「④あまりそう思わない+⑤全くそう思わない」の不満層の割合は12.2%で、2.1ポイント減少している。
- ・ 学部別に見ても、授業での私語のなさ、静粛さについて改善傾向にある。経済学部で「①強くそう思う」が+4.0%、社会学部で「②まあそう思う」が+3.7%と、4ポイント前後の改善が見られる。

【設問Ⅱ-6】 私語があった場合、教員は私語を止めるよう注意していた

図表Ⅱ-6

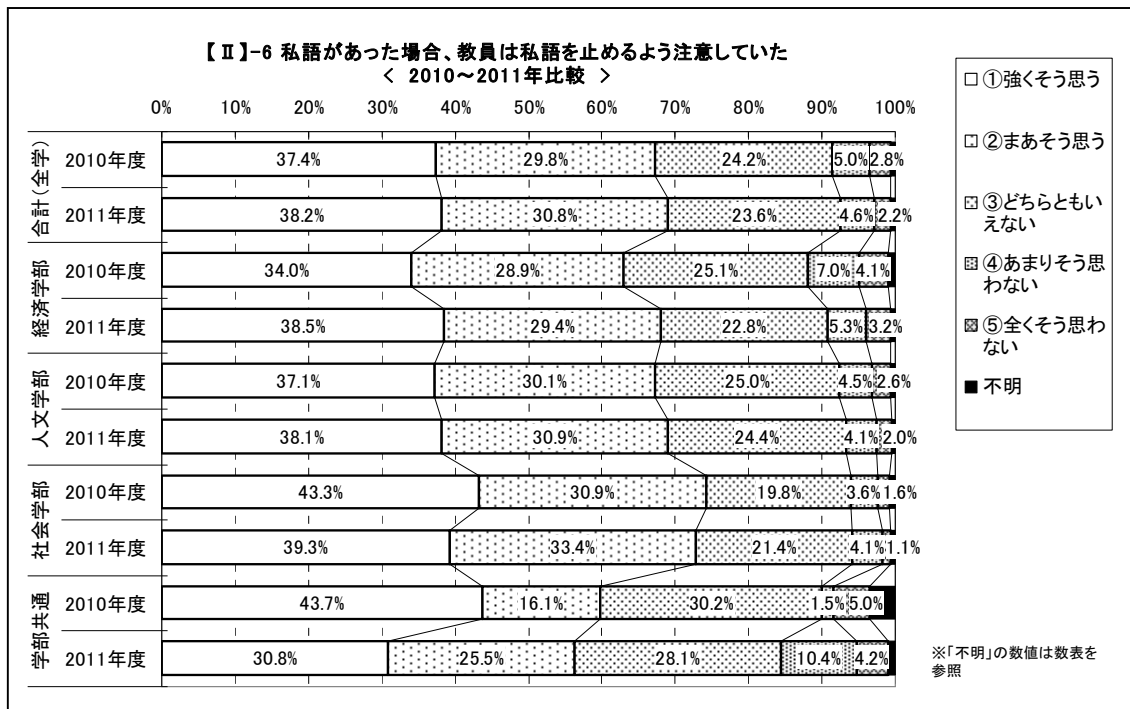
学部/年度	合計(全学)					経済学部				
	2010年度		2011年度		構成比の増減 (2011-2010)	2010年度		2011年度		構成比の増減 (2011-2010)
アンケート回収件数	48,097		46,564				13,228		11,198	
選択肢	回答件数	構成比	回答件数	構成比		回答件数	構成比	回答件数	構成比	
①強く思う	17,973	37.4%	17,779	38.2%	0.8%	4,501	34.0%	4,316	38.5%	4.5%
②まあ思う	14,352	29.8%	14,361	30.8%	1.0%	3,823	28.9%	3,288	29.4%	0.5%
③どちらともいえない	11,634	24.2%	10,993	23.6%	-0.6%	3,320	25.1%	2,554	22.8%	-2.3%
④あまりそう思わない	2,420	5.0%	2,142	4.6%	-0.4%	928	7.0%	596	5.3%	-1.7%
⑤全くそう思わない	1,363	2.8%	1,025	2.2%	-0.6%	539	4.1%	361	3.2%	-0.9%
不明	355	0.7%	264	0.6%	-0.1%	117	0.9%	83	0.7%	-0.2%

学部/年度	人文学部					社会学部				
	2010年度		2011年度		構成比の増減 (2011-2010)	2010年度		2011年度		構成比の増減 (2011-2010)
アンケート回収件数	26,445		25,485				8,225		8,456	
選択肢	回答件数	構成比	回答件数	構成比		回答件数	構成比	回答件数	構成比	
①強く思う	9,821	37.1%	9,698	38.1%	1.0%	3,564	43.3%	3,326	39.3%	-4.0%
②まあ思う	7,958	30.1%	7,884	30.9%	0.8%	2,539	30.9%	2,826	33.4%	2.5%
③どちらともいえない	6,622	25.0%	6,227	24.4%	-0.6%	1,632	19.8%	1,811	21.4%	1.6%
④あまりそう思わない	1,194	4.5%	1,049	4.1%	-0.4%	295	3.6%	349	4.1%	0.5%
⑤全くそう思わない	682	2.6%	510	2.0%	-0.6%	132	1.6%	94	1.1%	-0.5%
不明	168	0.6%	117	0.5%	-0.1%	63	0.8%	50	0.6%	-0.2%

学部/年度	学部共通				
	2010年度		2011年度		構成比の増減 (2011-2010)
アンケート回収件数	199		1,425		
選択肢	回答件数	構成比	回答件数	構成比	
①強く思う	87	43.7%	439	30.8%	-12.9%
②まあ思う	32	16.1%	363	25.5%	9.4%
③どちらともいえない	60	30.2%	401	28.1%	-2.1%
④あまりそう思わない	3	1.5%	148	10.4%	8.9%
⑤全くそう思わない	10	5.0%	60	4.2%	-0.8%
不明	7	3.5%	14	1.0%	-2.5%

※「構成比」は、アンケート回収件数を全数として算出。「構成比の増減」が正の場合、セルを網掛けで表示

図表Ⅱ-6



- 2011年度の全学部結果を見ると、「①強くそう思う+②まあそう思う」の満足層が69.0%を占めており、前年度と比べて1.8ポイントの増加となっている。一方、「④あまりそう思わない+⑤全くそう思わない」の不満層の割合は6.8%と少なく、前年度と比べて1.0ポイント減少している。
- 学部別では教員の私語対応について、経済学部、人文学部が改善傾向にある。経済学部では「①強くそう思う」が+4.5%、「③どちらともいえない」が-2.3%と、改善が見られる。社会学部では「①強くそう思う」が-4.0%と減少している一方で、「②まあそう思う」が+2.5%と2ポイント以上増加している。

【設問Ⅱ-7】 授業に対する教員の意欲を感じた

図表Ⅱ-7

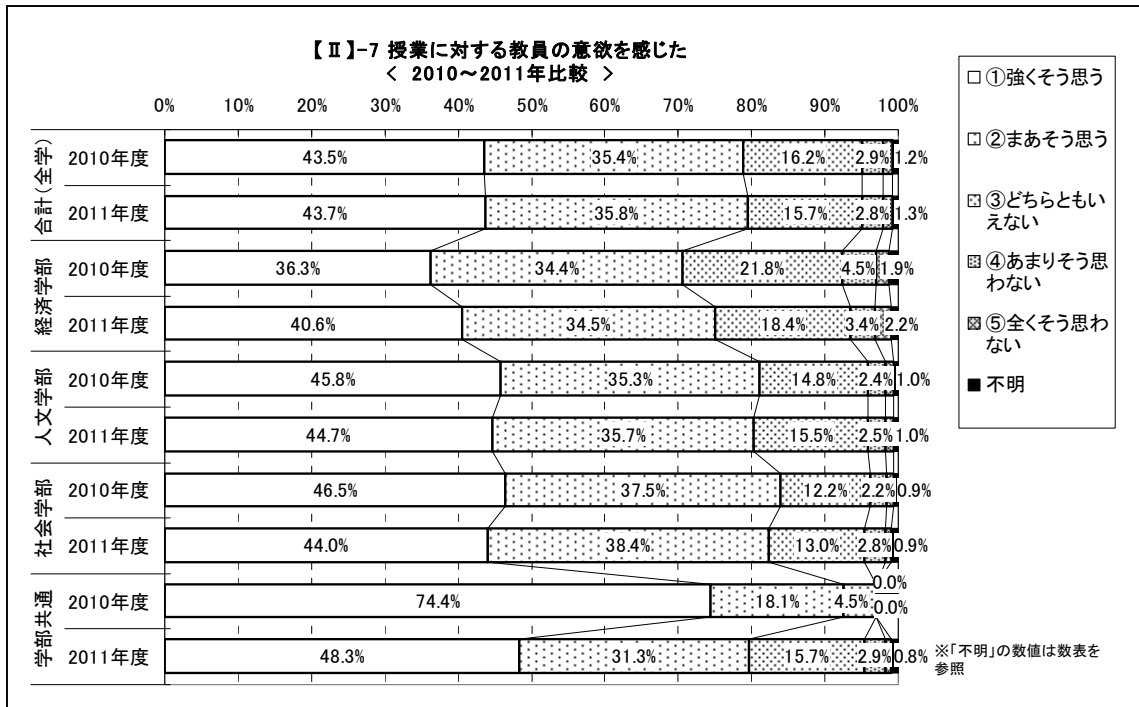
学部/年度	合計(全学)					経済学部				
	2010年度		2011年度		構成比の増減 (2011-2010)	2010年度		2011年度		構成比の増減 (2011-2010)
アンケート回収件数	48,097		46,564				13,228		11,198	
選択肢	回答件数	構成比	回答件数	構成比		回答件数	構成比	回答件数	構成比	
①強く思う	20,899	43.5%	20,338	43.7%	0.2%	4,805	36.3%	4,541	40.6%	4.3%
②まあ思う	17,012	35.4%	16,659	35.8%	0.4%	4,548	34.4%	3,865	34.5%	0.1%
③どちらともいえない	7,815	16.2%	7,327	15.7%	-0.5%	2,881	21.8%	2,063	18.4%	-3.4%
④あまりそう思わない	1,394	2.9%	1,282	2.8%	-0.1%	591	4.5%	376	3.4%	-1.1%
⑤全くそう思わない	574	1.2%	587	1.3%	0.1%	245	1.9%	244	2.2%	0.3%
不明	403	0.8%	371	0.8%	0.0%	158	1.2%	109	1.0%	-0.2%

学部/年度	人文学部					社会学部				
	2010年度		2011年度		構成比の増減 (2011-2010)	2010年度		2011年度		構成比の増減 (2011-2010)
アンケート回収件数	26,445		25,485				8,225		8,456	
選択肢	回答件数	構成比	回答件数	構成比		回答件数	構成比	回答件数	構成比	
①強く思う	12,120	45.8%	11,385	44.7%	-1.1%	3,826	46.5%	3,724	44.0%	-2.5%
②まあ思う	9,343	35.3%	9,105	35.7%	0.4%	3,085	37.5%	3,243	38.4%	0.9%
③どちらともいえない	3,925	14.8%	3,942	15.5%	0.7%	1,000	12.2%	1,098	13.0%	0.8%
④あまりそう思わない	622	2.4%	627	2.5%	0.1%	181	2.2%	237	2.8%	0.6%
⑤全くそう思わない	254	1.0%	257	1.0%	0.0%	75	0.9%	74	0.9%	0.0%
不明	181	0.7%	169	0.7%	0.0%	58	0.7%	80	0.9%	0.2%

学部/年度	学部共通				
	2010年度		2011年度		構成比の増減 (2011-2010)
アンケート回収件数	199		1,425		
選択肢	回答件数	構成比	回答件数	構成比	
①強く思う	148	74.4%	688	48.3%	-26.1%
②まあ思う	36	18.1%	446	31.3%	13.2%
③どちらともいえない	9	4.5%	224	15.7%	11.2%
④あまりそう思わない	0	0.0%	42	2.9%	2.9%
⑤全くそう思わない	0	0.0%	12	0.8%	0.8%
不明	6	3.0%	13	0.9%	-2.1%

※「構成比」は、アンケート回収件数を全数として算出。「構成比の増減」が正の場合、セルを網掛けで表示

図表Ⅱ-7



- ・ 2011年度の全学部結果を見ると、「①強くそう思う+②まあそう思う」の満足層が79.5%を占めている。一方、「④あまりそう思わない+⑤全くそう思わない」の不満層の割合は4.1%と少ない。満足層、不満層ともに前年度と同程度となっている。
- ・ 学部別では、教員の授業への意欲を感じたかについて、経済学部が改善傾向にある。経済学部では「①強くそう思う」が+4.3%、「③どちらともいえない」が-3.4%と、約4ポイントの改善が見られる。社会学部では「①強くそう思う」が-2.5%と約3ポイント減少している。

【設問Ⅱ－8】 教員は質問や問い合わせに適切に対応してくれた

図表Ⅱ－8

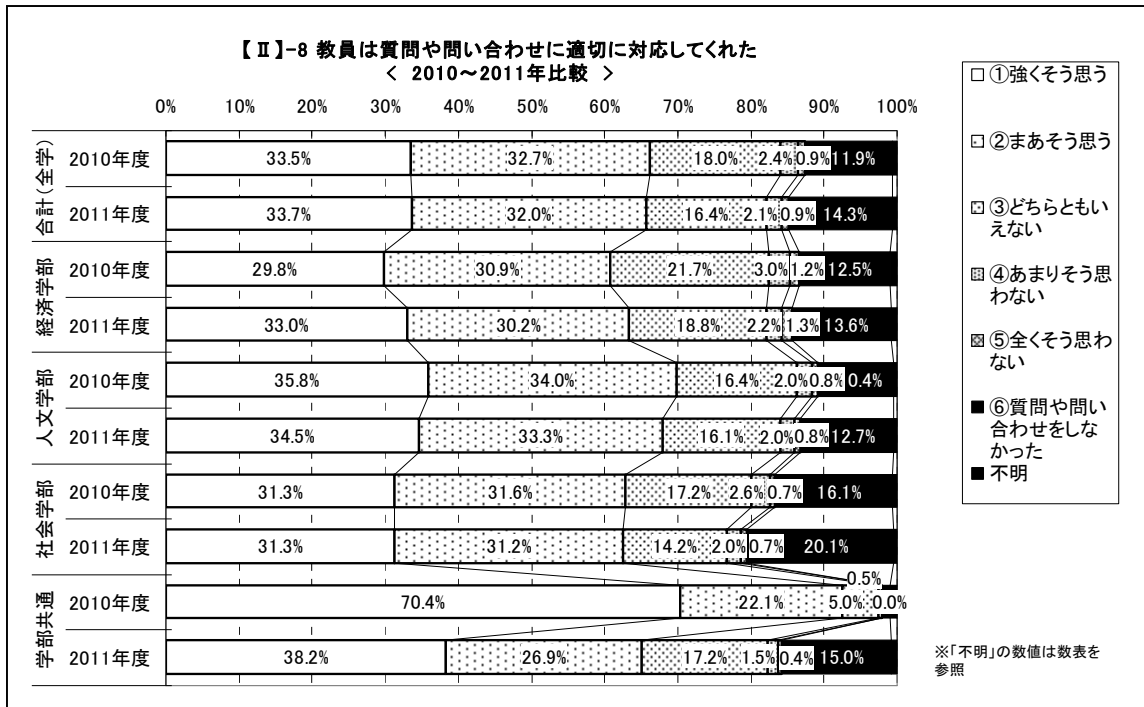
学部/年度	合計(全学)					経済学部				
	2010年度		2011年度		構成比の増減 (2011-2010)	2010年度		2011年度		構成比の増減 (2011-2010)
	アンケート回収件数	48,097	46,564	13,228		11,198				
選択肢	回答件数	構成比	回答件数	構成比		回答件数	構成比	回答件数	構成比	
①強く思う	16,133	33.5%	15,692	33.7%	0.2%	3,942	29.8%	3,699	33.0%	3.2%
②まあ思う	15,711	32.7%	14,896	32.0%	-0.7%	4,085	30.9%	3,380	30.2%	-0.7%
③どちらともいえない	8,640	18.0%	7,654	16.4%	-1.6%	2,865	21.7%	2,109	18.8%	-2.9%
④あまりそう思わない	1,136	2.4%	956	2.1%	-0.3%	400	3.0%	251	2.2%	-0.8%
⑤全くそう思わない	432	0.9%	424	0.9%	0.0%	162	1.2%	140	1.3%	0.1%
⑥質問や問い合わせをしなかった	5,729	11.9%	6,666	14.3%	2.4%	1,650	12.5%	1,528	13.6%	1.1%
不明	316	0.7%	276	0.6%	-0.1%	124	0.9%	91	0.8%	-0.1%

学部/年度	人文学部					社会学部				
	2010年度		2011年度		構成比の増減 (2011-2010)	2010年度		2011年度		構成比の増減 (2011-2010)
	アンケート回収件数	26,445	25,485	8,225		8,456				
選択肢	回答件数	構成比	回答件数	構成比		回答件数	構成比	回答件数	構成比	
①強く思う	9,480	35.8%	8,804	34.5%	-1.3%	2,571	31.3%	2,645	31.3%	0.0%
②まあ思う	8,987	34.0%	8,494	33.3%	-0.7%	2,595	31.6%	2,639	31.2%	-0.4%
③どちらともいえない	4,350	16.4%	4,098	16.1%	-0.3%	1,415	17.2%	1,202	14.2%	-3.0%
④あまりそう思わない	525	2.0%	516	2.0%	0.0%	210	2.6%	167	2.0%	-0.6%
⑤全くそう思わない	214	0.8%	216	0.8%	0.0%	56	0.7%	63	0.7%	0.0%
⑥質問や問い合わせをしなかった	2,749	10.4%	3,228	12.7%	2.3%	1,328	16.1%	1,696	20.1%	4.0%
不明	140	0.5%	129	0.5%	0.0%	50	0.6%	44	0.5%	-0.1%

学部/年度	学部共通				
	2010年度		2011年度		構成比の増減 (2011-2010)
	アンケート回収件数	199	1,425		
選択肢	回答件数	構成比	回答件数	構成比	
①強く思う	140	70.4%	544	38.2%	-32.2%
②まあ思う	44	22.1%	383	26.9%	4.8%
③どちらともいえない	10	5.0%	245	17.2%	12.2%
④あまりそう思わない	1	0.5%	22	1.5%	1.0%
⑤全くそう思わない	0	0.0%	5	0.4%	0.4%
⑥質問や問い合わせをしなかった	2	1.0%	214	15.0%	14.0%
不明	2	1.0%	12	0.8%	-0.2%

※「構成比」は、アンケート回収件数を全数として算出。「構成比の増減」が正の場合、セルを網掛けで表示

図表Ⅱ-8



- 2011年度の全学部結果を見ると、「①強くそう思う+②まあそう思う」の満足層が65.7%を占めており、前年度と比べて0.5ポイントの減少となっている。一方、「④あまりそう思わない+⑤全くそう思わない」の不満層の割合は3.0%と少なく、前年度と同程度となっている。
- 学部別では質問や問い合わせ対応について、経済学部が改善傾向にある。経済学部では「①強くそう思う」が+3.2%と改善が見られ、社会学部では「③どちらともいえない」が-3.0%減少している。

【設問Ⅱ-9】 総合的にみて、この授業は満足できた

図表Ⅱ-9

学部/年度	合計(全学)					経済学部				
	2010年度		2011年度		構成比の増減 (2011-2010)	2010年度		2011年度		構成比の増減 (2011-2010)
アンケート回収件数	48,097		46,564				13,228		11,198	
選択肢	回答件数	構成比	回答件数	構成比		回答件数	構成比	回答件数	構成比	
①強く思う	16,638	34.6%	16,639	35.7%	1.1%	3,897	29.5%	3,799	33.9%	4.4%
②まあ思う	17,312	36.0%	17,074	36.7%	0.7%	4,491	34.0%	3,808	34.0%	0.0%
③どちらともいえない	9,718	20.2%	8,779	18.9%	-1.3%	3,290	24.9%	2,450	21.9%	-3.0%
④あまりそう思わない	2,869	6.0%	2,528	5.4%	-0.6%	977	7.4%	634	5.7%	-1.7%
⑤全くそう思わない	1,335	2.8%	1,322	2.8%	0.0%	464	3.5%	417	3.7%	0.2%
不明	225	0.5%	222	0.5%	0.0%	109	0.8%	90	0.8%	0.0%

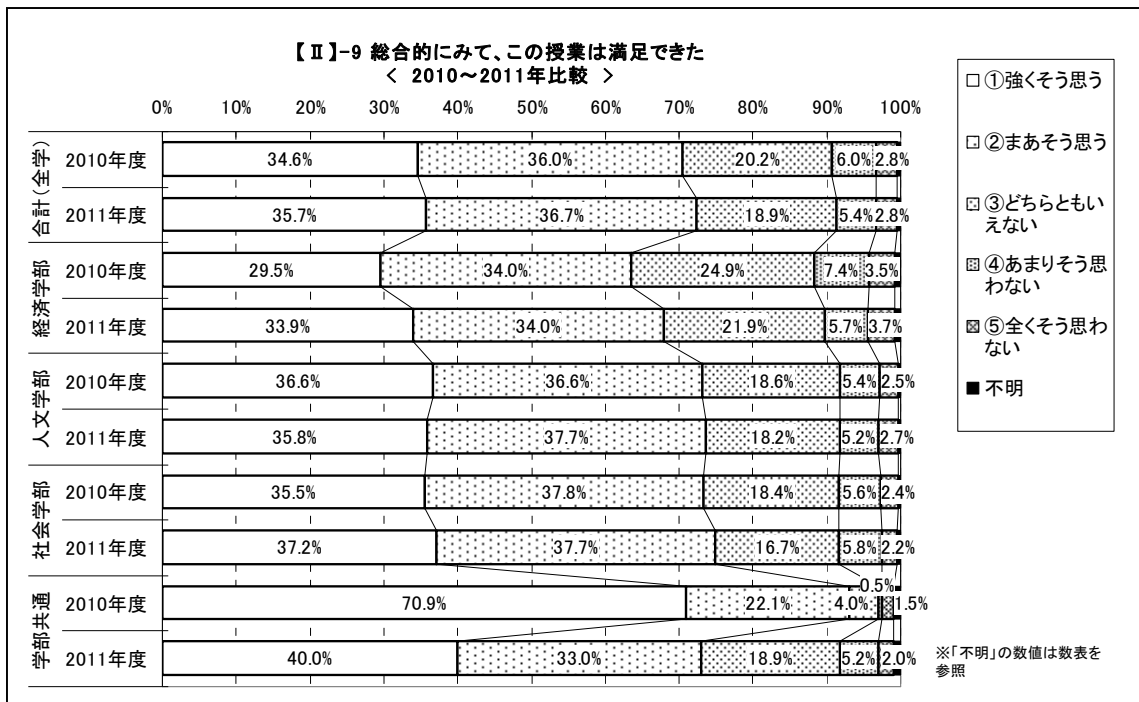
学部/年度	人文学部					社会学部				
	2010年度		2011年度		構成比の増減 (2011-2010)	2010年度		2011年度		構成比の増減 (2011-2010)
アンケート回収件数	26,445		25,485				8,225		8,456	
選択肢	回答件数	構成比	回答件数	構成比		回答件数	構成比	回答件数	構成比	
①強く思う	9,678	36.6%	9,121	35.8%	-0.8%	2,922	35.5%	3,149	37.2%	1.7%
②まあ思う	9,666	36.6%	9,609	37.7%	1.1%	3,111	37.8%	3,187	37.7%	-0.1%
③どちらともいえない	4,909	18.6%	4,647	18.2%	-0.4%	1,511	18.4%	1,413	16.7%	-1.7%
④あまりそう思わない	1,429	5.4%	1,333	5.2%	-0.2%	462	5.6%	487	5.8%	0.2%
⑤全くそう思わない	674	2.5%	692	2.7%	0.2%	194	2.4%	185	2.2%	-0.2%
不明	89	0.3%	83	0.3%	0.0%	25	0.3%	35	0.4%	0.1%

学部/年度	学部共通				
	2010年度		2011年度		構成比の増減 (2011-2010)
アンケート回収件数	199		1,425		
選択肢	回答件数	構成比	回答件数	構成比	
①強く思う	141	70.9%	570	40.0%	-30.9%
②まあ思う	44	22.1%	470	33.0%	10.9%
③どちらともいえない	8	4.0%	269	18.9%	14.9%
④あまりそう思わない	1	0.5%	74	5.2%	4.7%
⑤全くそう思わない	3	1.5%	28	2.0%	0.5%
不明	2	1.0%	14	1.0%	0.0%

※「構成比」は、アンケート回収件数を全数として算出。「構成比の増減」が正の場合、セルを網掛けで表示



図表Ⅱ-9



- ・ 2011年度の全学部結果を見ると、「①強くそう思う+②まあそう思う」の満足層が72.4%、を占めており、前年度と比べて1.8ポイントの増加となっている。一方、「④あまりそう思わない+⑤全くそう思わない」の不満層の割合は8.2%と少なく、前年度と比べて0.6ポイント減少している。
- ・ 学部別では総合満足度について、経済学部、社会学部が改善傾向にあり、人文学部は前年度と同程度である。経済学部で「①強くそう思う」が+4.4%、「③どちらともいえない」が-3.0%と、改善が見られる。

【 設問Ⅱ－A1 】 教科書・配布資料・視聴覚資料などは効果的に使われていた

図表Ⅱ－A1

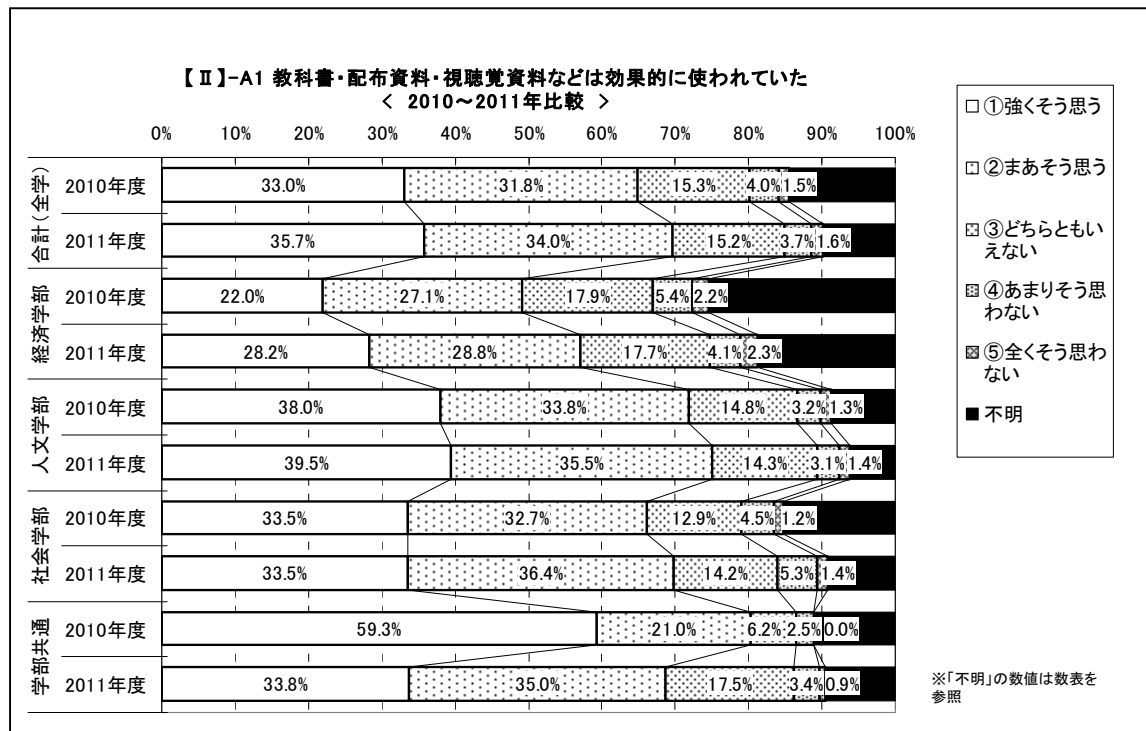
学部/年度	合計(全学)					経済学部				
	2010年度		2011年度		構成比の増減 (2011-2010)	2010年度		2011年度		構成比の増減 (2011-2010)
アンケート回収件数	38,294		37,451				10,485		8,852	
選択肢	回答件数	構成比	回答件数	構成比		回答件数	構成比	回答件数	構成比	
①強く思う	12,634	33.0%	13,358	35.7%	2.7%	2,303	22.0%	2,495	28.2%	6.2%
②まあ思う	12,172	31.8%	12,746	34.0%	2.2%	2,846	27.1%	2,553	28.8%	1.7%
③どちらともいえない	5,878	15.3%	5,691	15.2%	-0.1%	1,872	17.9%	1,567	17.7%	-0.2%
④あまりそう思わない	1,529	4.0%	1,382	3.7%	-0.3%	565	5.4%	365	4.1%	-1.3%
⑤全くそう思わない	581	1.5%	603	1.6%	0.1%	227	2.2%	206	2.3%	0.1%
不明	5,500	14.4%	3,671	9.8%	-4.6%	2,672	25.5%	1,666	18.8%	-6.7%

学部/年度	人文学部					社会学部				
	2010年度		2011年度		構成比の増減 (2011-2010)	2010年度		2011年度		構成比の増減 (2011-2010)
アンケート回収件数	21,929		21,437				5,799		6,149	
選択肢	回答件数	構成比	回答件数	構成比		回答件数	構成比	回答件数	構成比	
①強く思う	8,339	38.0%	8,464	39.5%	1.5%	1,944	33.5%	2,057	33.5%	0.0%
②まあ思う	7,415	33.8%	7,600	35.5%	1.7%	1,894	32.7%	2,238	36.4%	3.7%
③どちらともいえない	3,253	14.8%	3,075	14.3%	-0.5%	748	12.9%	872	14.2%	1.3%
④あまりそう思わない	703	3.2%	656	3.1%	-0.1%	259	4.5%	327	5.3%	0.8%
⑤全くそう思わない	285	1.3%	303	1.4%	0.1%	69	1.2%	85	1.4%	0.2%
不明	1,934	8.8%	1,339	6.2%	-2.6%	885	15.3%	570	9.3%	-6.0%

学部/年度	学部共通				
	2010年度		2011年度		構成比の増減 (2011-2010)
アンケート回収件数	81		1,013		
選択肢	回答件数	構成比	回答件数	構成比	
①強く思う	48	59.3%	342	33.8%	-25.5%
②まあ思う	17	21.0%	355	35.0%	14.0%
③どちらともいえない	5	6.2%	177	17.5%	11.3%
④あまりそう思わない	2	2.5%	34	3.4%	0.9%
⑤全くそう思わない	0	0.0%	9	0.9%	0.9%
不明	9	11.1%	96	9.5%	-1.6%

※「構成比」は、「ⅡA 対象者のみ」で算出。「構成比の増減」が正の場合、セルを網掛けで表示

図表Ⅱ-A1



- ・ 2011年度の全学部結果を見ると、「①強くそう思う+②まあそう思う」の満足層が69.7%を占めており、前年度と比べて4.9ポイントの増加となっている。一方、「④あまりそう思わない+⑤全くそう思わない」の不満層の割合は5.3%と少なく、前年度と同程度である。
- ・ 学部別でも同様の傾向が見られ、教科書・配布資料・視聴覚資料などが効果的に使われていた、という意見が改善傾向にある。経済学部で「①強くそう思う」が+6.2%、社会学部で「②まあそう思う」が+3.7%と、3ポイント以上の改善が見られる。

【 設問Ⅱ－A2 】 板書・資料などの文字は読みやすかった

図表Ⅱ－A2

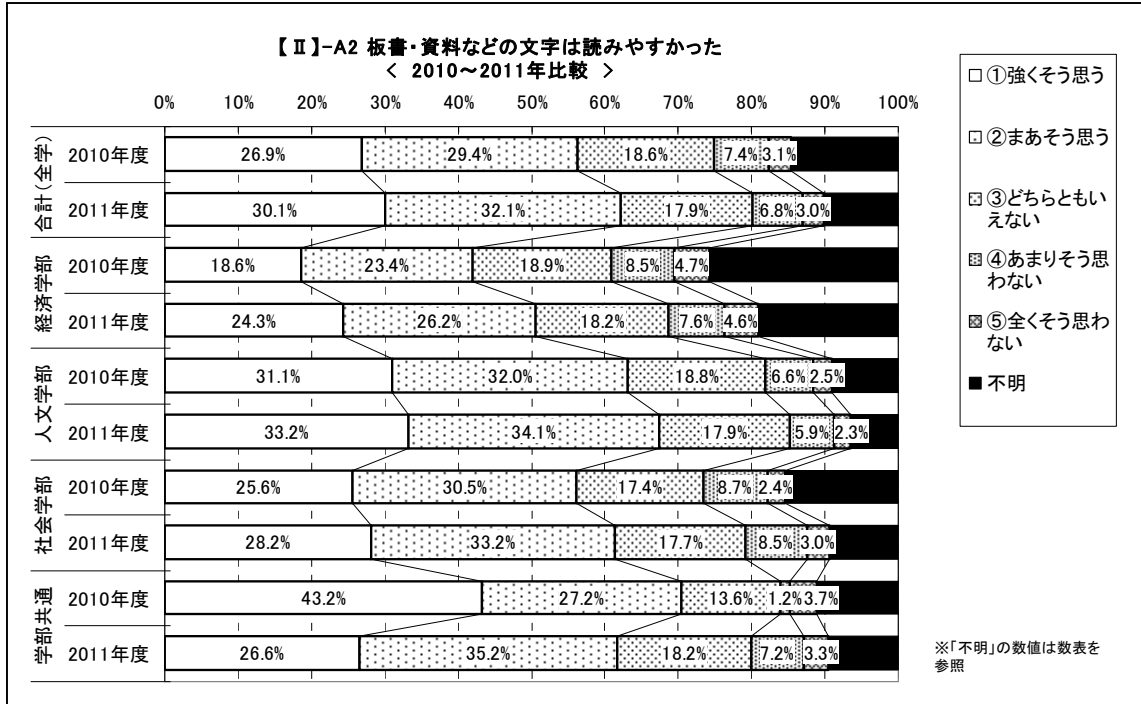
学部/年度	合計(全学)					経済学部				
	2010年度		2011年度		構成比の増減 (2011-2010)	2010年度		2011年度		構成比の増減 (2011-2010)
	アンケート回収件数	38,294	37,451	10,485		8,852				
選択肢	回答件数	構成比	回答件数	構成比		回答件数	構成比	回答件数	構成比	
①強く思う	10,288	26.9%	11,279	30.1%	3.2%	1,955	18.6%	2,153	24.3%	5.7%
②まあ思う	11,260	29.4%	12,031	32.1%	2.7%	2,457	23.4%	2,318	26.2%	-2.8%
③どちらともいえない	7,127	18.6%	6,710	17.9%	-0.7%	1,983	18.9%	1,611	18.2%	-0.7%
④あまりそう思わない	2,832	7.4%	2,542	6.8%	-0.6%	887	8.5%	673	7.6%	-0.9%
⑤全くそう思わない	1,179	3.1%	1,122	3.0%	-0.1%	497	4.7%	407	4.6%	-0.1%
不明	5,608	14.6%	3,767	10.1%	-4.5%	2,706	25.8%	1,690	19.1%	-6.7%

学部/年度	人文学部					社会学部				
	2010年度		2011年度		構成比の増減 (2011-2010)	2010年度		2011年度		構成比の増減 (2011-2010)
	アンケート回収件数	21,929	21,437	5,799		6,149				
選択肢	回答件数	構成比	回答件数	構成比		回答件数	構成比	回答件数	構成比	
①強く思う	6,813	31.1%	7,123	33.2%	2.1%	1,485	25.6%	1,734	28.2%	2.6%
②まあ思う	7,015	32.0%	7,317	34.1%	2.1%	1,766	30.5%	2,039	33.2%	2.7%
③どちらともいえない	4,126	18.8%	3,828	17.9%	-0.9%	1,007	17.4%	1,087	17.7%	0.3%
④あまりそう思わない	1,438	6.6%	1,272	5.9%	-0.7%	506	8.7%	524	8.5%	-0.2%
⑤全くそう思わない	542	2.5%	498	2.3%	-0.2%	137	2.4%	184	3.0%	0.6%
不明	1,995	9.1%	1,399	6.5%	-2.6%	898	15.5%	581	9.4%	-6.1%

学部/年度	学部共通				
	2010年度		2011年度		構成比の増減 (2011-2010)
	アンケート回収件数	81	1,013		
選択肢	回答件数	構成比	回答件数	構成比	
①強く思う	35	43.2%	269	26.6%	-16.6%
②まあ思う	22	27.2%	357	35.2%	8.0%
③どちらともいえない	11	13.6%	184	18.2%	4.6%
④あまりそう思わない	1	1.2%	73	7.2%	6.0%
⑤全くそう思わない	3	3.7%	33	3.3%	-0.4%
不明	9	11.1%	97	9.6%	-1.5%

※「構成比」は、「ⅡA 対象者のみ」で算出。「構成比の増減」が正の場合、セルを網掛けで表示

図表Ⅱ-A2



- ・ 2011年度の全学部結果を見ると、「①強くそう思う+②まあそう思う」の満足層が62.2%、を占めており、前年度と比べて5.9ポイントの増加となっている。一方、「④あまりそう思わない+⑤全くそう思わない」の不満足層の割合は9.8%と少なく、前年度と比べて0.7ポイント減少している。
- ・ 学部別でも同様の傾向が見られ、板書・資料などの文字が読みやすかった、という意見が改善傾向にある。経済学部で「①強くそう思う」が+5.7%、社会学部で+2.6%、人文学部で+2.1%と、2ポイント以上の改善が見られる。

【 設問Ⅱ－B1 】 教員は報告や討論の仕方について指導してくれた

図表Ⅱ－B1

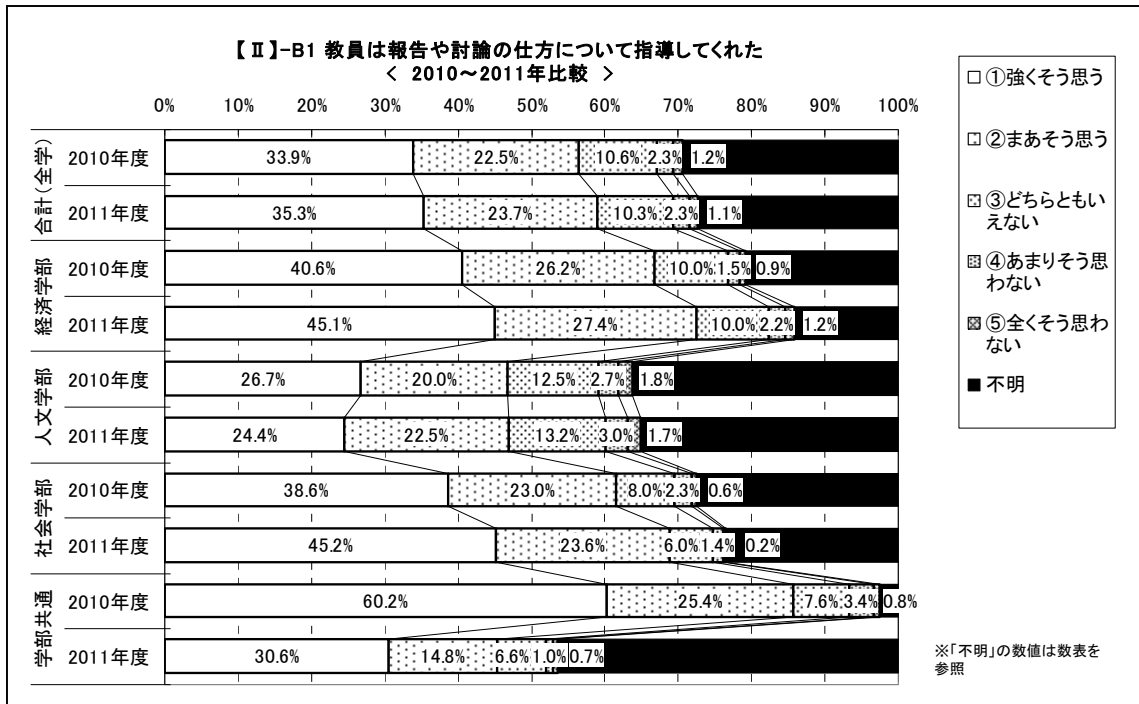
学部/年度	合計(全学)					経済学部				
	2010年度		2011年度		構成比の増減 (2011-2010)	2010年度		2011年度		構成比の増減 (2011-2010)
	アンケート回収件数	9,803	9,113	2,743		2,346				
選択肢	回答件数	構成比	回答件数	構成比		回答件数	構成比	回答件数	構成比	
①強く思う	3,328	33.9%	3,214	35.3%	1.4%	1,114	40.6%	1,057	45.1%	4.5%
②まあ思う	2,210	22.5%	2,160	23.7%	1.2%	718	26.2%	643	27.4%	1.2%
③どちらともいえない	1,039	10.6%	936	10.3%	-0.3%	274	10.0%	235	10.0%	0.0%
④あまりそう思わない	224	2.3%	209	2.3%	0.0%	42	1.5%	51	2.2%	0.7%
⑤全くそう思わない	121	1.2%	103	1.1%	-0.1%	25	0.9%	27	1.2%	0.3%
不明	2,881	29.4%	2,491	27.3%	-2.1%	570	20.8%	333	14.2%	-6.6%

学部/年度	人文学部					社会学部				
	2010年度		2011年度		構成比の増減 (2011-2010)	2010年度		2011年度		構成比の増減 (2011-2010)
	アンケート回収件数	4,516	4,048	2,426		2,307				
選択肢	回答件数	構成比	回答件数	構成比		回答件数	構成比	回答件数	構成比	
①強く思う	1,207	26.7%	988	24.4%	-2.3%	936	38.6%	1,043	45.2%	6.6%
②まあ思う	905	20.0%	911	22.5%	2.5%	557	23.0%	545	23.6%	0.6%
③どちらともいえない	563	12.5%	536	13.2%	0.7%	193	8.0%	138	6.0%	-2.0%
④あまりそう思わない	123	2.7%	122	3.0%	0.3%	55	2.3%	32	1.4%	-0.9%
⑤全くそう思わない	80	1.8%	69	1.7%	-0.1%	15	0.6%	4	0.2%	-0.4%
不明	1,638	36.3%	1,422	35.1%	-1.2%	670	27.6%	545	23.6%	-4.0%

学部/年度	学部共通				
	2010年度		2011年度		構成比の増減 (2011-2010)
	アンケート回収件数	118	412		
選択肢	回答件数	構成比	回答件数	構成比	
①強く思う	71	60.2%	126	30.6%	-29.6%
②まあ思う	30	25.4%	61	14.8%	-10.6%
③どちらともいえない	9	7.6%	27	6.6%	-1.0%
④あまりそう思わない	4	3.4%	4	1.0%	-2.4%
⑤全くそう思わない	1	0.8%	3	0.7%	-0.1%
不明	3	2.5%	191	46.4%	43.9%

※「構成比」は、「ⅡB 対象者のみ」で算出。「構成比の増減」が正の場合、セルを網掛けで表示

図表Ⅱ-B1



- ・ 2011年度の全学部結果を見ると、「①強くそう思う+②まあそう思う」の満足層が59.0%を占めており、前年度と比べて2.6ポイントの増加となっている。一方、「④あまりそう思わない+⑤全くそう思わない」の不満層の割合は3.4%と少なく、前年度と同程度である。
- ・ 学部別では、報告や討論方法の教員の指導について、経済学部、社会学部が改善傾向にあり、人文学部は前年度と同程度である。社会学部で「①強くそう思う」が+6.6%、経済学部で「①強くそう思う」が+4.5%と、4ポイント以上の改善が見られる。

【設問Ⅱ-B2】 「自ら学び自ら考える」ことが楽しくなった

図表Ⅱ-B2

学部/年度	合計(全学)					経済学部				
	2010年度		2011年度		構成比の増減 (2011-2010)	2010年度		2011年度		構成比の増減 (2011-2010)
アンケート回収件数	9,803		9,113				2,743		2,346	
選択肢	回答件数	構成比	回答件数	構成比		回答件数	構成比	回答件数	構成比	
①強く思う	2,596	26.5%	2,558	28.1%	1.6%	891	32.5%	885	37.7%	5.2%
②まあ思う	2,476	25.3%	2,426	26.6%	1.3%	777	28.3%	708	30.2%	1.9%
③どちらともいえない	1,398	14.3%	1,280	14.0%	-0.3%	401	14.6%	346	14.7%	0.1%
④あまりそう思わない	317	3.2%	239	2.6%	-0.6%	73	2.7%	44	1.9%	-0.8%
⑤全くそう思わない	132	1.3%	107	1.2%	-0.1%	26	0.9%	28	1.2%	0.3%
不明	2,884	29.4%	2,503	27.5%	-1.9%	575	21.0%	335	14.3%	-6.7%

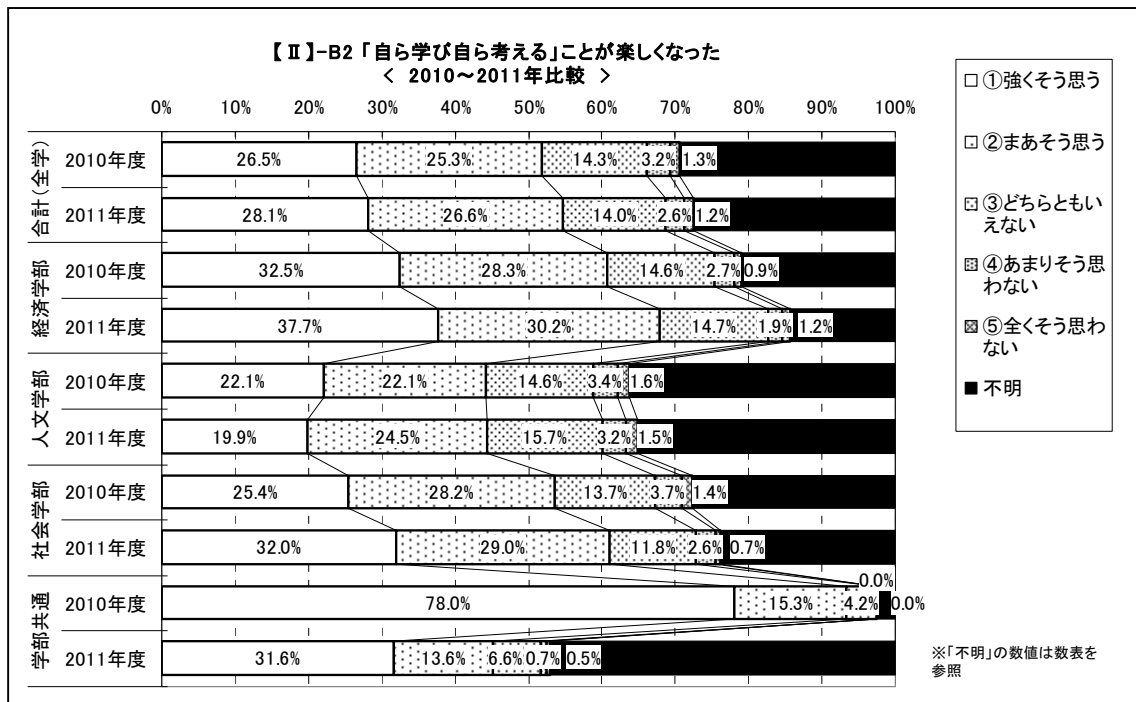
学部/年度	人文学部					社会学部				
	2010年度		2011年度		構成比の増減 (2011-2010)	2010年度		2011年度		構成比の増減 (2011-2010)
アンケート回収件数	4,516		4,048				2,426		2,307	
選択肢	回答件数	構成比	回答件数	構成比		回答件数	構成比	回答件数	構成比	
①強く思う	998	22.1%	804	19.9%	-2.2%	615	25.4%	739	32.0%	6.6%
②まあ思う	998	22.1%	992	24.5%	2.4%	683	28.2%	670	29.0%	0.8%
③どちらともいえない	659	14.6%	635	15.7%	1.1%	333	13.7%	272	11.8%	-1.9%
④あまりそう思わない	155	3.4%	131	3.2%	-0.2%	89	3.7%	61	2.6%	-1.1%
⑤全くそう思わない	72	1.6%	62	1.5%	-0.1%	34	1.4%	15	0.7%	-0.7%
不明	1,634	36.2%	1,424	35.2%	-1.0%	672	27.7%	550	23.8%	-3.9%

学部/年度	学部共通				
	2010年度		2011年度		構成比の増減 (2011-2010)
アンケート回収件数	118		412		
選択肢	回答件数	構成比	回答件数	構成比	
①強く思う	92	78.0%	130	31.6%	-46.4%
②まあ思う	18	15.3%	56	13.6%	-1.7%
③どちらともいえない	5	4.2%	27	6.6%	2.4%
④あまりそう思わない	0	0.0%	3	0.7%	0.7%
⑤全くそう思わない	0	0.0%	2	0.5%	0.5%
不明	3	2.5%	194	47.1%	44.6%

※「構成比」は、「ⅡB 対象者のみ」で算出。「構成比の増減」が正の場合、セルを網掛けで表示



図表Ⅱ-B2



- ・ 2011年度の全学部結果を見ると、「①強くそう思う+②まあそう思う」の満足層が54.7%を占めており、前年度と比べて2.9ポイントの増加となっている。一方、「④あまりそう思わない+⑤全くそう思わない」の不満層の割合は3.8%と少なく、前年度と比べて0.7ポイント減少している。
- ・ 学部別では、「自ら学び自ら考える」ことが楽しくなったかについて、経済学部、社会学部が改善傾向にあり、人文学部は前年度と同程度である。社会学部で「①強くそう思う」が+6.6%、経済学部で「①強くそう思う」が+5.2%と、5ポイント以上の改善が見られる。

【 設問Ⅲ－１ 】 新しいものの見方に触れて、新鮮な驚きや感心があった

図表Ⅲ－１

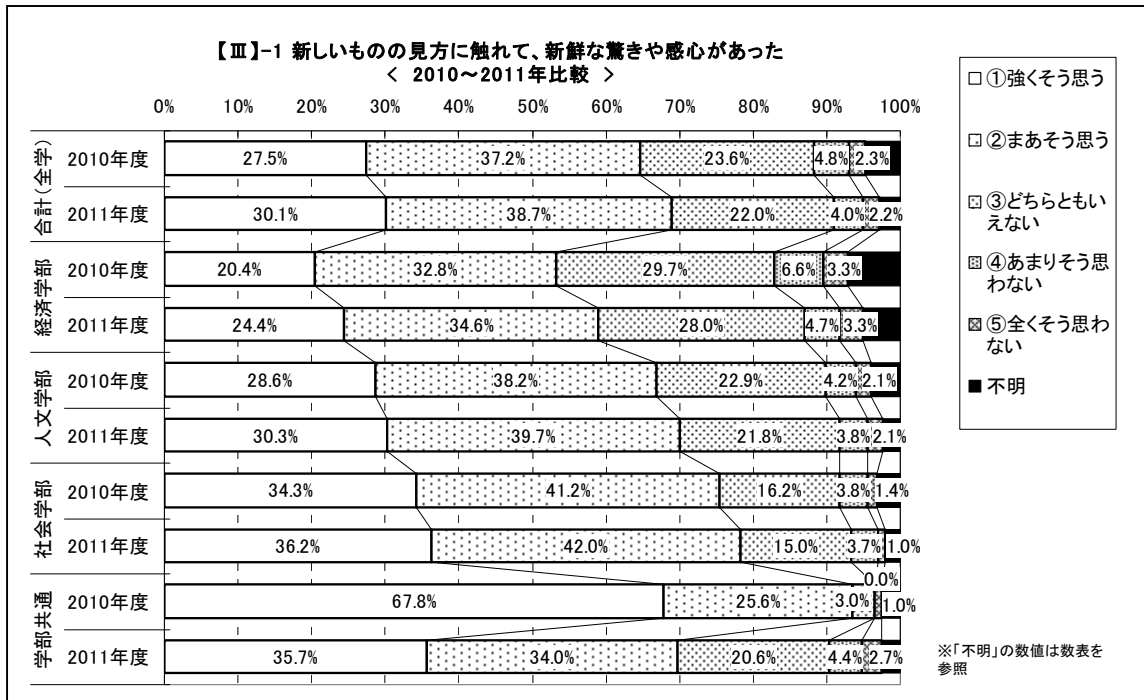
学部/年度	合計(全学)					経済学部				
	2010年度		2011年度		構成比の増減 (2011-2010)	2010年度		2011年度		構成比の増減 (2011-2010)
アンケート回収件数	48,097		46,564				13,228		11,198	
選択肢	回答件数	構成比	回答件数	構成比		回答件数	構成比	回答件数	構成比	
①強く思う	13,206	27.5%	14,018	30.1%	2.6%	2,696	20.4%	2,730	24.4%	4.0%
②まあ思う	17,892	37.2%	18,012	38.7%	1.5%	4,341	32.8%	3,871	34.6%	1.8%
③どちらともいえない	11,334	23.6%	10,253	22.0%	-1.6%	3,928	29.7%	3,140	28.0%	-1.7%
④あまりそう思わない	2,308	4.8%	1,881	4.0%	-0.8%	878	6.6%	528	4.7%	-1.9%
⑤全くそう思わない	1,108	2.3%	1,029	2.2%	-0.1%	439	3.3%	364	3.3%	0.0%
不明	2,249	4.7%	1,371	2.9%	-1.8%	946	7.2%	565	5.0%	-2.2%

学部/年度	人文学部					社会学部				
	2010年度		2011年度		構成比の増減 (2011-2010)	2010年度		2011年度		構成比の増減 (2011-2010)
アンケート回収件数	26,445		25,485				8,225		8,456	
選択肢	回答件数	構成比	回答件数	構成比		回答件数	構成比	回答件数	構成比	
①強く思う	7,557	28.6%	7,721	30.3%	1.7%	2,818	34.3%	3,058	36.2%	1.9%
②まあ思う	10,115	38.2%	10,106	39.7%	1.5%	3,385	41.2%	3,550	42.0%	0.8%
③どちらともいえない	6,069	22.9%	5,548	21.8%	-1.1%	1,331	16.2%	1,272	15.0%	-1.2%
④あまりそう思わない	1,114	4.2%	974	3.8%	-0.4%	316	3.8%	317	3.7%	-0.1%
⑤全くそう思わない	550	2.1%	539	2.1%	0.0%	117	1.4%	87	1.0%	-0.4%
不明	1,040	3.9%	597	2.3%	-1.6%	258	3.1%	172	2.0%	-1.1%

学部/年度	学部共通				
	2010年度		2011年度		構成比の増減 (2011-2010)
アンケート回収件数	199		1,425		
選択肢	回答件数	構成比	回答件数	構成比	
①強く思う	135	67.8%	509	35.7%	-32.1%
②まあ思う	51	25.6%	485	34.0%	8.4%
③どちらともいえない	6	3.0%	293	20.6%	17.6%
④あまりそう思わない	0	0.0%	62	4.4%	4.4%
⑤全くそう思わない	2	1.0%	39	2.7%	1.7%
不明	5	2.5%	37	2.6%	0.1%

※「構成比」は、アンケート回収件数を全数として算出。「構成比の増減」が正の場合、セルを網掛けで表示

図表Ⅲ-1



- 2011年度の全学部結果を見ると、「①強くそう思う+②まあそう思う」の満足層が68.8%を占めており、前年度と比べて4.1ポイントの増加となっている。一方、「④あまりそう思わない+⑤全くそう思わない」の不満層の割合は6.2%と少なく、前年度と比べて0.9ポイント減少している。
- 学部別でも同様の傾向が見られ、新しいものの見方に触れて、新鮮な驚きや感心があった、という意見が改善傾向にある。経済学部で「①強くそう思う」が+4.0%と、4ポイントの改善が見られる。

【設問Ⅲ-2】 社会的・歴史的出来事や文化的現象についての、背景や意味がわかった

図表Ⅲ-2

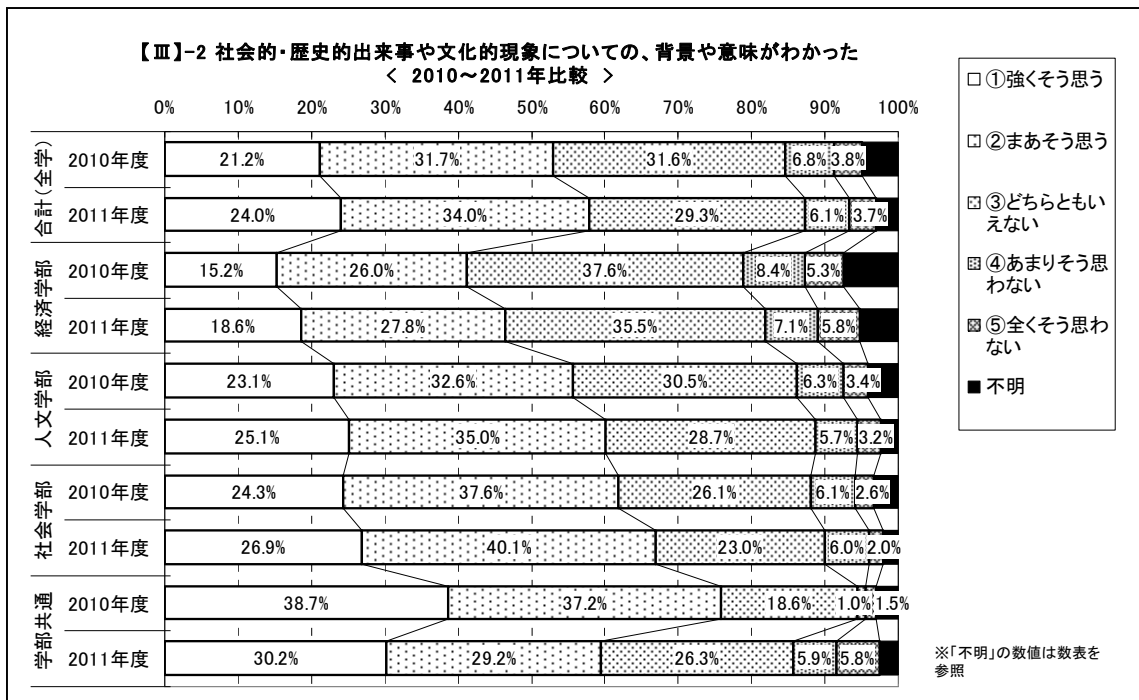
学部/年度	合計(全学)					経済学部				
	2010年度		2011年度		構成比の増減 (2011-2010)	2010年度		2011年度		構成比の増減 (2011-2010)
アンケート回収件数	48,097		46,564				13,228		11,198	
選択肢	回答件数	構成比	回答件数	構成比		回答件数	構成比	回答件数	構成比	
①強く思う	10,198	21.2%	11,164	24.0%	2.8%	2,011	15.2%	2,078	18.6%	3.4%
②まあ思う	15,239	31.7%	15,826	34.0%	2.3%	3,442	26.0%	3,115	27.8%	1.8%
③どちらともいえない	15,219	31.6%	13,622	29.3%	-2.3%	4,972	37.6%	3,980	35.5%	-2.1%
④あまりそう思わない	3,266	6.8%	2,834	6.1%	-0.7%	1,113	8.4%	799	7.1%	-1.3%
⑤全くそう思わない	1,819	3.8%	1,714	3.7%	-0.1%	705	5.3%	646	5.8%	0.5%
不明	2,356	4.9%	1,404	3.0%	-1.9%	985	7.4%	580	5.2%	-2.2%

学部/年度	人文学部					社会学部				
	2010年度		2011年度		構成比の増減 (2011-2010)	2010年度		2011年度		構成比の増減 (2011-2010)
アンケート回収件数	26,445		25,485				8,225		8,456	
選択肢	回答件数	構成比	回答件数	構成比		回答件数	構成比	回答件数	構成比	
①強く思う	6,111	23.1%	6,385	25.1%	2.0%	1,999	24.3%	2,271	26.9%	2.6%
②まあ思う	8,628	32.6%	8,908	35.0%	2.4%	3,095	37.6%	3,387	40.1%	2.5%
③どちらともいえない	8,060	30.5%	7,318	28.7%	-1.8%	2,150	26.1%	1,949	23.0%	-3.1%
④あまりそう思わない	1,653	6.3%	1,441	5.7%	-0.6%	498	6.1%	510	6.0%	-0.1%
⑤全くそう思わない	900	3.4%	819	3.2%	-0.2%	211	2.6%	166	2.0%	-0.6%
不明	1,093	4.1%	614	2.4%	-1.7%	272	3.3%	173	2.0%	-1.3%

学部/年度	学部共通				
	2010年度		2011年度		構成比の増減 (2011-2010)
アンケート回収件数	199		1,425		
選択肢	回答件数	構成比	回答件数	構成比	
①強く思う	77	38.7%	430	30.2%	-8.5%
②まあ思う	74	37.2%	416	29.2%	-8.0%
③どちらともいえない	37	18.6%	375	26.3%	7.7%
④あまりそう思わない	2	1.0%	84	5.9%	4.9%
⑤全くそう思わない	3	1.5%	83	5.8%	4.3%
不明	6	3.0%	37	2.6%	-0.4%

※「構成比」は、アンケート回収件数を全数として算出。「構成比の増減」が正の場合、セルを網掛けで表示

図表Ⅲ-2



- ・ 2011年度の全学部結果を見ると、「①強くそう思う+②まあそう思う」の満足層が58.0%を占めており、前年度と比べて5.1ポイントの増加となっている。一方、「④あまりそう思わない+⑤全くそう思わない」の不満層の割合は9.8%と少なく、前年度と比べて0.8ポイント減少している。
- ・ 学部別でも同様の傾向が見られ、社会的・歴史的出来事や文化的現象についての背景や意味が分かった、という意見が改善傾向にある。「①強くそう思う」が経済学部で+3.4%、社会学部で+2.6%、人文学部で+2.0%と、2ポイント以上の改善が見られる。

【 設問Ⅲ－3 】 自分の考えを持ち、まとめてゆく姿勢を身につけることができた

図表Ⅲ－3

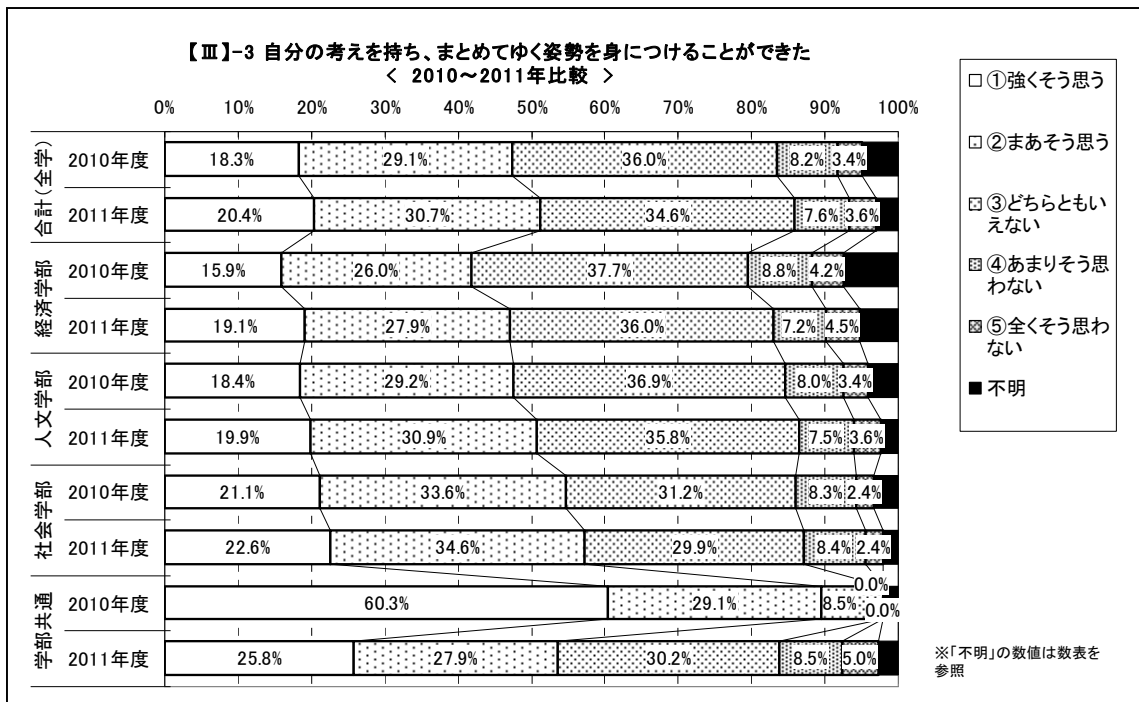
学部/年度	合計(全学)					経済学部				
	2010年度		2011年度		構成比の増減 (2011-2010)	2010年度		2011年度		構成比の増減 (2011-2010)
アンケート回収件数	48,097		46,564				13,228		11,198	
選択肢	回答件数	構成比	回答件数	構成比		回答件数	構成比	回答件数	構成比	
①強く思う	8,825	18.3%	9,487	20.4%	2.1%	2,100	15.9%	2,143	19.1%	3.2%
②まあ思う	13,980	29.1%	14,313	30.7%	1.6%	3,435	26.0%	3,129	27.9%	1.9%
③どちらともいえない	17,334	36.0%	16,107	34.6%	-1.4%	4,986	37.7%	4,029	36.0%	-1.7%
④あまりそう思わない	3,959	8.2%	3,546	7.6%	-0.6%	1,161	8.8%	809	7.2%	-1.6%
⑤全くそう思わない	1,646	3.4%	1,691	3.6%	0.2%	554	4.2%	500	4.5%	0.3%
不明	2,353	4.9%	1,420	3.0%	-1.9%	992	7.5%	588	5.3%	-2.2%

学部/年度	人文学部					社会学部				
	2010年度		2011年度		構成比の増減 (2011-2010)	2010年度		2011年度		構成比の増減 (2011-2010)
アンケート回収件数	26,445		25,485				8,225		8,456	
選択肢	回答件数	構成比	回答件数	構成比		回答件数	構成比	回答件数	構成比	
①強く思う	4,867	18.4%	5,065	19.9%	1.5%	1,738	21.1%	1,912	22.6%	1.5%
②まあ思う	7,722	29.2%	7,865	30.9%	1.7%	2,765	33.6%	2,922	34.6%	1.0%
③どちらともいえない	9,764	36.9%	9,117	35.8%	-1.1%	2,567	31.2%	2,530	29.9%	-1.3%
④あまりそう思わない	2,113	8.0%	1,907	7.5%	-0.5%	685	8.3%	709	8.4%	0.1%
⑤全くそう思わない	893	3.4%	917	3.6%	0.2%	199	2.4%	203	2.4%	0.0%
不明	1,086	4.1%	614	2.4%	-1.7%	271	3.3%	180	2.1%	-1.2%

学部/年度	学部共通				
	2010年度		2011年度		構成比の増減 (2011-2010)
アンケート回収件数	199		1,425		
選択肢	回答件数	構成比	回答件数	構成比	
①強く思う	120	60.3%	367	25.8%	-34.5%
②まあ思う	58	29.1%	397	27.9%	-1.2%
③どちらともいえない	17	8.5%	431	30.2%	21.7%
④あまりそう思わない	0	0.0%	121	8.5%	8.5%
⑤全くそう思わない	0	0.0%	71	5.0%	5.0%
不明	4	2.0%	38	2.7%	0.7%

※「構成比」は、アンケート回収件数を全数として算出。「構成比の増減」が正の場合、セルを網掛けで表示

図表Ⅲ-3



- ・ 2011年度の全学部結果を見ると、「①強くそう思う+②まあそう思う」の満足層が51.1%、を占めており、前年度と比べて3.7ポイントの増加となっている。一方、「④あまりそう思わない+⑤全くそう思わない」の不満足層の割合は11.2%と少なく、前年度と同程度である。
- ・ 学部別でも同様の傾向が見られ、自分の考えを持ちまとめてゆく姿勢を身につけることができた、という意見が改善傾向にある。経済学部で「①強くそう思う」が+3.2%と、2ポイント以上の改善が見られる。

【設問Ⅲ-4】 学問の奥深さを実感した

図表Ⅲ-4

学部/年度	合計(全学)					経済学部				
	2010年度		2011年度		構成比の増減 (2011-2010)	2010年度		2011年度		構成比の増減 (2011-2010)
アンケート回収件数	48,097		46,564				13,228		11,198	
選択肢	回答件数	構成比	回答件数	構成比		回答件数	構成比	回答件数	構成比	
①強く思う	10,746	22.3%	11,570	24.8%	2.5%	2,432	18.4%	2,453	21.9%	3.5%
②まあ思う	15,190	31.6%	15,580	33.5%	1.9%	3,728	28.2%	3,373	30.1%	1.9%
③どちらともいえない	15,292	31.8%	13,917	29.9%	-1.9%	4,623	34.9%	3,654	32.6%	-2.3%
④あまりそう思わない	3,104	6.5%	2,661	5.7%	-0.8%	979	7.4%	654	5.8%	-1.6%
⑤全くそう思わない	1,425	3.0%	1,423	3.1%	0.1%	487	3.7%	476	4.3%	0.6%
不明	2,340	4.9%	1,413	3.0%	-1.9%	979	7.4%	588	5.3%	-2.1%

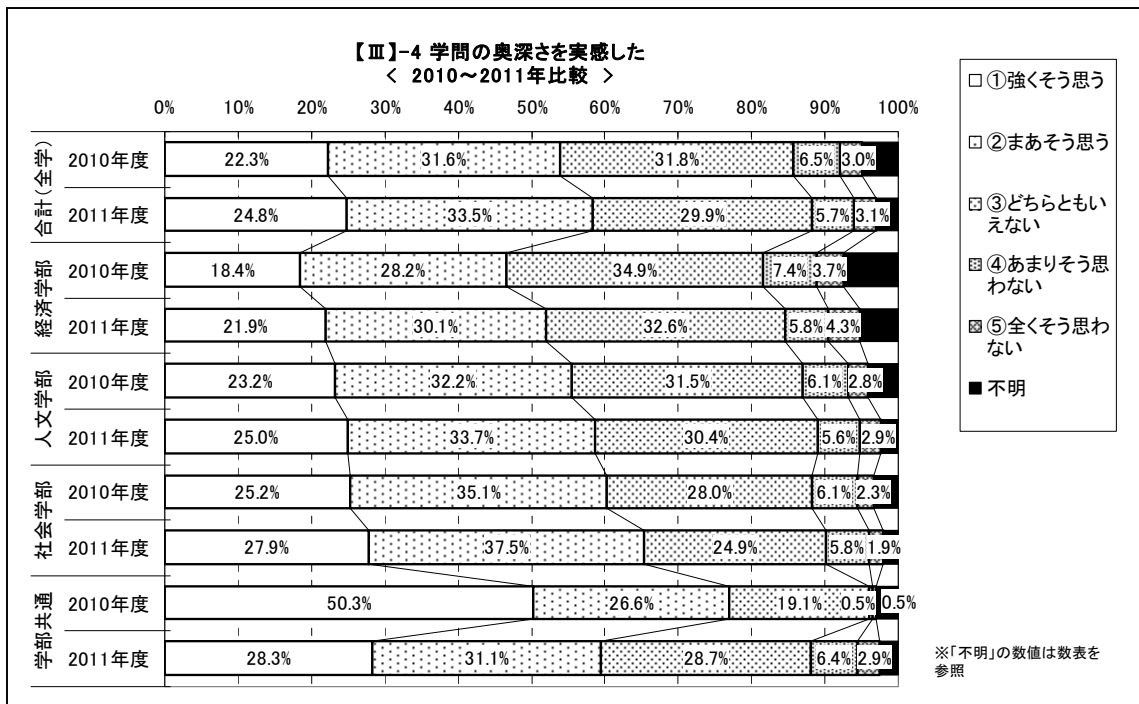
学部/年度	人文学部					社会学部				
	2010年度		2011年度		構成比の増減 (2011-2010)	2010年度		2011年度		構成比の増減 (2011-2010)
アンケート回収件数	26,445		25,485				8,225		8,456	
選択肢	回答件数	構成比	回答件数	構成比		回答件数	構成比	回答件数	構成比	
①強く思う	6,143	23.2%	6,359	25.0%	1.8%	2,071	25.2%	2,355	27.9%	2.7%
②まあ思う	8,521	32.2%	8,595	33.7%	1.5%	2,888	35.1%	3,169	37.5%	2.4%
③どちらともいえない	8,331	31.5%	7,748	30.4%	-1.1%	2,300	28.0%	2,106	24.9%	-3.1%
④あまりそう思わない	1,621	6.1%	1,428	5.6%	-0.5%	503	6.1%	488	5.8%	-0.3%
⑤全くそう思わない	748	2.8%	746	2.9%	0.1%	189	2.3%	159	1.9%	-0.4%
不明	1,081	4.1%	609	2.4%	-1.7%	274	3.3%	179	2.1%	-1.2%

学部/年度	学部共通				
	2010年度		2011年度		構成比の増減 (2011-2010)
アンケート回収件数	199		1,425		
選択肢	回答件数	構成比	回答件数	構成比	
①強く思う	100	50.3%	403	28.3%	-22.0%
②まあ思う	53	26.6%	443	31.1%	4.5%
③どちらともいえない	38	19.1%	409	28.7%	9.6%
④あまりそう思わない	1	0.5%	91	6.4%	5.9%
⑤全くそう思わない	1	0.5%	42	2.9%	2.4%
不明	6	3.0%	37	2.6%	-0.4%

※「構成比」は、アンケート回収件数を全数として算出。「構成比の増減」が正の場合、セルを網掛けで表示



図表Ⅲ-4



- 2011年度の全学部結果を見ると、「①強くそう思う+②まあそう思う」の満足層が58.3%、を占めており、前年度と比べて4.4ポイントの増加となっている。一方、「④あまりそう思わない+⑤全くそう思わない」の不満足層の割合は8.8%と少なく、前年度と比べて0.7ポイント減少している。
- 学部別でも同様の傾向が見られ、学問の奥深さを実感した、という意見が改善傾向にある。「①強くそう思う」が経済学部で+3.5%、社会学部で+2.7%と、2ポイント以上の改善が見られる。

【設問Ⅲ-5】授業外の時間で、授業に関連する（紹介された）本・映像・絵画などに触れて  
みた

図表Ⅲ-5

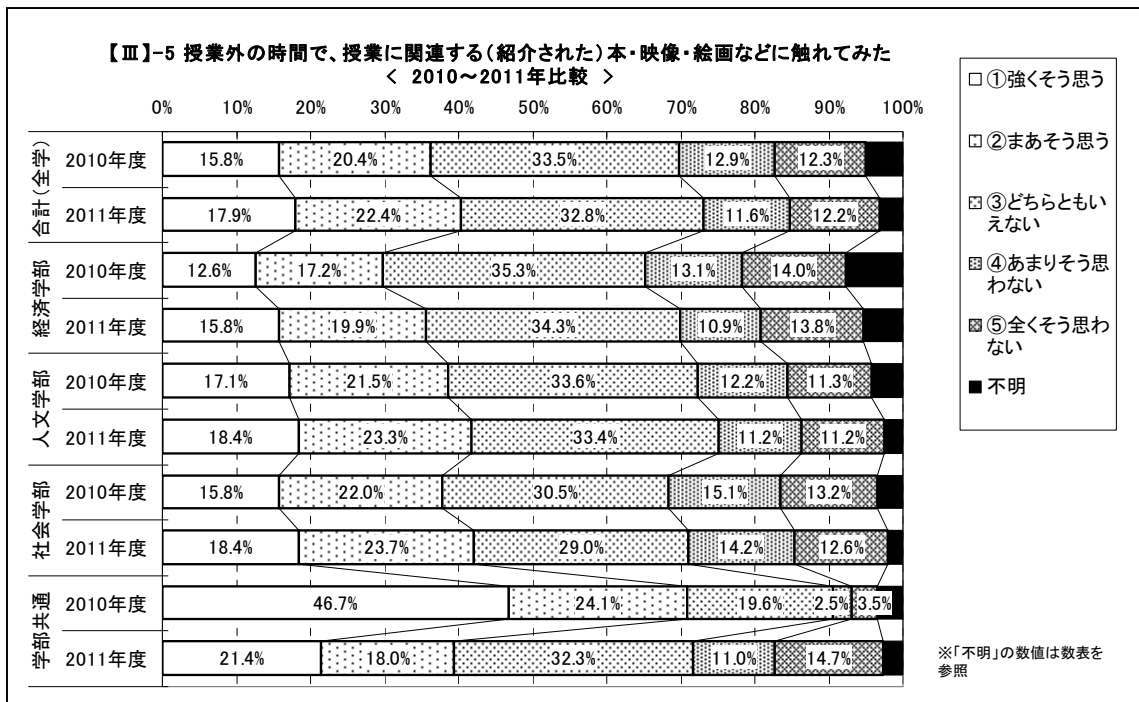
学部/年度	合計(全学)					経済学部				
	2010年度		2011年度		構成比の 増減 (2011- 2010)	2010年度		2011年度		構成比の 増減 (2011- 2010)
アンケート回収件数	48,097		46,564				13,228		11,198	
選択肢	回答件数	構成比	回答件数	構成比		回答件数	構成比	回答件数	構成比	
①強くそう思う	7,591	15.8%	8,315	17.9%	2.1%	1,665	12.6%	1,773	15.8%	3.2%
②まあそう思う	9,820	20.4%	10,432	22.4%	2.0%	2,279	17.2%	2,223	19.9%	-2.7%
③どちらともいえない	16,115	33.5%	15,278	32.8%	-0.7%	4,676	35.3%	3,842	34.3%	-1.0%
④あまりそう思わない	6,213	12.9%	5,421	11.6%	-1.3%	1,738	13.1%	1,218	10.9%	-2.2%
⑤全くそう思わない	5,937	12.3%	5,667	12.2%	-0.1%	1,856	14.0%	1,542	13.8%	-0.2%
不明	2,421	5.0%	1,451	3.1%	-1.9%	1,014	7.7%	600	5.4%	-2.3%

学部/年度	人文学部					社会学部				
	2010年度		2011年度		構成比の 増減 (2011- 2010)	2010年度		2011年度		構成比の 増減 (2011- 2010)
アンケート回収件数	26,445		25,485				8,225		8,456	
選択肢	回答件数	構成比	回答件数	構成比		回答件数	構成比	回答件数	構成比	
①強くそう思う	4,531	17.1%	4,680	18.4%	1.3%	1,302	15.8%	1,557	18.4%	2.6%
②まあそう思う	5,684	21.5%	5,946	23.3%	1.8%	1,809	22.0%	2,007	23.7%	1.7%
③どちらともいえない	8,892	33.6%	8,523	33.4%	-0.2%	2,508	30.5%	2,453	29.0%	-1.5%
④あまりそう思わない	3,228	12.2%	2,849	11.2%	-1.0%	1,242	15.1%	1,197	14.2%	-0.9%
⑤全くそう思わない	2,990	11.3%	2,852	11.2%	-0.1%	1,084	13.2%	1,063	12.6%	-0.6%
不明	1,120	4.2%	635	2.5%	-1.7%	280	3.4%	179	2.1%	-1.3%

学部/年度	学部共通				
	2010年度		2011年度		構成比の 増減 (2011- 2010)
アンケート回収件数	199		1,425		
選択肢	回答件数	構成比	回答件数	構成比	
①強くそう思う	93	46.7%	305	21.4%	-25.3%
②まあそう思う	48	24.1%	256	18.0%	-6.1%
③どちらともいえない	39	19.6%	460	32.3%	12.7%
④あまりそう思わない	5	2.5%	157	11.0%	8.5%
⑤全くそう思わない	7	3.5%	210	14.7%	11.2%
不明	7	3.5%	37	2.6%	-0.9%

※「構成比」は、アンケート回収件数を全数として算出。「構成比の増減」が正の場合、セルを網掛けで表示

図表Ⅲ-5



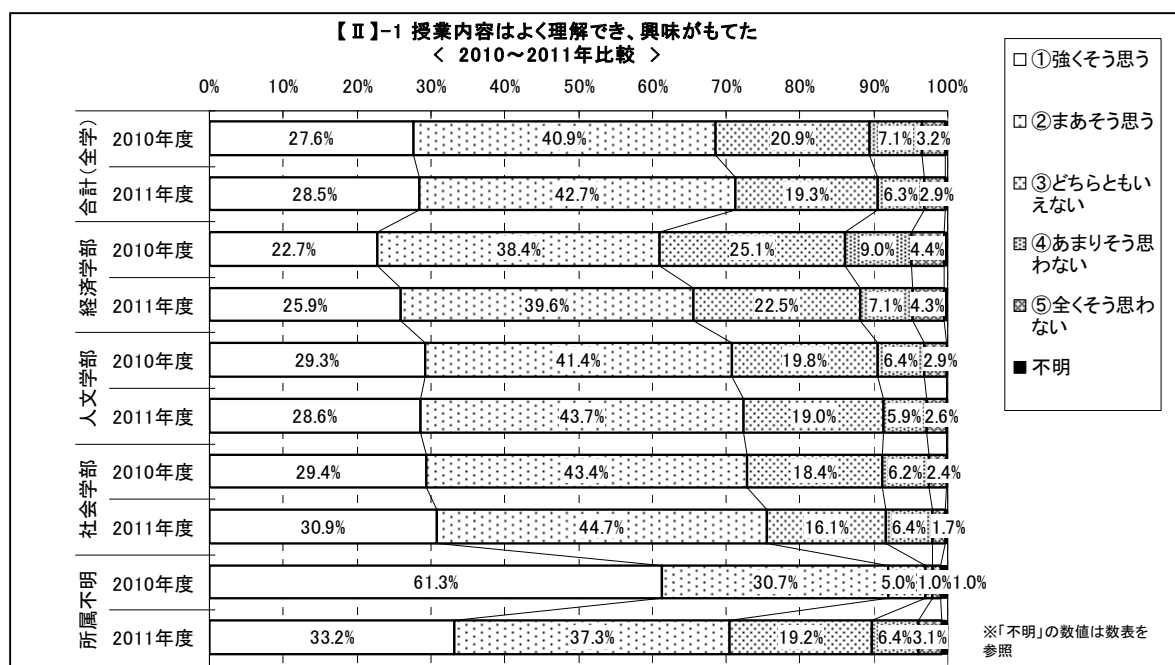
- ・ 2011年度の全学部結果を見ると、「①強くそう思う+②まあそう思う」の満足層が40.3%を占めており、前年度と比べて4.1ポイントの増加となっている。一方、「④あまりそう思わない+⑤全くそう思わない」の不満層の割合は23.8%で、前年度と比べて1.4ポイント減少している。
- ・ 学部別でも同様の傾向が見られ、授業外の時間で授業に関連する(紹介された)本・映像・絵画などに触れてみた、という意見が改善傾向にある。「①強くそう思う」が経済学部で+3.2%、社会学部で+2.6%と、2ポイント以上の改善が見られる。

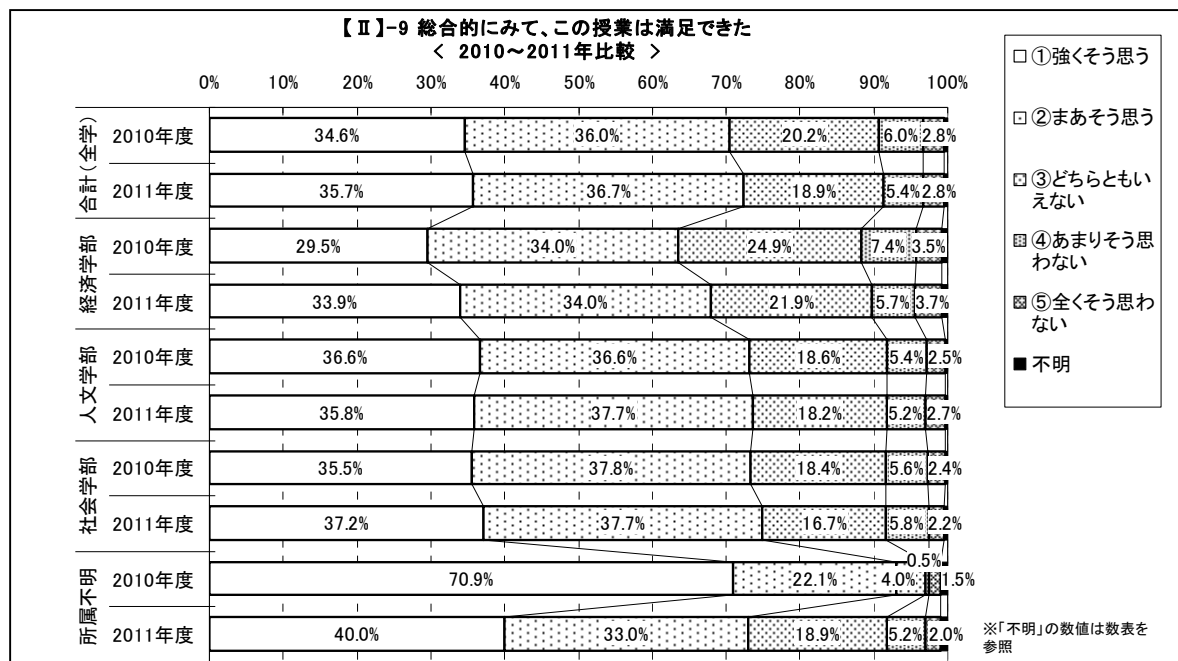
### 3. アンケート結果の分析

#### (1) 昨年度との対比

2011年度の設問別集計結果は、2010年度に比べて、総じて全学、各学部ともに学生からの評価がやや改善している。例を挙げると「授業内容はよく理解でき、興味をもてた（設問【Ⅱ-1】）」では満足層が71.2%を占めており、前年度と比べて2.7ポイントの増加、「総合的にみて、この授業は満足できた（設問【Ⅱ-9】）」では、満足層が72.4%を占めており、前年度と比べて1.8ポイントの増加と、授業への理解度・満足度ともに評価が改善している。特に大学の教育指針（設問【Ⅲ】）「新鮮な驚きや関心、背景や意味の理解、意見の整理、学問の奥深さの実感、授業外の学習」については、全項目、全学部で改善が見られる。

なお、全学、学部別で最も改善の傾向が見られたのは、経済学部である。





## (2) 満足度要因分析

以上の分析のデータに基づき、さらに学生の満足度を中心とした分析を行った。アンケート調査においては、次のようになっている。

- ・ 選択肢①～⑤（①：強く思う、②：まあ思う、③：どちらともいえない、④：あまり思わない、⑤：全く思わない）から、

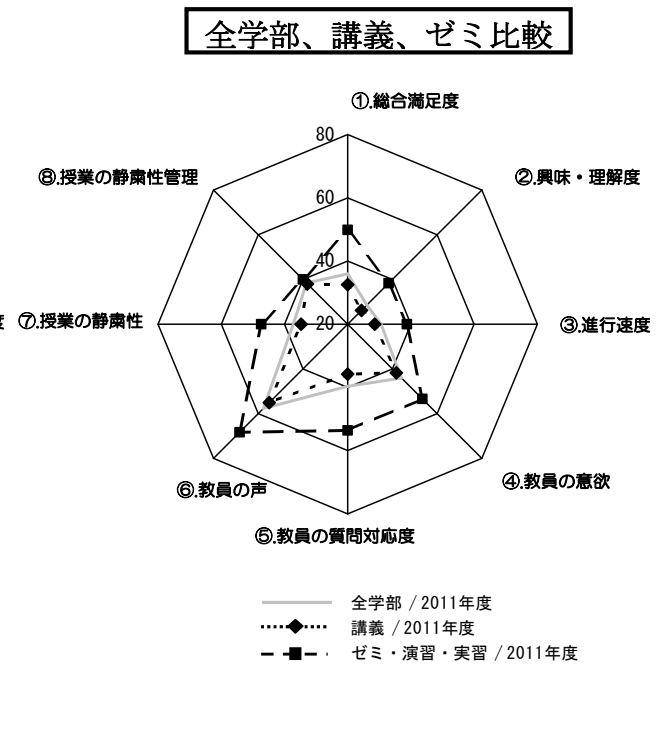
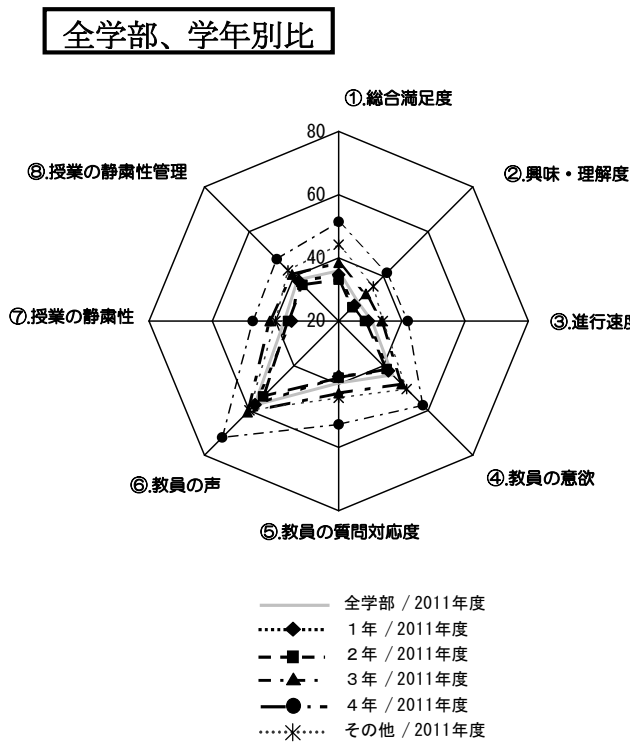
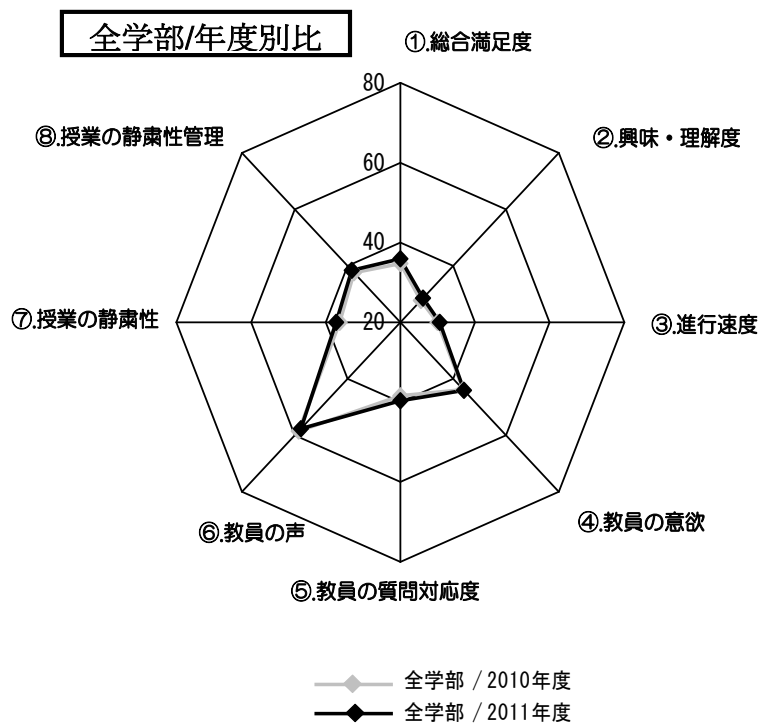
T：トップボックス（「①：強く思う」のみ）

P：ポジティブ（「①：強く思う」＋「②：まあ思う」）

N：ネガティブ（「④：あまり思わない」＋「⑤：全く思わない」）

以上3軸を作成。【Ⅱ】満足度項目について、レーダーチャートを用いて「T：トップボックス」の評価を比較した。これまでは、ポジティブとして分類されていた、「①：強く思う」＋「②：まあ思う」から、特に重要な要因を抽出しやすくなった。

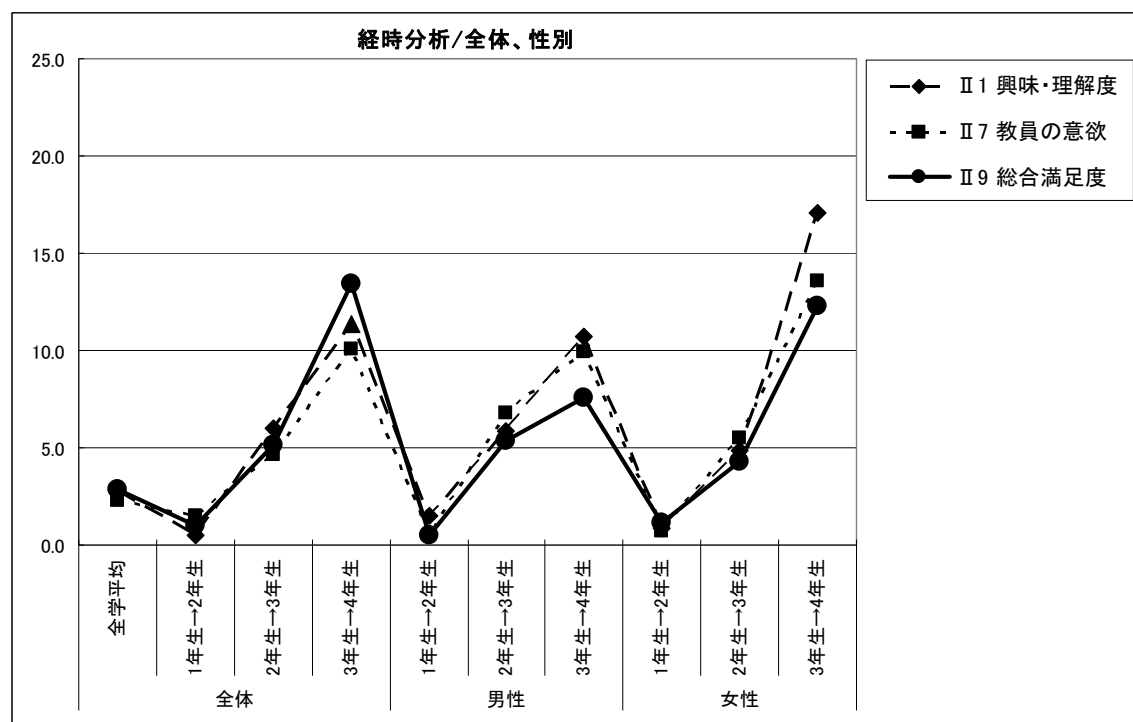
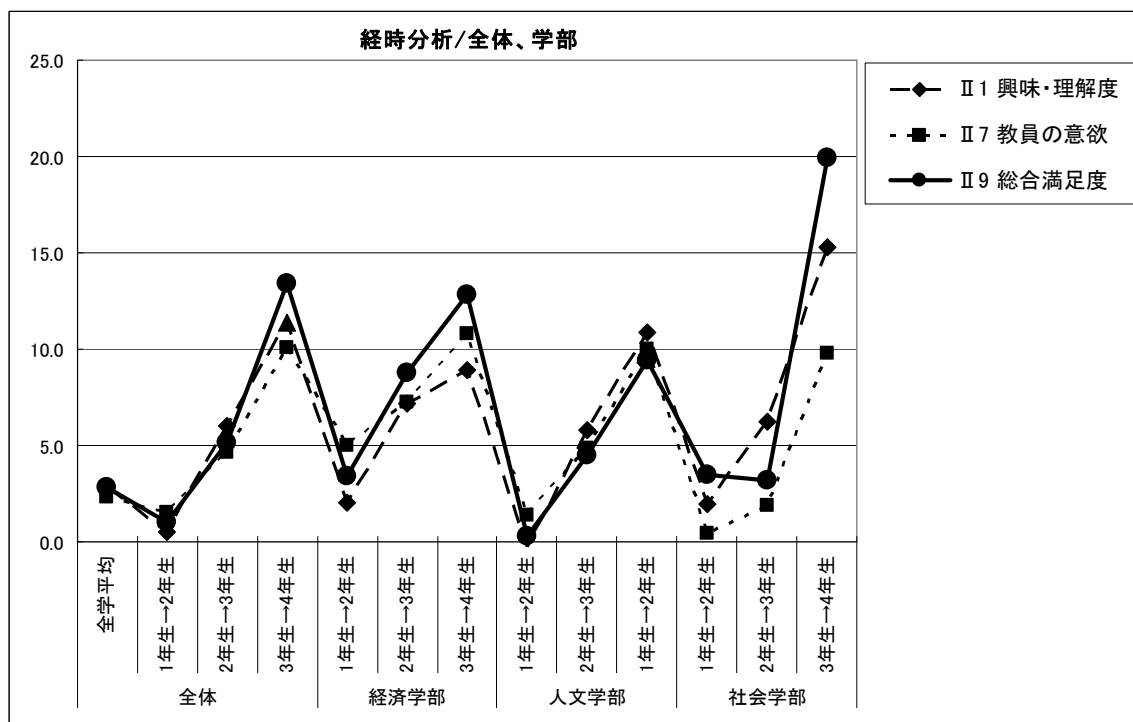
満足度要因分析（グラフ）



クロス分析の結果と昨年との対比より、2011年度の全学部のトップボックス評価は、2010年度とほぼ同等であることがわかる。また、2011年度の学年別比較では、学年が上がるにつれ評価が高くなっている。講義、ゼミ別比較では、講義科目よりゼミ科目の方が、全ての満足度項目について評価が高い。

### (3) アンケートの全体・学部別経時変化の総括

2010年度と2011年度のアンケート結果から、2010年度1～3年生、2011年度2～4年生のデータを抽出し、進級に伴う満足度の変化を把握する「経時分析」を行った。対象は全学部学科で、全アンケート項目において、トップボックス回答割合の変化を算出した。そのうち、総合満足度（設問【Ⅱ-9】）、興味・理解度（設問【Ⅱ-1】）、教員の意欲（設問【Ⅱ-7】）の評価について、学部別・男女別の折れ線グラフで比較した。その結果、全体、学部別、男女ともに、年次が上がるにつれ満足度は上昇の傾向にあり、学部別では社会学部の3年生→4年生の満足度が大きく上昇している。男女別では男性より女性が、3年生→4年生で満足度が大きく上昇している。



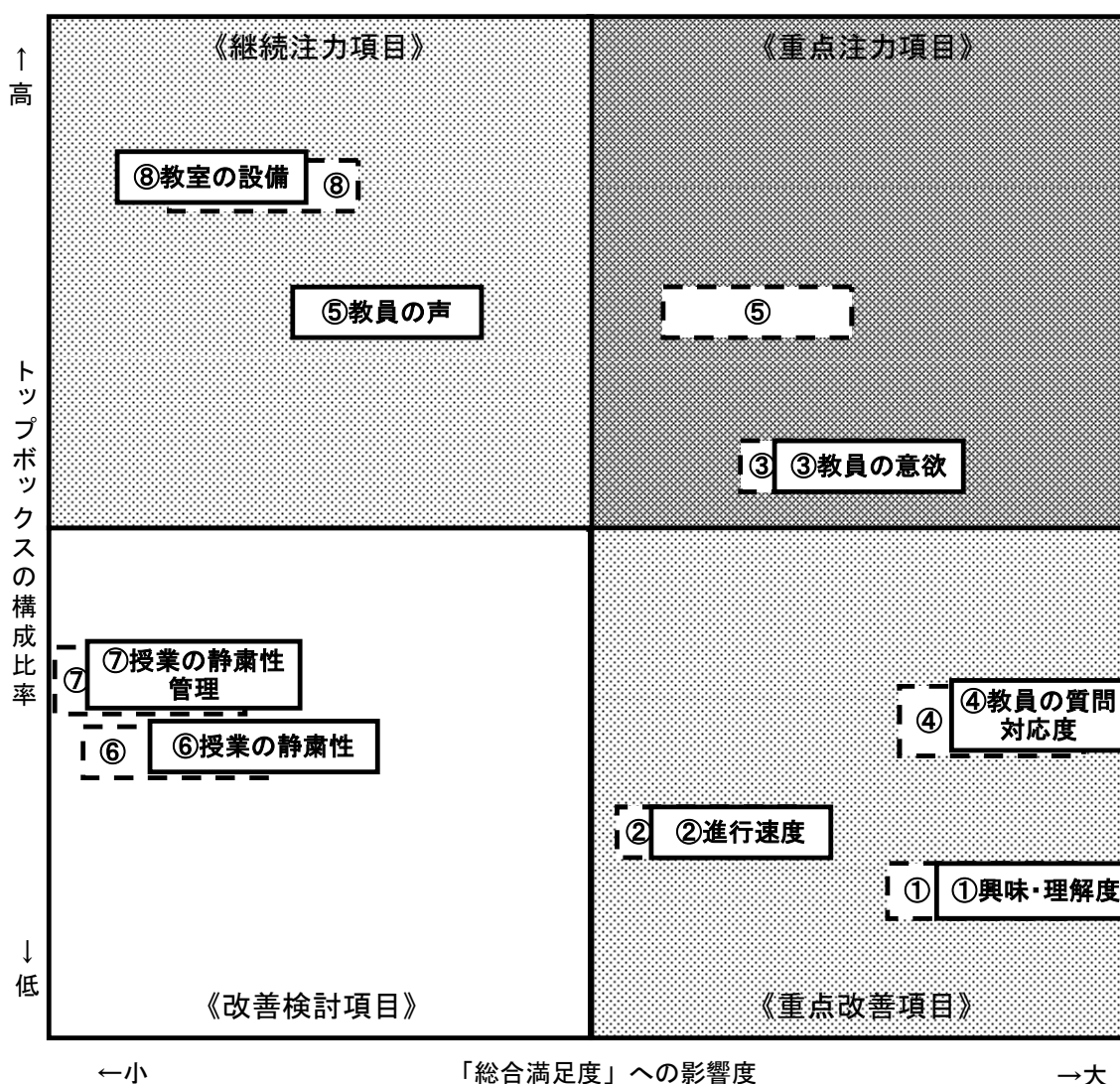
#### (4) 共通設問の満足度要因分析による影響度の分析

共通設問評価項目（設問Ⅱ）の「総合満足度（設問Ⅱ-9）」のトップボックス評価（＝強く思う）に寄与する要因を他の評価項目から探り当てるため、重回帰分析を行った。

※ 手法：「総合満足度」を目的変数とし、他の評価項目（設問Ⅱ-1～8）を説明変数とする

※ 2010年度を点線枠（項目名なし）、2011年度を実践枠（項目名あり）で表示

その結果、①《重点注力項目》「総合満足度」への影響度が大きくトップボックスの構成比率が高い。②《継続注力項目》「総合満足度」への影響度は小さいがトップボックスの構成比率が高い。③《改善検討項目》「総合満足度」への影響度は小さいがトップボックスの構成比率が低い。④《重点改善項目》「総合満足度」への影響度が大きくトップボックスの構成比率が低い、



の4点が明らかになった。

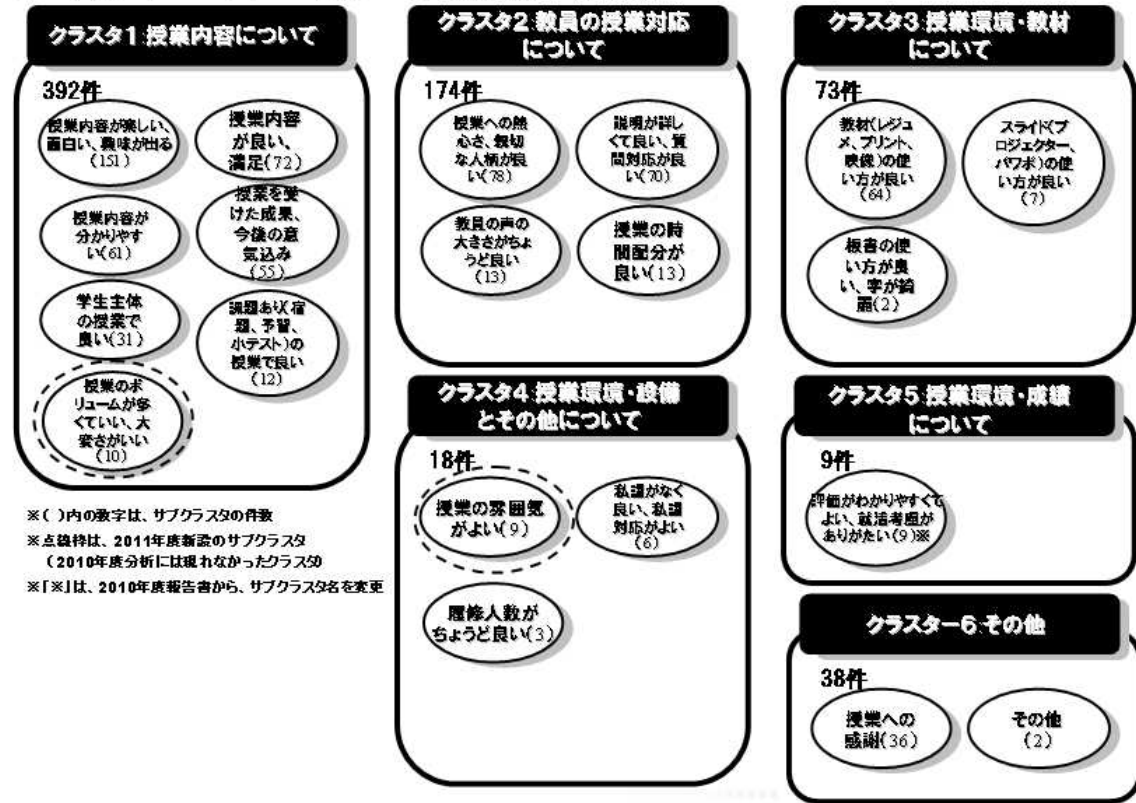
さらに、2011年度は2010年度に比べて、「⑤教員の声」の評価自体に変化はないが、「総合満足度」の好評価への寄与度が下がった。（「⑤教員の声」は、《継続注力項目》に移動）「⑤教員の声」以外の項目については、総じて2010年度と同様の結果。《重点注力項目》は「③教員の意欲」となっており、項目そのものの評価が高く、「総合満足度」への寄与も高い。



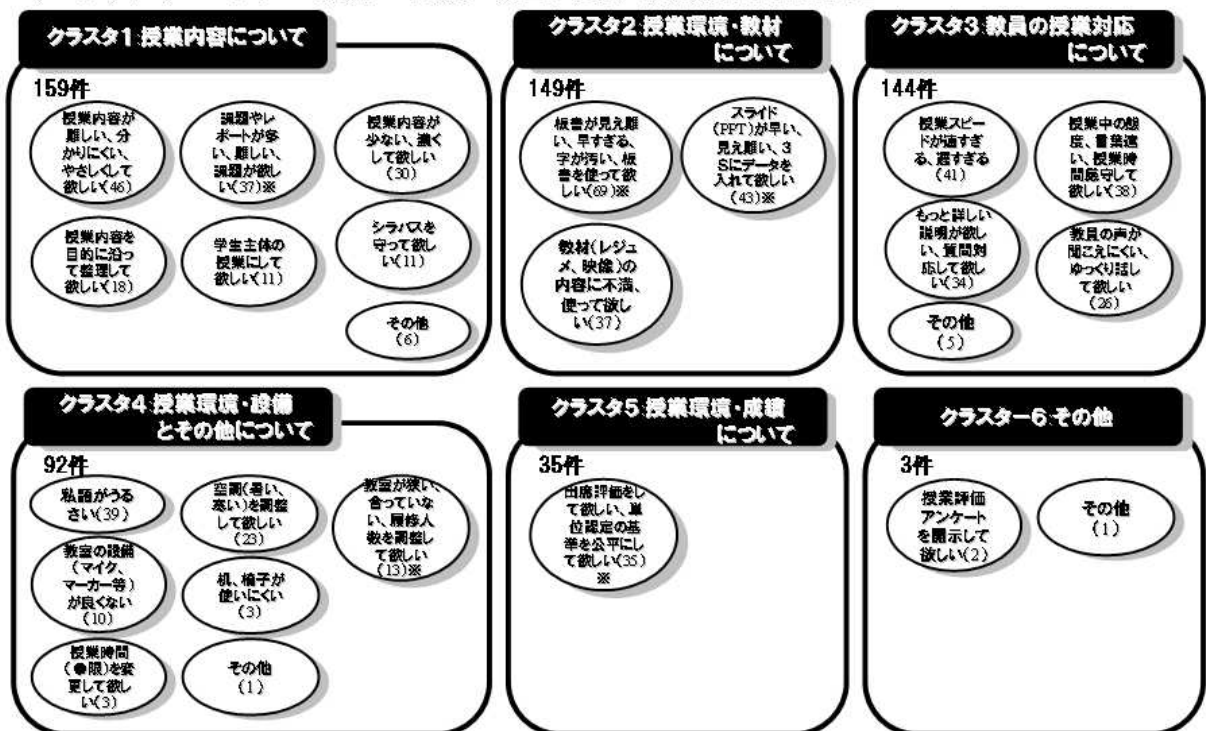
#### 4. 自由記述分析

設問【IV】について、回答ありの1,000件をランダムに抽出し、分析を実施。「良かった点(計704件)」、「悪かった点・改善を要する点(計582件)」それぞれの意見を整理し、クラスタマップによる意見内容の把握と、グラフによる経年比較を行った。

##### ◆ クラスタ・マップ「良かった点(計704件)」



##### ◆ クラスタ・マップ「悪かった点・改善を要する点(計582件)」



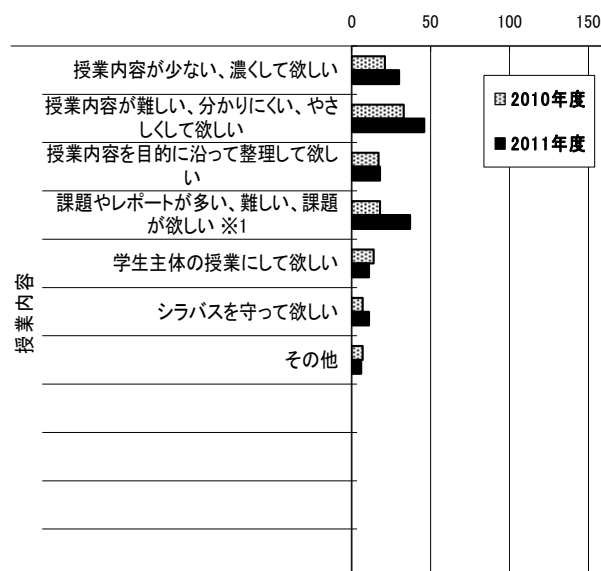
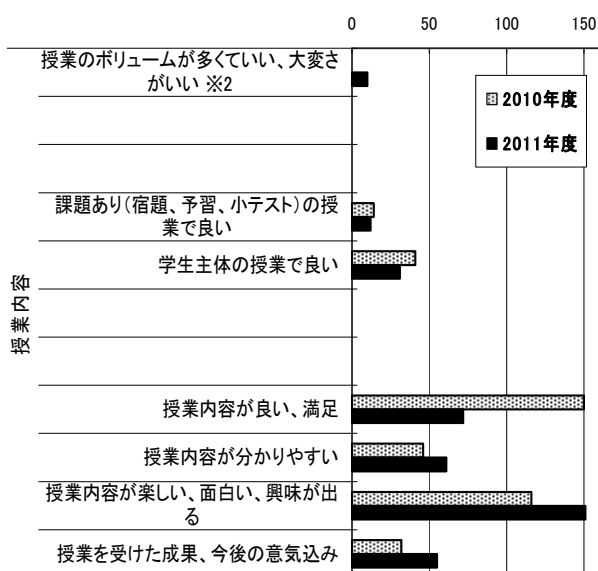
## (1) 「授業内容について」のクラスタ

(左：良かった点、右：悪かった点・改善を要する点)

※1：2010年度からクラスタ名変更

※2：2011年新設クラスタ

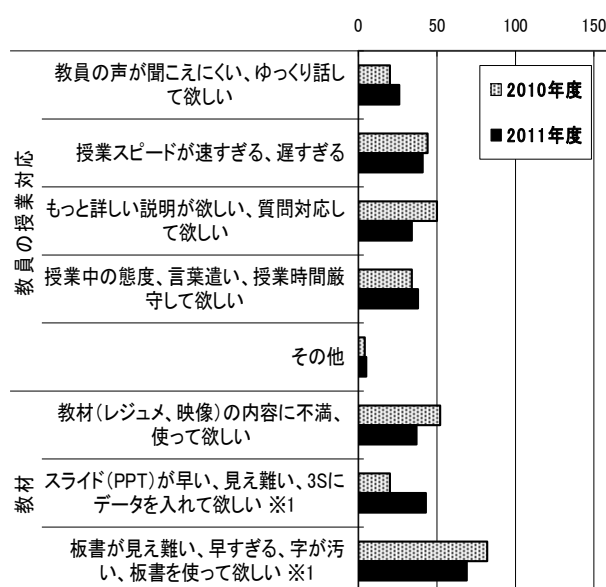
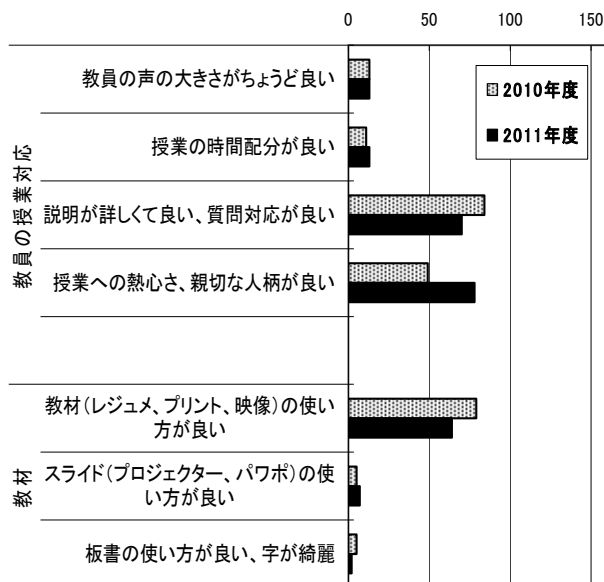
- ・2011年度に「授業のボリュームの多さ、大変さ」を<良かった点>と評価する意見群（サブクラスタ）を新設。
- ・「学生主体の授業で良い」は、<悪かった点・改善を要する点>より<良かった点>として評価されている。
- ・2010年度より2011年度は、「授業内容が少ない・難しい・課題やレポートが多い」などが<悪かった点・改善を要する点>として挙げられている。
- ・2010年度は「授業内容が良い」という漠然とした意見が多かったが、2011年度は「授業内容が分かりやすい、楽しい、授業を受けた成果があった」など、より具体的に授業の<良かった点>を挙げる意見が増えている。



## (2) 「教員の授業対応について」、「授業環境・教材について」 クラスタ

(左：良かった点、右：悪かった点・改善を要する点)

※1：2010年度からクラスタ名変更

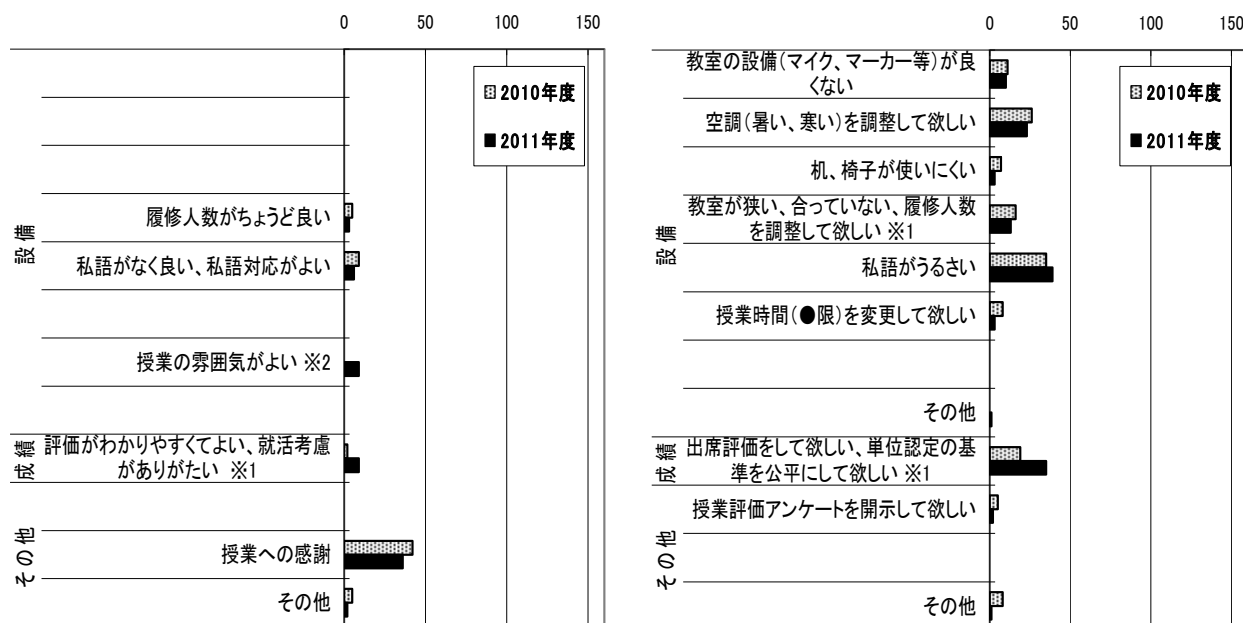


- ・ 2010年度より2011年度は、「授業への熱心さ、親切な人柄」が<良かった点>として評価されている。
- ・ 教員の声、授業スピードについては、<良かった点>より<悪かった点・改善を要する点>として挙げられている。
- ・ 2010年度より2011年度は、「スライド(PPT)が早い、見え難い、3Sにデータを入れて欲しい」ことが<悪かった点・改善を要する点>として挙げられている。

### (3) 「授業環境・設備について」、「授業環境・成績について」、「その他」 クラスタ

(左：良かった点、右：悪かった点・改善を要する点)

※1：2010年度からクラスタ名変更、※2：2011年新設クラスタ



・私語のうるささについては、2010年度と同様に最も改善要望の高い、授業環境・設備についての意見である。

・2011年度に「授業の雰囲気のよさ」を<良かった点>と評価する意見群(サブクラスタ)を新設。

・2010年度より2011年度が、「出席評価をして欲しい、単位認定の基準を公平にして欲しい」ことが<悪かった点・改善を要する点>として挙げられている。

・2010年度、2011年度ともに要望が多数挙げられる中、<良かった点>として授業や教員への感謝が、意見群となるボリュームで挙げられている。

## 5. 学部ごとの考察

### (1) 経済学部授業評価アンケート結果の考察

#### i) 授業満足度

まず、2011年度の授業に対する満足度を2010年度と比較しながら、概観しておく。2011年度においては総合的な満足度で強い満足を得たものが、33.9%であり、それにまあ満足しているものを加えると67.9%であった。およそ7割弱の学生が授業におおむね満足していることがわかる。他方、あまり満足していない学生は5.7%、まったく満足していない学生は3.7%である。合計しても、不満足な学生は全体で1割以下に収まっているといえる。

次に、2010年度とこの数値を比較してみる。昨年度は総合的な満足度で強い満足を得たものが、29.5%であり、それにまあ満足しているものを加えると63.5%であった。満足している学生の割合は4.4ポイント増加している。細かく見るとまあ満足している学生の割合は変わっておらず、強く満足している学生の割合が4.4ポイント増加していることからこの変化が生まれてきている。強く満足している学生の割合が増えていることは好ましいことであろう。逆に、あまり満足していない学生の割合は昨年度から1.7ポイント減少し、まったく満足していない学生の割合は0.2ポイント増加している。合計してみると不満足な学生も1.5ポイント減少しており、全体として好ましい傾向にあるといえる。

では、個々の評価項目での変化はどうであったのであろうか。履修した理由についてみると、授業内容にひかれたと答えた学生の割合が2.9ポイント増加して30%になっている。履修に際してシラバスを参照した学生の割合も4.5ポイント増加しており、学生の授業内容への関心は若干高まっているといえるかもしれない。また予習・復習への取り組みを行った学生の割合も4.2ポイント増加している。これらの変化は授業内容というよりも学生の質の変化としてみるべきかもしれないが、授業内容がよく理解できたかどうかの評価も4.4ポイント増加しており、授業の進行速度への満足度も4.9ポイント、教科書や配布資料への満足度も7.9ポイント増加している。板書などの読みやすさについても満足度が8.3ポイント増加している。以上のように2011年度の授業に対する学生の満足度は全体として上昇傾向にあったといえる。

#### ii) 全学との比較

しかしながら、課題がないわけではない。他学部の数値と比較しながら、評価すべき項目、改善すべき可能性の高い項目を検討しておく。ゼミに関する質問で、教員が報告や討論の仕方について指導したかどうかについての評価や、「自ら学び自ら考える」ことがたのしくなったかどうかについての評価は経済学部が他学部よりも高く、ゼミを通じた経済学部の教育方法が学生にも評価されていることを示している。

しかし授業全体の総合的な満足度では、全学の平均よりも若干低い。個別の項目で見ても、教員の声がよく聞き取れたかどうか、私語がなく静粛であったかどうか、授業内容がよく理解でき、興味がわいたかどうか、といった項目で経済学部は全学の数値よりも若干劣っている。学生自体も異なるので簡単に結論は出せないが、授業の履修者数の面での改善など、さらなる工夫を考えるための一つの指針となるように思われる。

(文責：河合)

## (2) 人文学部授業評価アンケート結果の考察

### i) 総論

2011年度の人文学部授業評価アンケート結果を考察するにあたり、その大枠を概観しておきたい。まず、アンケートの回収率で、人文学部が54.7%と実に半数以上を占めていることに注意を促しておく。これは別に、人文学部がこのアンケート調査に特別熱心だったからというわけではなく、そもそも外国語科目や自然科学系の科目のように、人文学部が提供する授業が多いことに起因する。すべてをひとくくりにして論じることに妥当性があるのか、いささか心許ない。人文学部の授業評価アンケートを分析するには、こうした難しさがあることを念頭に置くべきであろう。

次に、調査の各項目での数字を一瞥するなら、全学ならびに他学部と比して大きな違いは見受けられないことに気づくであろう。わずかな差違に拘泥しては、かえって全体像を見失うことになりかねない。それでも、統計的な有意差は確認できないが、人文学部に特徴的な部分は観察される。そうした点はさらなる分析を加え、今後の授業改善へと繋げていく契機となりうるであろう。

### ii) 授業満足度

全学的には「強くそう思う」「まあそう思う」の満足層が微増という結果が得られた。授業改善の努力が実をあげているものと、嘉すべきであろう。しかし、経済学部・社会学部が改善傾向にあるのに対し、人文学部は前年度と比べ足踏み状態にある。今後はさらに総合的な満足度をあげる努力が求められる。他学部でもそうだが、講義科目に比べ演習科目の満足度が相対的には高い。やはり、少人数で、かつ学生の主体的な参加が前提となる科目を、さらにうまく運営していくことが、全体的な満足度アップの鍵となるであろう。と同時に講義科目でも、単に受動的な知識・情報の伝達とならぬよう、教員側の工夫が求められるであろう。

### iii) 人文学部固有の課題

全学ならびに他学部と比較し、人文学部が目立って低い結果となった項目がある。例えば、「教員は報告や討論の仕方について指導してくれた」という項目では、「強くそう思う」「まあそう思う」の満足層が経済学部72.5%、社会学部68.8%に対し、人文学部は46.9%という結果になっている。この差が有意なものかはわからないが、気になる結果である。同様に、「〈自ら学び自ら考える〉ことが楽しくなった」という項目では、経済学部67.9%、社会学部61.0%に対し、人文学部44.4%という結果となった。これらの項目は、いわば本学の教育理念を象徴するものであるし、社会人としての基礎的なスキルに容易に転化するものである。それらが人文学部において低い結果となったというのは、本学の教育理念が十分に体现できていないとも解釈できるし、昨今の厳しい就職状況で人文学部の学生が苦戦を強いられていることの一因のようにも思える。人文学部として、真剣に対応を迫られる問題であろう。

### iv) まとめ

人文学部に限らず全学的に高い満足度が得られ、しかもさらに改善傾向が見られることは、まことに喜ばしい。今後も地道な努力と絶え間ない検証作業により、優れた授業が展開されることを望む。検証に際しては、たんなる印象批評に終わらぬよう、統計の専門家の協力をあおぎ、精密な検証を心がけたい。

(文責：土屋)

### (3) 社会学部授業評価アンケート結果の考察

ここでは、2011 年度に実施された授業評価アンケートの結果を、社会学部に絞って考察する。

#### i) 社会学部の授業満足度（講義）

講義における総合満足度の質問に対する肯定的回答は 71%（「とても」満足 32%、「まあ」満足 39%）であった。一方、否定的回答は 10%（「あまり」＋「まったく」満足していない）であった。このことから、アンケートに回答した多くの学生は満足しているが、いくらか改善の余地もあるということがわかる。

2010 年度は、肯定的回答が 70%（「とても」満足 31%、「まあ」満足 39%）であった。一方、否定的回答は 9%（「あまり」＋「まったく」満足していない）であった。いずれも 1%程度の増減であり、傾向はほぼ変わっていないといえる。

#### ii) 社会学部の授業満足度（ゼミ）

ゼミ・演習・実習における総合満足度の質問に対する肯定的回答は 86%（「とても」満足 53%、「まあ」満足 33%）であった。一方、否定的回答は 3%（「あまり」＋「まったく」満足していない）であった。講義科目と比較して、肯定的な評価の割合が 15 ポイントも多く、否定的な評価の割合が 7 ポイント少ない。このことから、講義よりもゼミ・演習・実習の評価のほうが、よい評価を受けていることがわかる。

2010 年度は、肯定的回答が 82%（「とても」満足 47%、「まあ」満足 35%）であった。一方、否定的回答は 6%（「あまり」＋「まったく」満足していない）であった。肯定的な評価は 4 ポイントの増加、否定的な評価は、3 ポイント減少している。このことから、2010 年度よりも 2011 年度のほうが、よい評価を得たことがわかる。

以上のことから、要因を特定することは難しいが、ゼミ・演習・実習においてなんらかの改善があったものと考えられる。

#### iii) 全学との比較

武蔵大学全体では、講義における総合満足度の質問に対する肯定的回答は 70%（「とても」満足 33%、「まあ」満足 37%）であった。一方、否定的回答は 9%（「あまり」＋「まったく」満足していない）であった。これを社会学部の講義の総合満足度と比較してみると、いずれも 1～2%程度の差であることから、社会学部は 3 学部の中でも平均的な評価を得ているといえる。

大学全体のゼミ・演習・実習では、肯定的回答が 83%（「とても」満足 50%、「まあ」満足 33%）であった。一方、否定的回答は 5%（「あまり」＋「まったく」満足していない）であった。これを社会学部のゼミ・演習・実習の総合満足度と比較してみると、強い満足を得たものは 3 ポイント高い、それにまあ満足しているものを加えたものも 3 ポイント高く、満足していないものは 2 ポイント低い。以上のことから、社会学部のゼミ・演習・実習の総合満足度は、大学全体と比べ高く評価されていることがわかる。

2010 年度の結果において、社会学部は大学全体と比べ、強い満足を得たものが 3 ポイントマイナス、それにまあ満足しているものを加えた場合 1 ポイントマイナス、満足していないものは 1 ポイントプラスであることから、大学全体と比べわずかに低く評価されていた。このことから、2011 年度社会学部のゼミ・演習・実習の評価が高く評価されたのは、授業改善よるものと考えられることができる。

#### iv) まとめと改善ポイント

ここまでは、「講義とゼミ・演習・実習」、「大学全体と社会学部」、「2010年度と2011年度」の比較で①総合満足度の結果を確認してきた。これらをまとめると、2011年度社会学部の授業に関わる総合満足度は、大学全体の平均値とほぼ同等の約7割が肯定的な評価をしており、講義と比べてゼミ・演習・実習の評価がやや高い。さらに、2010年度よりも2011年度のゼミ・演習・実習の評価が高くなったことが明らかとなった。

最後に、他の調査項目である②興味・理解度、③進行速度、④教員の意欲、⑤教員の質問対応度、⑥教員の声、⑦授業の静粛性、⑧授業の静粛性管理、⑨教室の設備、の項目について検討することで、具体的な改善ポイントを検討したい。上記の項目のうち、ネガティブ（「あまりそう思わない」＋「全くそう思わない」）な評価の割合が大きいのは、講義で、⑨教室の設備37%、⑦授業の静粛性12%、②興味・理解度10%であった。そして、ゼミ・演習・実習の場合は、⑨教室の設備23%、⑦授業の静粛性7%、③進行速度6%であった。

これらの項目については、重点的に改善を試みる必要があるだろう。設備に関わるものは、個別具体的に改善することが必要である。静粛性に関しては静粛性が保たれるように事前に注意を促すこと、興味・理解度や進行速度についてはコメントペーパーなどで確認していくなどの工夫が有効であろう。室温や進行速度の感じ方など個人差がある事項に対して完全に対応することは難しいが、できるだけ努力を継続していくことが重要だといえる。

(文責：中橋)



## 6. まとめと今後の課題

本学では、10年以上にわたって授業評価アンケートを実施してきた。その間、実施方法も様々な改善を図ってきた。本年度から、定点観測データにもとづき、昨年対比に関し、定量的、定性的に比較できるようになった。さらに、アンケート用紙の機械読みとりによって、本年度の報告書を翌年度の5月に発行することができた。

しかし、検討が必要な点も見出せる。設問で「強く思う」「まあそう思う」の上位ポジティブアンサーが70%以上を占めるものが多く、何か問題点を抽出するためのツールとして、有効性の限界を示していると思える。70%は満足しているともみるか、さらなる努力が必要ともみよかの判断は難しい。また、2次分析がまだ有効活用されていない。今後、結果の分析や考察について、より深い討議が必要であろう。さらに、全体的に施設などの「学習環境アンケート」は改善方法も明確なため活用されているが、学習の成果や熟達性などの考察にはつながりにくい。逆に、施設環境の改善データについては、授業アンケートでなくても、入手可能かもしれない。

また、学習成果を把握するためには、すべての科目を同じような項目で評価する以外に、「教員自身が知りたい科目」として、フォーカスされた科目について、より詳細なアンケート調査を実施する方法を検討してもよいだろう。積極的に関与することで、アンケート結果に対してどう改善するのかなど、教員にとって、アンケート目的が明確となり、フィードバックの動機付けが増大するであろう。セグメント化された少人数からのヒアリングも並行することで、アンケート調査の補完として抽出するのも効果的であろう。少数を大事にすることをアピールし、履修希望率向上などに結びつけたい。

授業アンケート以外にも「奨学生課題レポート」、「生活調査」などの調査報告と並行して分析することで有益な情報が得られるかもしれない。

これまで、授業ごとのアンケート結果は担当者に配布されてきたが、それがどのように授業改善につながったのかは担当者個人に委ねられ、大学全体として把握できていない。どう改善が図れたか、FD活動の一環として把握する必要があるだろう。担当教員へのフィードバックのみならず改善結果を大学として入手する方法を検討すべきであろう。この報告書をもとに大きな改善活動につながることを望みたい。

(文責：松島)